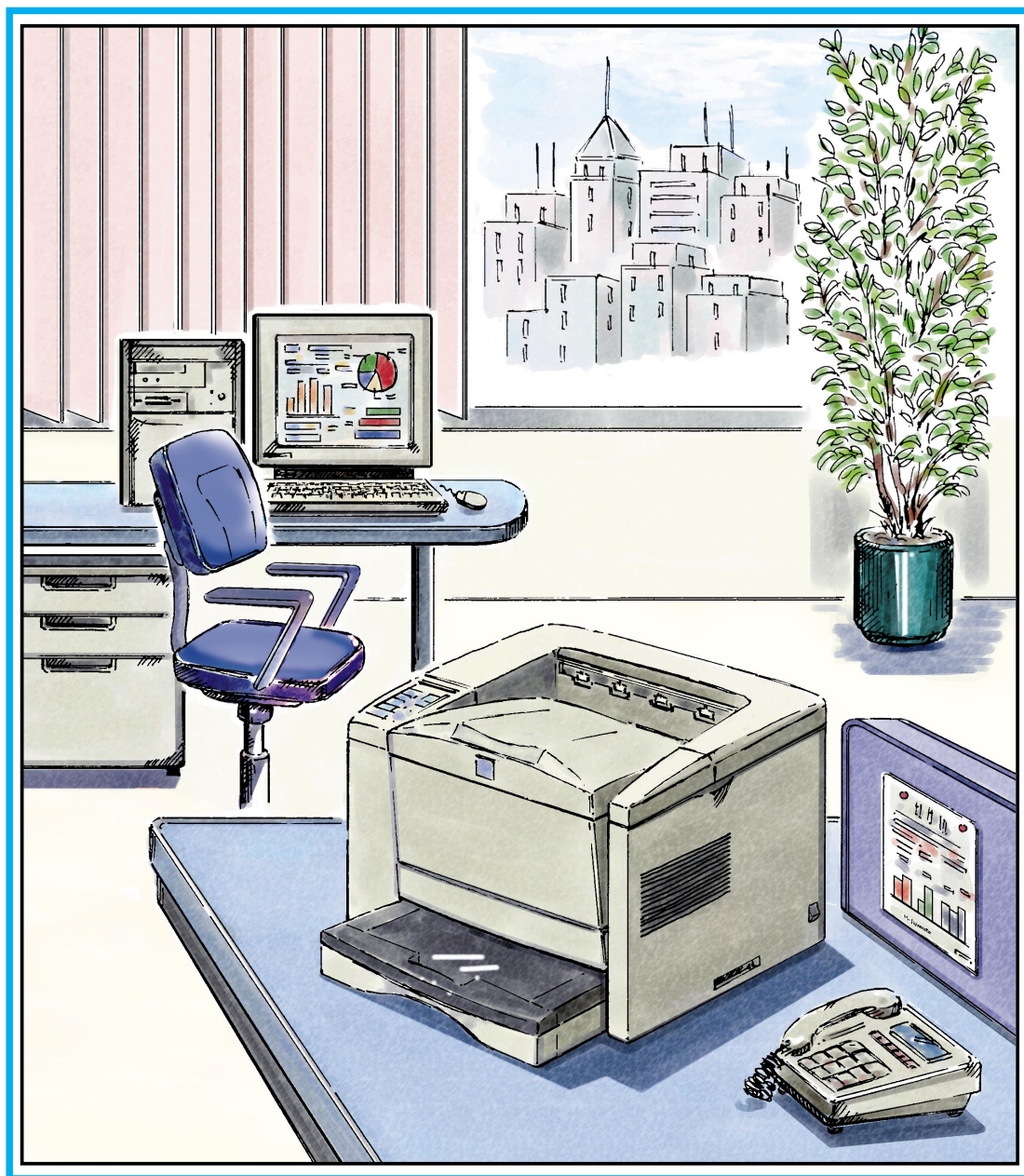
ESPER・LASER
エスパー・レーザー

LP-8600FX/LP-8400FX/LP-8300F
LP-8600FXN/LP-8400FXN
ユーザーズガイド

機能、操作方法、各種トラブルの解決方法について記載しています。

―本書は、プリンタの近くに置いてご活用ください―

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド

プリンタの準備から、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を記載しています。

ユーザーズガイド

機能、操作方法など本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。

ネットワーク設定ガイド （LP-8600FXN/LP-8400FXN のみ）

プリンタをネットワーク上に接続して使用する際に必要な情報を詳しく説明しています。
システム管理者の方が、ご利用の環境に応じて必要な章をご覧になり、セットアップを行ってください。

本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

もくじ

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容、およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

プリンタの機種名表記について

本書は下記プリンタ機種の共通ユーザーズガイドです。

LP-8600FX/LP-8600FXN、LP-8400FX/LP-8400FXN、LP-8300F

本書の説明の中で機種名を明記していない場合は、ご購入いただいた機種としてお読みください。機種によってプリンタの機能やオプションが異なります。異なる点については、機種名を明記しています。また、プリンタのイラストおよびコンピュータのモニタに表示される画面の機種名は、LP-8600FXを使用しています。ご購入いただいた機種に置き換えてお読みください。
ただし、LP-8600FXNはLP-8600FXに、LP-8400FXNはLP-8400FXにネットワークインターフェイスが標準装備された機種のため、画面上には「LP-8600FX」または「LP-8400FX」として表示されます。

Windowsの画面について

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows98の画面を使用しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、WindowsNT3.1、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

第1章

用紙について

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

本プリンタは、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

普通紙	普通紙	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙[*1]です。紙厚は 60 ～ 90g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	印刷済み[*2]（プレプリント紙）	罫線や会社のロゴなどが印刷された紙です。**レーザープリンタやインクジェットプリンタで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。**
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締った厚目の用紙です。紙厚が 90～135g/m^2 [*3]のものを使用する場合は、印刷時に紙種を［厚紙］に設定してください。
	再生紙	再生紙は、一般の室温環境下で使用してください。それ以外の環境でご使用になると印刷品質が低下したり、紙詰まりが発生することがあります。
	色付き[*2]	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。**カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。**
特殊紙	官製ハガキ[*4]	通常の官製ハガキが使用可能です。 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
	封筒[*5]	使用できる定形サイズの封筒は Monarch、Commercial-10、DL、C5 です。これ以外のサイズの洋形封筒に印刷するときは、ユーザー定義サイズを設定してください。紙厚が 60 ～ 105g/m^2 のものをご使用ください。**（和封筒はご使用いただけません）**
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHP シート	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のOHPシートをお使いください。
	レターヘッド[*2]	上部に差出人名、会社名などが印刷されている用紙です。**レーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された紙は使用しないでください。**
	不定形紙	用紙幅が 90.1 ～ 297mm、用紙長が 148 ～ 431.8mm、 紙厚が 60 ～ 135g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	厚紙	紙厚が90～135g/m^2 [*3]の範囲内の用紙（ケント紙を含む）をお使いください。
	長尺紙	用紙サイズ 297mm × 432mm ～ 900mm、紙厚 60 ～ 135g/m^2 の範囲内のものをお使いください。

*1 ：再生紙は、一般の室温環境下以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 ：定着器の温度（約180°C）によってインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*3 ：厚紙の用紙厚は90g/m^2 を超えて135g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「90～135g/m^2」という記載をしています。

*4 ：絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
☞本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」193 ページ

*5 ：封にのりの付いた封筒は使用しないでください。

ポイント

- **紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。**
  用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- **特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。**
  ☞本書「特殊紙への印刷」13 ページ
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。**

印刷できない用紙

プリンタの故障(給紙ローラ、感光体、定着器)の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊用紙(スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルムなど)
- アイロンプリント用紙
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- モノクロレーザープリンタやカラーレーザープリンタ、複写機で印刷した後の用紙
- カラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- 一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

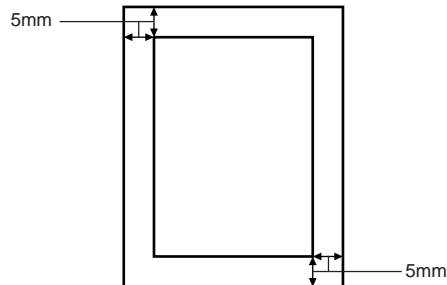
給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている(湿っている)用紙
- 表面が平滑すぎる(ツルツル、スベスベしすぎる)用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り目、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

定着器の熱(約180°C)によって変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート(またはプレプリント)が施された用紙
- アイロンプリント紙

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。

アプリケーションソフトによっては、印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙と給紙装置の関係

<table>
<tr><th colspan="2">給紙装置</th><th>使用できる用紙</th><th>容量</th><th>用紙サイズ
（）内は、操作パネルの液晶表示上での表記です。</th></tr>
<tr><td rowspan="10">標準</td><td rowspan="7">用紙トレイ *1</td><td>普通紙</td><td>200 枚 *2</td><td rowspan="4">A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）*4、GovernmentLegal（GLG）、GovernmentLetter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙</td></tr>
<tr><td>厚紙 /ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ</td><td>10 枚 *3</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td rowspan="2">75 枚</td></tr>
<tr><td>OHP シート</td></tr>
<tr><td>封筒 *5</td><td>10 枚</td><td>Monarch（MON）、Commercial-10（C10）、DL、C5</td></tr>
<tr><td>長尺紙</td><td>1 枚</td><td>297mm × 432mm ～ 900mm</td></tr>
<tr><td>官製ハガキ</td><td>75 枚</td><td>100mm×148mm（往復はがき 200mm×148mm）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙カセット</td><td>普通紙</td><td>250 枚 *2</td><td rowspan="3">A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td rowspan="2">20 枚</td></tr>
<tr><td>OHP シート</td></tr>
<tr><td rowspan="5">オプション</td><td rowspan="3">ユニバーサルカセットユニット（LPUC1）</td><td>普通紙</td><td>250 枚 *2</td><td rowspan="3">A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td rowspan="2">20 枚</td></tr>
<tr><td>OHP シート</td></tr>
<tr><td>大容量カセットユニット（LPDC6）</td><td>普通紙</td><td>500 枚 *2</td><td>A4</td></tr>
<tr><td>ユニバーサルショートカセット *6（LPSC1）</td><td>普通紙</td><td>250 枚 *2</td><td>A4、A5、B5、Letter（LT）</td></tr>
</table>

*1 ：用紙トレイにセットできる用紙の高さは 16mm 以下です。

*2 ：64g/m² の場合です。

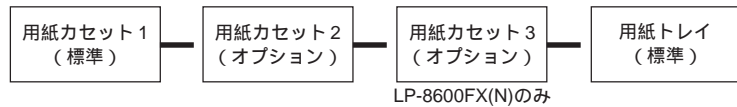
*3 ：135g/m² の場合です。

*4 ：トレイ紙サイズスイッチでは［LG14"］に設定します。

*5 ：定形サイズ以外の洋形封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。なお、和封筒は使用できません。

*6 ：標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC1/LPDC6）の用紙カセットと差し替えて使用します。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバやパネルの設定で給紙装置を［自動］に設定すると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズおよび用紙タイプが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。

すべての給紙装置に印刷するデータの用紙サイズの用紙をセットすれば標準で450枚（用紙カセット１＋用紙トレイ）、オプションの給紙装置を装着して以下の枚数が連続給紙できます。

LP-8600FX(N)　　　：最大1200枚（オプションの用紙カセット2段使用）
LP-8400FX(N)/8300F: 最大950枚（オプションの用紙カセット1段使用）

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

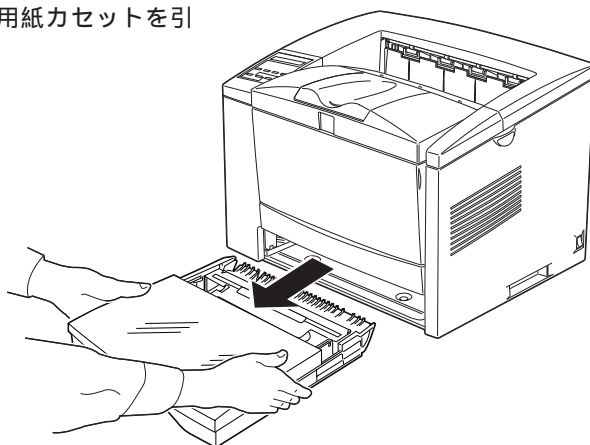
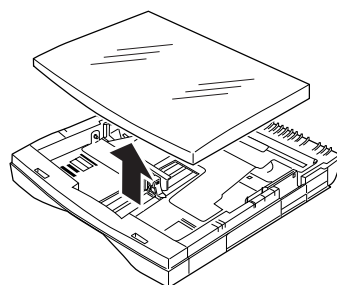
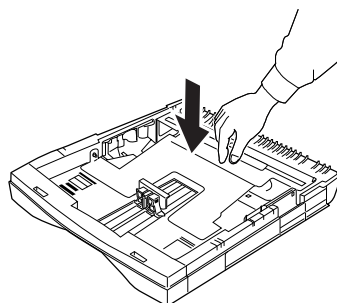
用紙のセット

本プリンタは標準で2つの給紙装置（用紙カセットと用紙トレイ）があります。ここでは、それぞれの給紙装置への用紙のセット方法について説明します。
オプションの用紙カセットへの用紙のセット方法は、オプションの取扱説明書を参照してください。

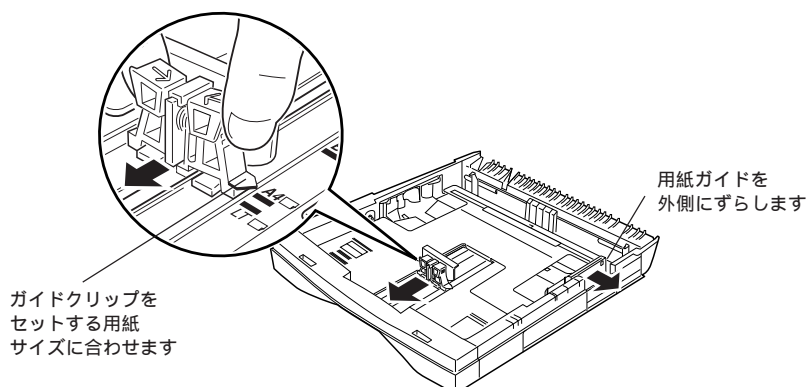
ポイント

印刷できる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。
☞本書「用紙について」2 ページ

用紙カセットへの用紙のセット

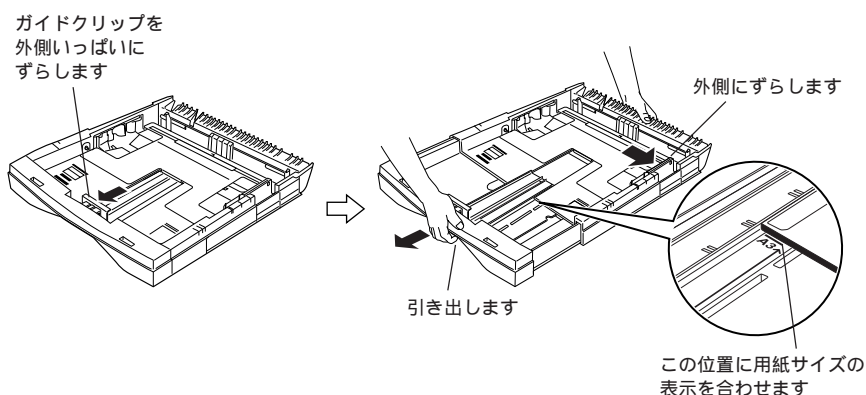
1 **プリンタから用紙カセットを引き抜きます。**

2 **用紙カセットのカバーを取り外します。**

3 **用紙カセット内部の金属板をカチッと音がして固定されるまで押し下げます。**

用紙ガイド、ガイドクリップをずらします。

A5、B5、A4、Letter（LT）サイズの用紙：

①ガイドクリップを指でつまんでセットする用紙サイズに合わせます。
②用紙ガイドを外側にずらします。

ポイント

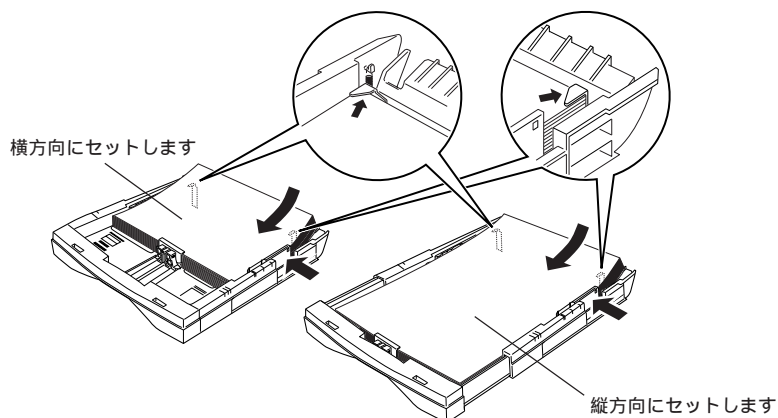
ガイドクリップは必ずセットする用紙サイズに合わせてください。セット位置がずれていると用紙サイズを正しく検知できない場合があります。

B4、A3、Legal（LGL）サイズの用紙：

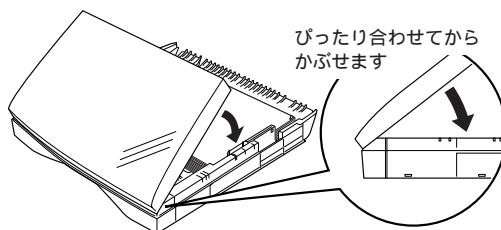
①ガイドクリップを指でつまみ、外側いっぱいにずらします。
②用紙カセット伸縮部を引き出し､セットする用紙サイズに合わせます。
③用紙ガイドを外側にずらします。

ポイント

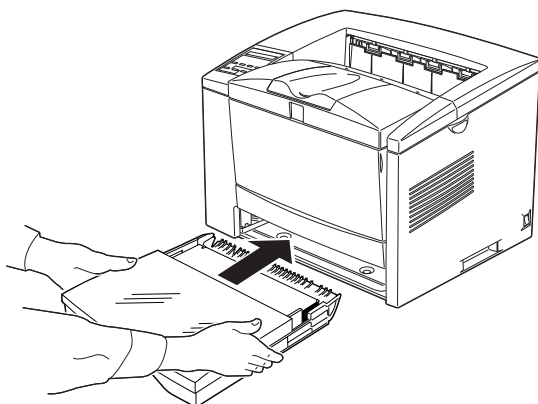
大きなサイズの用紙がセットできるようにガイドクリップは必ず外側いっぱいまでずらしてください。また、伸縮部を引き出す際、セットする用紙サイズの表示をイラストの位置に必ず合わせてください。

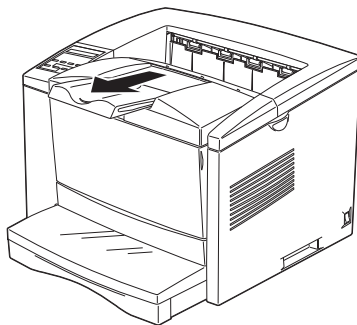
用紙をセットし、用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。

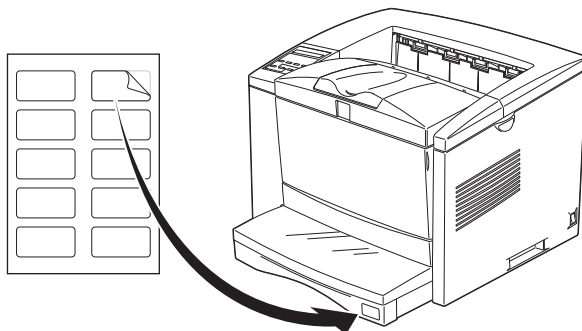
A5、B5、A4、Letterサイズの用紙：用紙は横方向にセットします。
B4、A3、Legalサイズの用紙　　：用紙は縦方向にセットします。

ポイント
どちらの場合も、用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けて、用紙カセット内の左右のツメの下に差し込むようにしてセットします。用紙は最大250枚（普通紙64g/m²）までセットできます。最大枚数を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

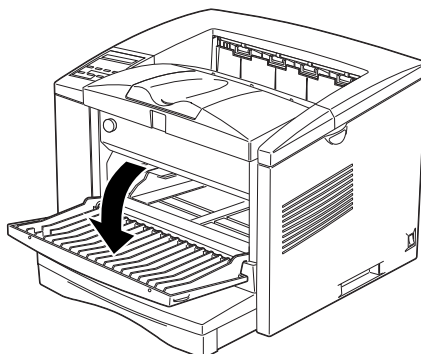
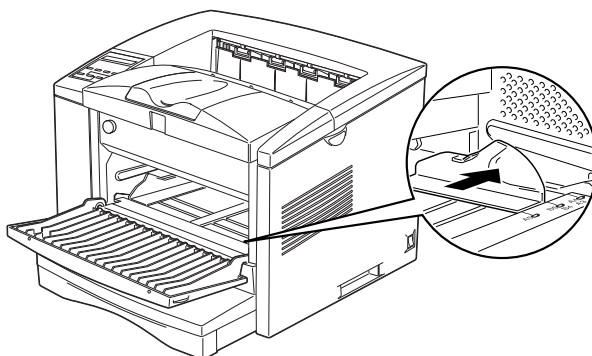
用紙カセットにカバーを取り付けます。

用紙カセットの側面にカバーをぴったり合わせてカバーをかぶせます。

7 **用紙カセットをプリンタに差し込みます。**

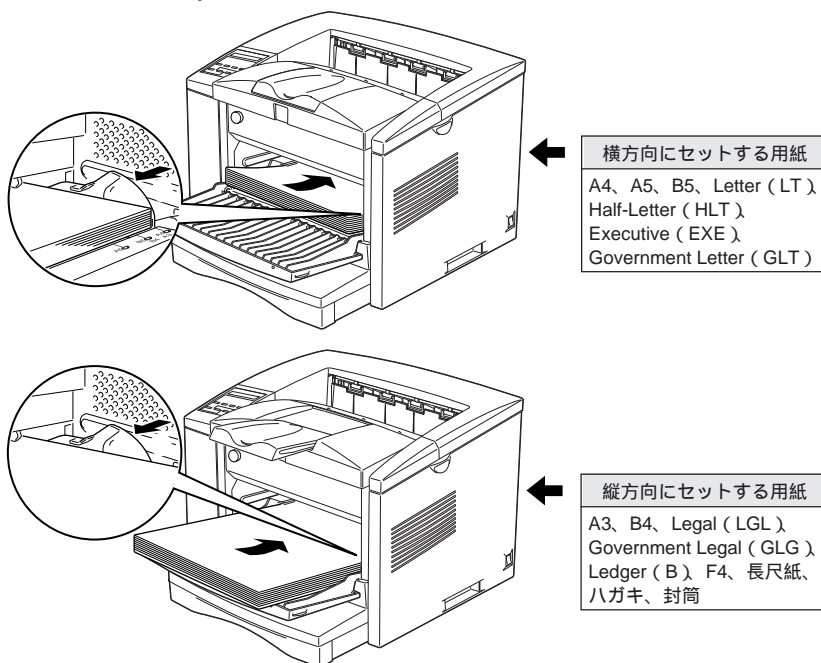
ポイント

カバーは必ず取り付けてプリンタにセットしてください。プリンタが誤動作または用紙カセットが認識されない場合があります。

8 **B4以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。**

9 **用紙サイズ表示ラベルをカセット前面に貼り付けます。**

本機には、用紙サイズシールが同梱されています。セットした用紙サイズのシールを用紙カセットやトレイに貼ってご利用ください。

用紙トレイへの用紙のセット

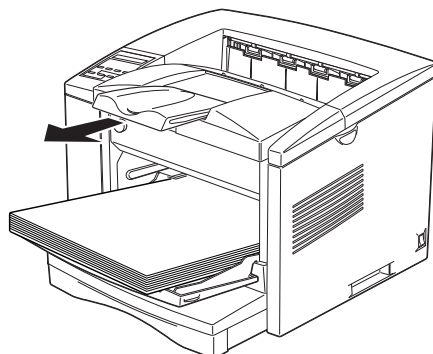
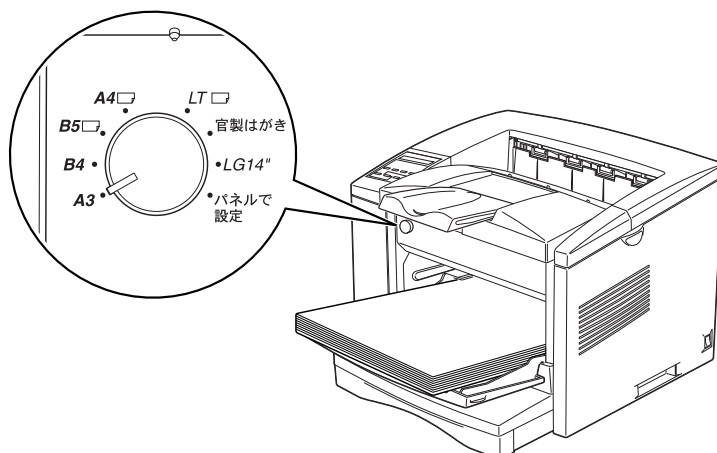
1 用紙トレイを開きます。

2 用紙ガイドを外側にずらします。

ポイント
用紙ガイドには、用紙の枚数の目安となるシールが貼ってあります。
シールの目盛りの上限を越えないように用紙をセットしてください。
最大 200 枚（普通紙 64g/m²）セットできます。

印刷する面を上にして用紙をセットし、用紙ガイドを合わせます。

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。

ポイント

- **用紙ガイドのツメを超えて用紙をセットしないでください。正常に給紙できない場合があります。**
- **長尺紙に印刷する場合は、用紙に手を添えて給紙するようにしてください。**

セットした用紙のサイズに応じて、排紙用延長トレイを引き出します。

B4以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙用延長トレイを引き出します。

トレイ紙サイズスイッチを、セットした用紙のサイズに合わせて設定します。

セットした用紙のサイズが、トレイ紙サイズスイッチの設定値にない場合は［パネルで設定］に合わせ、操作パネルの［ワンタッチ設定モード 2］で設定してください。

☞本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」132 ページ

ポイント

- **不定形紙、長尺紙をセットした場合はトレイ紙サイズスイッチを［パネルで設定］に合わせますが、操作パネルでの設定は必要ありません。**
- **トレイ紙サイズスイッチを［パネルで設定］にしない場合、操作パネルの［トレイ用紙サイズ］の設定は有効になりません。**

注 意

印刷中は、トレイ紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキや長尺紙など、特殊紙への印刷方法について説明します。

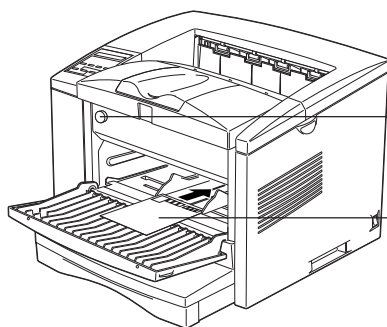
ハガキへの印刷

ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

以下のハガキは使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。

- **インクジェットプリンタ用ハガキ**
- **表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ**
- **熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ**
- **カラーレーザープリンタやカラー複写機で印刷した後のハガキ**
- **私製ハガキ**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ**
- **絵はがきなどの厚い（135g/m^2 より厚い）ハガキ**
- **大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）**

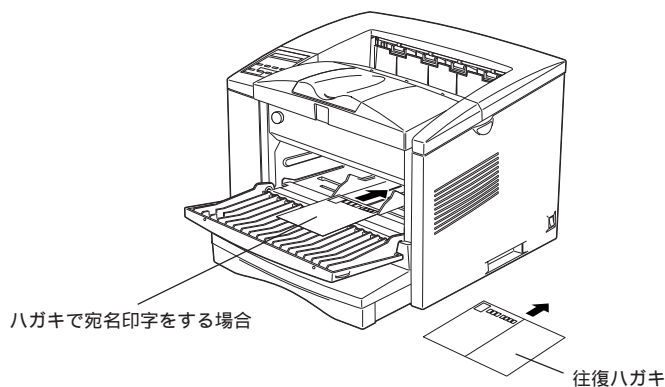
絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。

本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」193 ページ

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100 × 148mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
			給紙装置	[用紙トレイ]
		環境設定－拡張設定	紙種	[厚紙]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		詳細設定	紙種	[厚紙]

ポイント

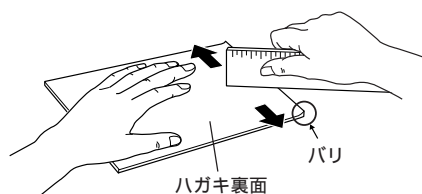
- 往復ハガキは用紙に折り目がないものを使用してください。
- 往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトで用紙サイズを、200mm × 148mmに設定してください。アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- 用紙トレイから給紙します（用紙カセットからの給紙はできません）。
- 裏面（または表面）に印刷したハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。

給紙の仕方

印刷面を上にしてセットしてください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」（裁断時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に１～２回こすり、「バリ」を除去します。

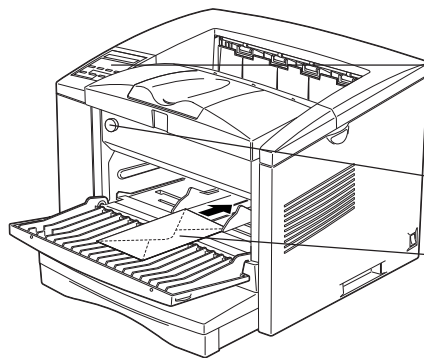
注 意

「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。

☞本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」193 ページ

封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

注 意

以下の封筒は使用しないでください。プリンタの故障や印刷不良などの原因になります。
- **熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷した封筒**
- **封の部分に両面テープによる糊付け加工が施されている封筒**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒**
- **リボン、フックなどが付いている封筒**
- **宛名用窓付きの封筒**

操作パネルでの設定（[トレイヨウシサイズ]の設定）：
[Mon]、[C10]、[DL]、[C5]の中から使用する用紙サイズを設定

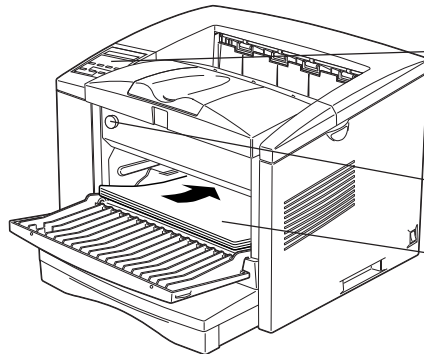
トレイ紙サイズスイッチの設定：
[パネルで設定]

給紙方法：
[用紙トレイ]　セット可能枚数[10枚]
印刷面を上にして封の付いている辺を左側にします

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[MON][C10][DL][C5]
		給紙装置	[用紙トレイ]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[Monarch] [Commercial-10] [DL][C5]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]

ポイント

- **封筒の定形サイズは、Monarch（MON）、Commercial-10（C10）、DL、C5の4つ（洋形封筒のみ）です。定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで、使用する封筒のサイズを設定してください。**
- **和封筒はご使用になれません。**
- **封にのりの付いた封筒はご使用になれません。**
- **封を確実に折り畳み、封の付いている辺を左に向けてセットしてください。印刷結果が思う向きにならない場合は、[逆方向から印刷]（Windowsプリンタドライバの「レイアウト]ダイアログ）/[180度回転印刷]（Macintoshプリンタドライバの[用紙設定]ダイアログ）をご利用ください。**
- **奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。**

厚紙/レターヘッドへの印刷

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
	環境設定 - 拡張設定	紙種	［厚紙］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
	詳細設定	紙種	［厚紙］

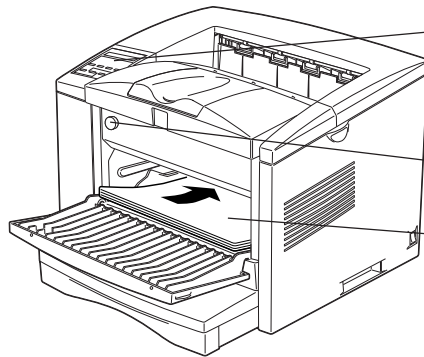
給紙タイプ（用紙種類）を設定する場合は、以下のページを参照してください。

本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21 ページ

ポイント
- **印刷する面を上に向けて給紙してください。**
- **135g/m² 以下のものを使用してください。**

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。
大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。
- **簡単にはがれてしまうラベル紙**
- **一部がはがれているラベル紙**
- **糊がはみ出しているラベル紙**
- **インクジェットプリンタ用のラベル紙**
- **台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙**
- **モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用以外のラベル紙**

操作パネルでの設定（［トレイヨウシサイズ］の設定）：
トレイ紙サイズスイッチを［パネルで設定］に合わせた場合のみ、使用する用紙サイズを設定

トレイ紙サイズスイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

給紙方法：
［用紙トレイ］　セット可能枚数［75 枚］
［用紙カセット］ セット可能枚数［20 枚］

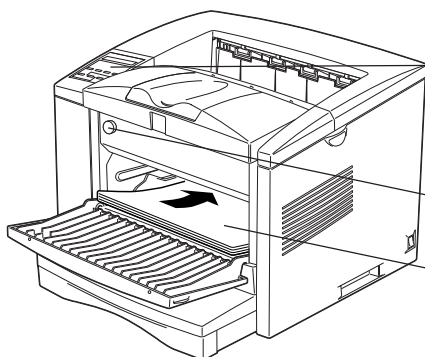
用紙カセットの場合は、セットできないサイズがあります
本書「用紙と給紙装置の関係」4 ページ

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］/［用紙カセット］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］/［用紙カセット］

給紙タイプ（用紙種類）を設定する場合は、以下のページを参照してください。
本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21 ページ

- **ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。**
- **モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。**
- **紙が厚い場合は、プリンタドライバで紙種を［厚紙］に設定してください。**
- **オプションの大容量給紙ユニットにはセットできません。**

OHPシートへの印刷

- OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後のOHPシートは熱くなりますのでご注意ください。
- カラー複写機やカラーページプリンタ専用のOHPシートは使用しないでください。

操作パネルでの設定（[トレイヨウシサイズ]の設定）：
トレイ紙サイズスイッチを［パネルで設定］に合わせた場合のみ、使用する用紙サイズを設定

トレイ紙サイズスイッチの設定：
使用する用紙サイズに合わせ設定

給紙方法：
［用紙トレイ］　セット可能枚数［75枚］
［用紙カセット］　セット可能枚数［20枚］

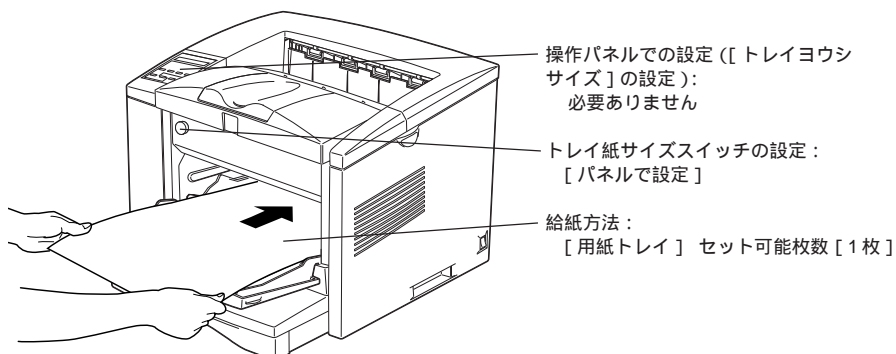
用紙カセットの場合は、セットできないサイズがあります
本書「用紙と給紙装置の関係」4ページ

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ] / [用紙カセット]

給紙タイプ（用紙種類）を設定する場合は、以下のページを参照してください。

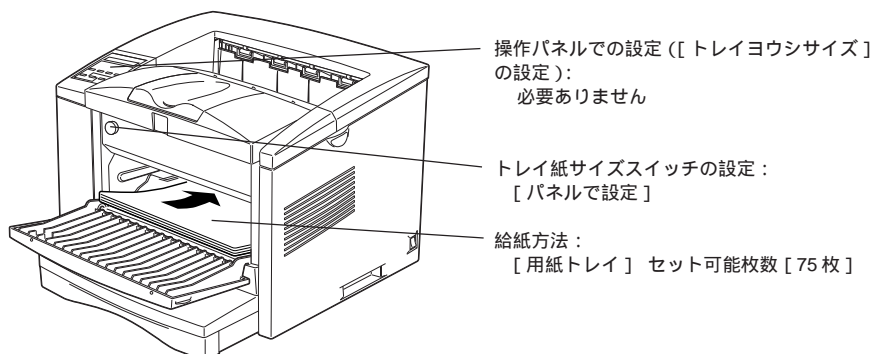
本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21ページ

- モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用を使用してください。
- OHPシートに付属している説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、表面を上に向けてセットしてください。
- オプションの大容量給紙ユニットにはセットできません。
- OHPシートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

長尺紙への印刷

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
		解像度	[はやい]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		解像度	[はやい]

ポイント

- **印刷する面を上に向けて、1枚ずつ手で支えて給紙してください。**
- **紙が厚い（90〜135g/m²）場合は、紙種を［厚紙］に設定してください。**
- **印刷内容によっては、メモリの不足で印刷できないことがあります。この場合は、メモリを増設してください。**
  本書「増設メモリ」166 ページ
- **印刷する文書は、縦向きに印刷する時は下余白を15mm以上、横向きに印刷する時は右余白を 15mm 以上あけて作成してください。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、長尺紙への印刷はできません。**
- **裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。斜めに給紙されるなど給紙不良の原因になります。**

不定形紙への印刷

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
		給紙装置	[用紙トレイ]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]

- **アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**
- **印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **紙が厚い（90～135g/m²）場合は、紙種を［厚紙］に設定してください。**
- **用紙のセット方向は、ユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。**
  <例>ユーザー定義サイズを「240×332mm」に設定した場合

<例>ユーザー定義サイズを「332×240mm」に設定した場合

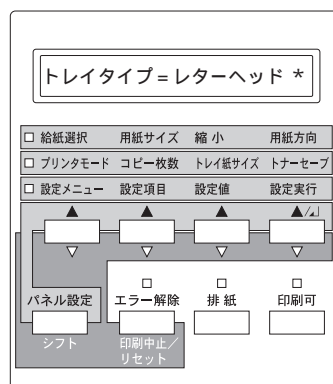
給紙タイプ（用紙種類）選択機能

各給紙装置にセットした用紙のサイズとタイプ（種類）を設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプ（種類）を調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぎます。

操作パネルで各給紙装置にセットした用紙のタイプ（種類）を設定します。

用紙のタイプ（種類）は次の中から選択できます。

- 普通紙 / 印刷済み / レターヘッド / ボンド紙 / 再生紙 / 色付き / OHP フィルム / ラベル紙

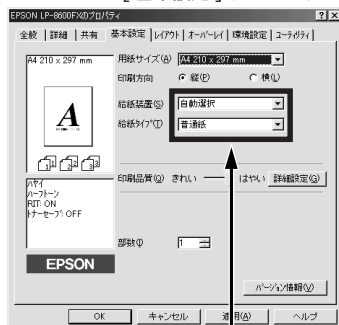
  ☞ 本書「階層設定モードでの設定方法」134 ページ

用紙カセットの場合は、レターヘッド、ラベル紙、OHP フィルムは選択できません。

印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）の中から、印刷したい用紙のタイプ（種類）を選択します。

印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

☞ Windows「［基本設定］ダイアログ」31 ページ
Macintosh「［プリント］ダイアログ」98 ページ

［給紙装置］が［自動選択］になっていないと［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）は選択できません。

Windows［基本設定］ダイアログ

選択します

Macintosh［プリント］ダイアログ

選択します

第2章

Windowsからの印刷

ここでは、Windows95/98/NT4.0からの印刷方法について説明します。

印刷までの流れ

Win

印刷データを作成します

1

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

2

☞セットアップガイド「電源のオン」18 ページ
☞本書「用紙について」1 ページ

必要に応じて操作パネルの設定を行います

3

用紙トレイに「用紙トレイ紙サイズスイッチ」の設定値にないサイズの用紙をセットした場合や給紙タイプ（用紙種類）の選択機能を使用する場合は、必ず操作パネルでの設定が必要です。
☞本書「操作パネルでの設定方法」129 ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4

☞本書「プリンタドライバの設定」29 ページ
本書「印刷の基本設定」31 ページ
本書「レイアウトの設定」37 ページ
本書「フォームオーバーレイ印刷」42 ページ
本書「給紙装置の用紙設定（WindowsNT3.51/NT4.0）」44 ページ
本書「プリンタの環境設定」45 ページ
本書「ユーティリティの起動」52 ページ

操作パネルと重複する項目（用紙トレイサイズ以外）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

印刷を実行します

5

☞本書「印刷の手順」25 ページ
本書「印刷の中止方法」59 ページ

印刷の手順

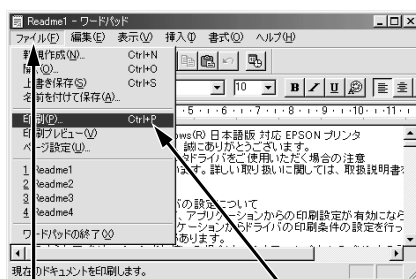
ここでは、Windows アプリケーションソフトでの印刷の設定方法と実行の手順について説明します。

Windows95/98/NT4.0 での印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
ここでは、Windows95/98/NT4.0 に添付の「ワードパッド」を例に説明します。

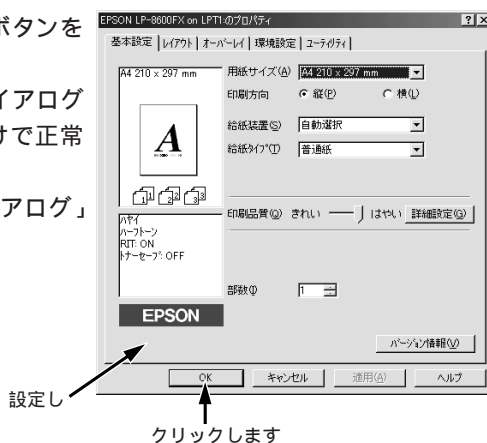
<Windows95/98/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法>
Windowsの スタート ボタンをクリックし、[プログラム] にカーソルを合わせ、さらに [アクセサリ] にカーソルを合わせ、[ワードパッド] をクリックします。

1 **[ワードパッド] を起動し、印刷データを作成します。**

2 **[ファイル] メニューをクリックし、[印刷] をクリックします。**

3 **お使いのプリンタが選択されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。**
プリンタドライバを設定する必要がなければOKボタンをクリックして印刷を実行します。

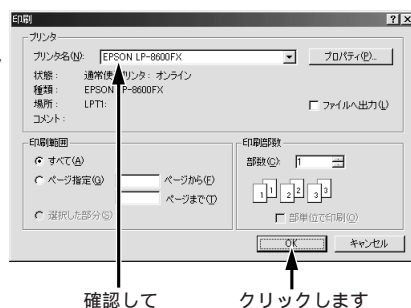
各項目を設定して OK ボタンをクリックします。

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞本書「［基本設定］ダイアログ」31 ページ

［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

ポイント

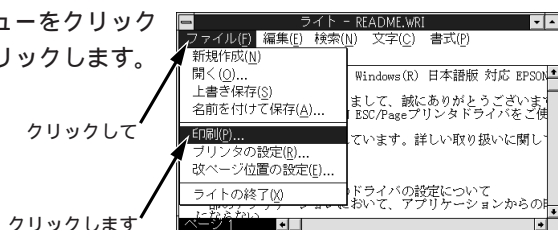
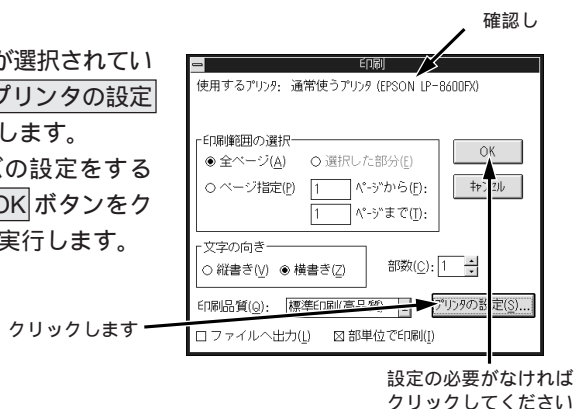
OK ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。

Windows3.1/NT3.51 での印刷手順

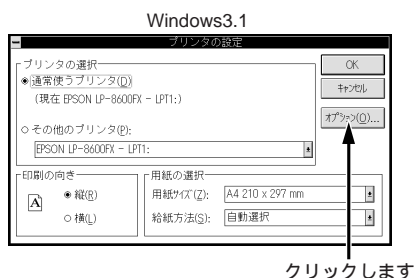
印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。
詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
ここでは Windows3.1/NT3.51 に添付の「ライト」を例に説明します。

<Windows3.1/NT3.51「ライト」の起動方法 >
プログラムマネージャの［アクセサリ］グループの［ライト］アイコンをダブルクリックします。

1 **「ライト」を起動し、印刷データを作成します。**

2 **［ファイル］メニューをクリックし、［印刷］をクリックします。**

3 **お使いのプリンタが選択されていることを確認し、プリンタの設定ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの設定をする必要がなければ、OK ボタンをクリックして印刷を実行します。

4 **オプション（Windows3.1）/ プロパティ（WindowsNT3.51）ボタンをクリックします。**

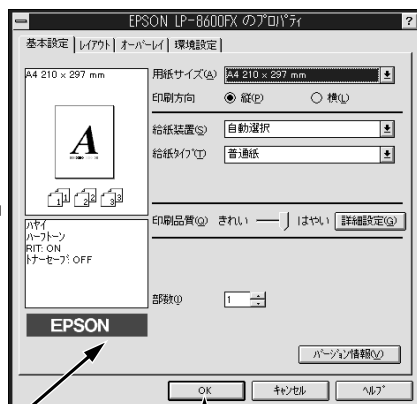
Windows3.1

WindowsNT3.51

クリックします

5 **各項目を設定して OK ボタンをクリックします。**

通常は［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

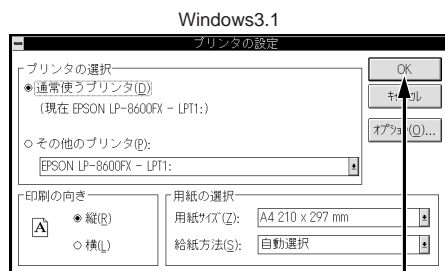
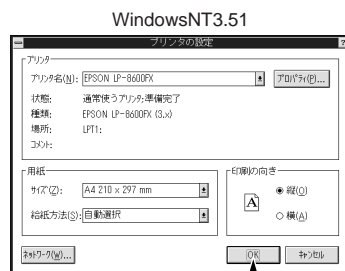
☞本書「[基本設定]ダイアログ」31 ページ

①設定し　②クリックします

> **ポイント**
> **［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。**

6 **OK ボタンをクリックします。**

Windows3.1

クリックします

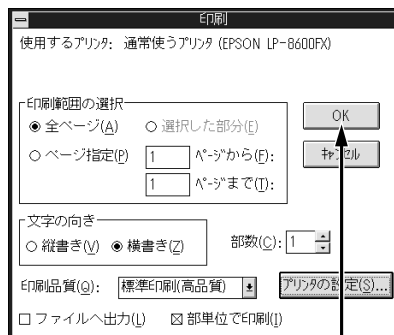
WindowsNT3.51

クリックします

7 **OK ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。

クリックします

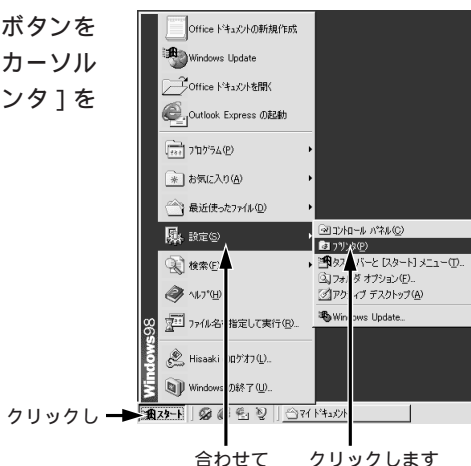
プリンタドライバの設定

Win

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバの設定ダイアログを開いて変更します。設定ダイアログの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

[プリンタ]から設定ダイアログを開く

Windows95/98/NT4.0の場合

Windows95/98/NT4.0の［プリンタ］フォルダからプリンタドライバの設定ダイアログを開く方法は何通りかあります。ここでは、Windowsの［スタート］メニューから開く代表的な方法を説明します。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせてから、［プリンタ］をクリックします。**

2 **［プリンタ］フォルダ内のプリンタアイコンをクリックして、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**

Win

Windows3.1/NT3.51の場合

Windows3.1/NT3.51のメイングループのコントロールパネル内にある[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。Windows3.1の場合は[プリンタの設定]ダイアログから、WindowsNT3.51の場合は[プリンタの情報]ダイアログからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。
詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「オプション装着時の設定」180ページ

アプリケーションソフトから設定ダイアログを開く

アプリケーションソフトによって、プリンタドライバを開く方法は異なります。

- Windows95/98/NT4.0の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、プロパティボタンをクリックします。
- Windows3.1/NT3.51の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、プリンタの設定ボタンをクリックしてから[プリンタの設定]ダイアログでオプションボタン(Windows3.1)/プロパティボタン(WindowsNT3.51)をクリックします。

以下のページの手順を参考にしてください。
☞本書「印刷の手順」25ページ

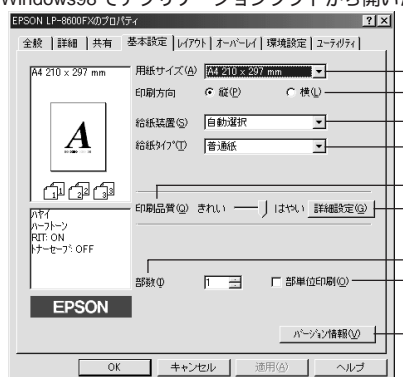
プリンタドライバを設定する

本章は、お使いの機種特有の設定に関して以下の項目に分けて説明します。
☞ 本書「印刷の基本設定」31ページ
本書「レイアウトの設定」37ページ
本書「フォームオーバーレイ印刷」42ページ
本書「給紙装置の用紙設定(WindowsNT3.51/NT4.0)」44ページ
本書「プリンタの環境設定」45ページ
本書「ユーティリティの起動」52ページ

印刷の基本設定

[基本設定]ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合

ポイント

WindowsNT4.0で［基本設定］ダイアログを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

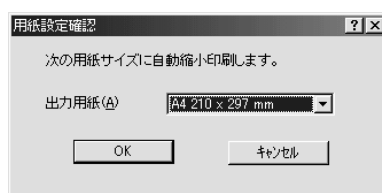
①用紙サイズ

作成する印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印 ▲ ▼ をクリックして表示させてください。

ポイント

作成した印刷データの用紙サイズと［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、まちがったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。

自動縮小印刷　：プリンタがサポートするサイズより大きいA3ノビ、A3W（ノビ）、A2を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

Win

ユーザー定義サイズ　：任意の用紙サイズを設定するには、［ユーザー定義サイズ］を選択します。開いた［用紙サイズ定義］ダイアログで、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙の長さを設定します。

設定できるサイズは以下の通りです。
用紙幅：9.01～29.70cm（3.55～11.69インチ）
用紙長（［はやい］設定時）：
14.80～90.00cm（5.83～35.43インチ）
（［きれい］設定時）：
14.80～43.18cm（5.83～17.00インチ）
設定した用紙サイズは、［用紙サイズ名］ボックスに名前を付け、保存 ボタンをクリックすると保存できます。削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、削除 ボタンをクリックします。
登録できる用紙サイズの数は20までです。

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

自動選択　：印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズおよび［給紙タイプ］で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ　：用紙トレイから給紙する場合は、［用紙トレイ］を選択します。

- **用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。**
- **用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。**

用紙カセット 1　　：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット 1］を選択します。

用紙カセット 2 〜 3　：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプションの用紙カセットは、上から 2、3 の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。
LP-8600FX(N)　　：3 番まで増設可能
LP-8400FX(N)/8300F　：2 番まで増設可能

ポイント

- **指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**
- **［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**

④給紙タイプ

［給紙装置］を［自動選択］に設定した場合は、給紙する用紙のタイプをリストから選択します。［給紙タイプ］を選択することにより、［用紙サイズ］と［給紙タイプ］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ操作パネルで各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21 ページ

［給紙装置］を［自動選択］以外に設定した場合は、［給紙タイプ］は設定できません。

ポイント

操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、［指定しない］を選択してください。

⑤印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を 1 インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げればきれいに印刷できます。

ポイント

- **［きれい］を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。**
- **印刷できなかったり、メモリ関連のエラーが発生する場合は、［はやい］に変更してください。**

⑥ 詳細設定 ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブ、高速グラフィックを設定するには、詳細設定 ボタンをクリックして、[詳細設定]ダイアログを開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「[詳細設定］ダイアログ」35 ページ

⑦部数

印刷する部数（1～999）を設定します。

⑧部単位印刷

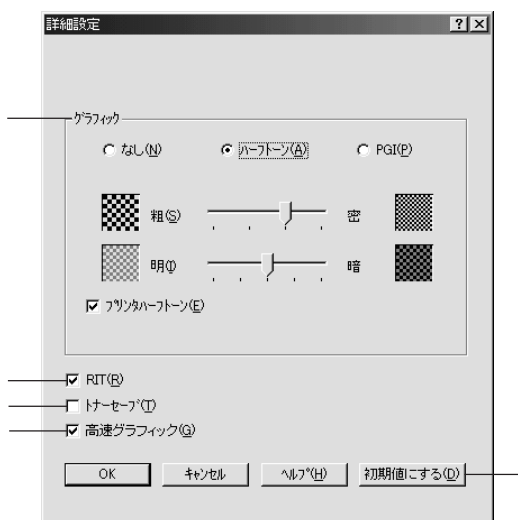
プリンタのメモリを128MB以上に増設した場合に設定できます。[部単位印刷］をクリックしてチェックマークを付けると、2 部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［部数］で指定します。

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にし、プリンタドライバ上の部単位印刷で設定してください。

⑨ バージョン情報 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

[詳細設定]ダイアログ

[基本設定] ダイアログで 詳細設定 ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが開きます。以下の機能を設定できます。

①グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

なし：ビットイメージ以外のハーフトーン処理は行いません。グレイスケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。

ハーフトーン：グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI：PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSONの独自の機能。

- **プリンタのメモリが少ないと、PGIで印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、[印刷品質] を [はやい] (300dpi) に設定してください。**
- **アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、PGIを有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はPGI以外の設定にして印刷してください。**

粗密　　　　　　　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷粗密度を、スライドバーで調整できます。[密] 側にスライドするとより細かく、[粗] 側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。

[密] にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれ真っ黒になります。コピーをする場合は、[密] にしないで印刷することをお勧めします。

明暗　　　　　　　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明] 側にスライドするとより明るく、[暗] 側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

プリンタハーフトーン：[ハーフトーン] を選択した場合にハーフトーン処理をプリンタ側で行うには、クリックしてチェックマークを付けます。

WindowsNT3.51/NT4.0 の場合、[プリンタハーフトーン] のチェックマークを外すと ハーフトーン設定 ボタンをクリックしてハーフトーンの詳細な設定ができます。[ハーフトーンカラーの調整] ダイアログの各項目については、ヘルプを参照してください。

② RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RIT を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。

③ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

④ 高速グラフィック

グラフィック（円や矩形などを重ねて描いた図形）を高速に印刷する機能です。この機能を使用してグラフィックが正常に印刷されなかった場合は使用しないでください。

⑤ 初期値にする ボタン

[詳細設定] ダイアログの設定を初期値に戻すときにクリックします。

レイアウトの設定

[レイアウト]ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合

ポイント

WindowsNT4.0で［レイアウト］ダイアログを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

① 拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大/縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

出力用紙：プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下の［倍率］ボックスに表示します。

倍率：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%～200%までの任意の倍率を1%単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

配置：フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するか、［左上合わせ］または［中央合わせ］のどちらかを選択します。

Win

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータ 1 枚の用紙に自動的に縮小し、割り付けて印刷します。

割り付けるページ数と順序を設定するには、割り付け設定 ボタンをクリックします。

割り付けページ数　：1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

割り付け順序　：割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷　：割り付けたページの周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

③スタンプマーク

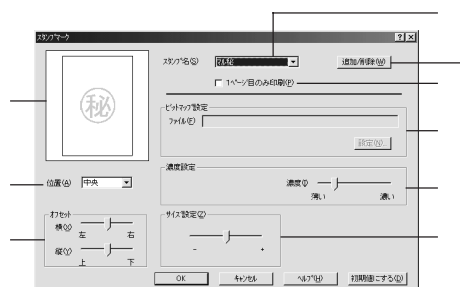
印刷データに㊙などのイメージを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、スタンプマーク設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」38 ページ

④逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで スタンプマーク設定 ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ ダイアログが開きます。

①プレビュー部

選択しているスタンプマークのイメージが表示されます。

②スタンプ名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ビットマップ設定

追加 / 削除 ボタンをクリックし、［ユーザー設定］ ダイアログでスタンプマークの名前を登録すると、スタンプマークのファイルを選択できるようになります。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトウェアであらかじめ作成して、BMP[*1] 形式で保存しておきます（最大保存数は 20）。

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の1つ。

ファイル　：設定 ボタンをクリックして BMP ファイルを指定すると、ファイル名とディレクトリ名が表示されます。

設定　：BMP ファイルを新しいスタンプマークとして登録する場合にクリックします。

⑤濃度設定

スタンプマークの印刷濃度を調整します。［濃度］ スライドバーを ［薄い］ 側に移動するとより薄く、［濃い］ 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥サイズ設定

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［−］側に移動するとより小さく、［+］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑦位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット

［位置］で選択した印刷位置からのオフセット量を調節します。

横　　：横方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［左］側に移動するとより左に、［右］側に移動するとより右にスタンプマークが印刷されます。

縦　　：縦方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［上］側に移動するとより上に、［下］側に移動するとより下にスタンプマークが印刷されます。

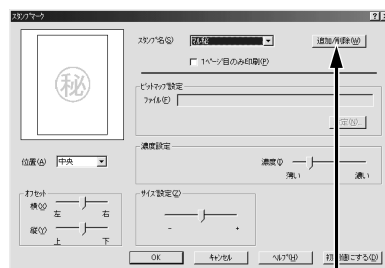
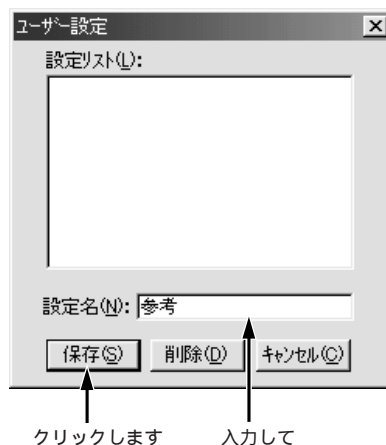
［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を越えないように注意してください。

⑨ 追加/削除 ボタン

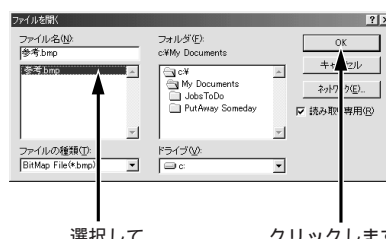
オリジナルのスタンプマークを登録したり削除するには、追加/削除 ボタンをクリックして［ユーザー設定］ダイアログを開きます。登録の手順については、以下の項目を参照してください。

オリジナルスタンプマークの登録方法

1 **アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。**

2 **［スタンプマーク］ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**

3 ［設定名］に任意の名称を入力して保存ボタンをクリックします。

> **ポイント**
> 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［設定リスト］から選んで削除ボタンをクリックします。
> 削除ボタンをクリックした後、［スタンプマーク］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログをOKボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

4 *3* で登録したスタンプ名を選択して 設定 ボタンをクリックします。

5 *1* で保存したファイルを選択し、OKボタンをクリックします。
これで［スタンプ名］のリストにオリジナルスタンプマークが登録されました。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで OK ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部に登録したスタンプマークのイメージが表示されていることを確認してください。

フォームオーバーレイ印刷

Win

フォームオーバーレイ印刷とは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。

本ドライバにはフォームデータは添付されていません。フォームデータの作成、編集などを行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）が必要です。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

[オーバーレイ]ダイアログ

<例> Windows98でアプリケーションソフトから開いた場合

ポイント

WindowsNT4.0で［オーバーレイ］プロパティを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

①フォームオーバーレイ

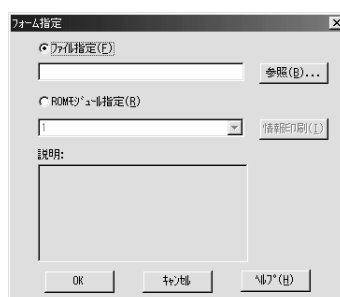
クリックしてチェックマークを付けると、［フォーム］のリストボックスで指定したフォームデータを重ね合わせて印刷します。

②フォーム

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示しません。

③ 詳細 ボタン

上記の［フォーム］リストでフォーム名を選択して 詳細 ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。

上記の［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して 詳細 ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）で作成したフォームファイルやオプションのROMモジュールに登録したフォームを指定できます。

コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。（ 参照 ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。）

プリンタに装着したオプションのROMモジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROMモジュールの情報を登録している場合は、 情報印刷 ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。

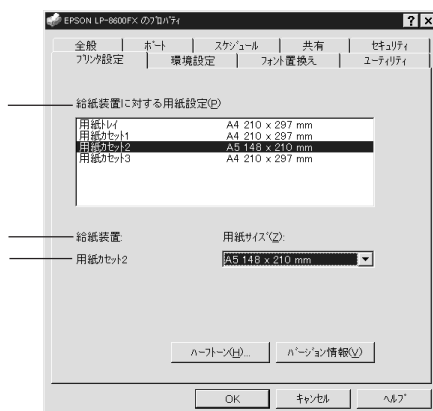
ポイント

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

給紙装置の用紙設定（WindowsNT3.51/NT4.0 ）

Win

［プリンタ設定］ダイアログ

WindowsNT3.51の場合、プリントマネージャから［プリンタ情報］ダイアログを開いて 設定 ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。WindowsNT4.0の場合は、［プリンタ］フォルダからプリンタプロパティを開くと［プリンタ設定］プロパティがあります。標準の給紙装置とオプションの給紙装置の用紙サイズを設定してください。

- **Windows95/98では設定しません。**
- **アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開いた場合は、設定できません。**
- **ハーフトーン ボタンについては、WindowsNTのヘルプをお読みください。**

①給紙装置に対する用紙設定

プリンタに装着している給紙装置とその用紙サイズを表示します。［用紙カセット 1］と［用紙トレイ］は標準の給紙装置です。

［用紙カセット 2 〜 3］は、オプションの増設カセットユニットを取り付けた場合にのみ表示されます。オプションの用紙カセットは、上から 2、3 の番号が割り当てられています。

LP-8600FX(N)　　　：3 番まで増設可能
LP-8400FX(N)/8300F ：2 番まで増設可能

②給紙装置

［給紙装置に対する用紙設定］リストでクリックして選択した給紙装置の名前が表示されます。

③用紙サイズ

［給紙装置に対する用紙設定］リストでクリックして選択した給紙装置に対して、リストから用紙サイズを選択して設定します。

プリンタの環境設定

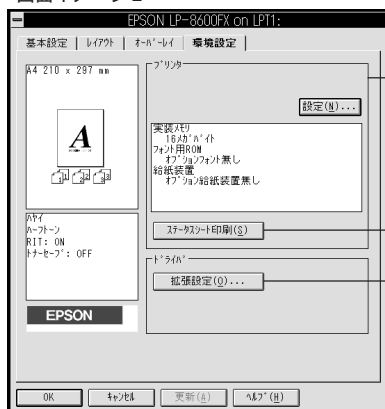
[環境設定]ダイアログ

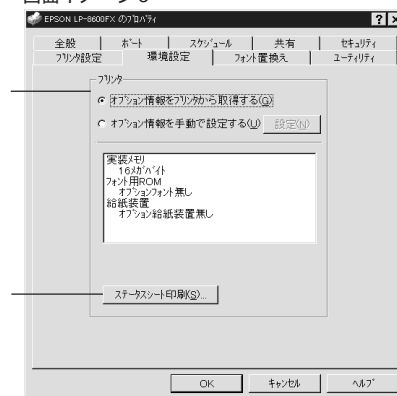
以下に代表的な画面を掲載します。お使いのOSによって多少画面イメージが異なりますが、設定項目名などは同じです。

いくつかの設定項目は、［プリンタ］フォルダ / アイコンからプリンタドライバの［環境設定］ダイアログを開かないと設定できません。［プリンタ］フォルダ / アイコンから開く場合は、以下の手順に従ってください。
☞「［プリンタ］から設定ダイアログを開く」29 ページ

画面イメージ 1

Windows95/98 の［環境設定］ダイアログを［プリンタ］フォルダから開いた場合

画面イメージ 2

Windows3.1 の［環境設定］ダイアログをコントロールパネル内の［プリンタ］アイコンから開く

画面イメージ 3

WindowsNT4.0 の［環境設定］ダイアログを［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択して開いた場合

画面イメージ 4

WindowsNT4.0 の［環境設定］ダイアログを［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択して開くか、アプリケーションソフトから開いた場合

WindowsNT3.51の場合やEpson Internet Print使用時は、自動でオプション情報をプリンタから取得できませんので、［設定］ボタンをクリックして手動でオプション情報を設定してください。

Win

①プリンタオプション情報

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置、フォント ROM モジュール）の有無を表示します。

オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得する	：EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得することができます。詳しくは以下のページを参照してください。 ☞本書「オプション装着時の設定」180 ページ
オプション情報を手動で設定する	：設定 ボタンをクリックして、［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。詳しくは、以下のページを参照してください。 ☞本書「［実装オプション設定］ダイアログ」47 ページ

ポイント

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は、最新のオプション情報に更新しません。また、設定 ボタンをクリックすると、現在のオプション情報を表示するだけです。

② ステータスシート印刷 ボタン

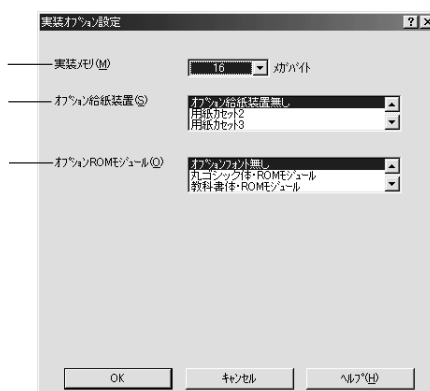
プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③ 拡張設定 ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置を調整するオフセット値、紙種、白紙節約機能、用紙サイズのチェックの設定を行うには、拡張設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「［拡張設定］ダイアログ」48 ページ

Win

[実装オプション設定]ダイアログ

[プリンタ] フォルダから [環境設定] ダイアログを開き、[オプション情報を手動で設定する] をクリックして 設定 ボタンをクリックすると、[実装オプション設定] ダイアログが開きます。

①実装メモリ

標準メモリ*と増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイトです。

* LP-8600FX(N)/8400FX(N)は 16MB、LP-8300F は 8MB

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、[オプション給紙装置なし] をクリックして選択します。

オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。複数選択できます。選択を解除するには、再クリックします。

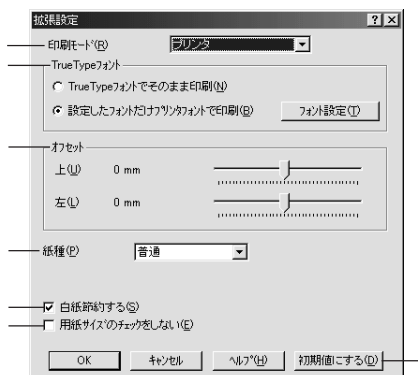
③オプションROMモジュール

オプション ROM モジュールを装着していない場合は、[オプションフォントなし] をクリックして選択します。

オプション ROM モジュールを装着している場合は、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。2つまで選択できます (LP-8300F は 1 つのみ)。選択を解除するには、再クリックします。

Win

[拡張設定]ダイアログ

[環境設定] ダイアログで 拡張設定 ボタンをクリックすると、[拡張設定] ダイアログが開きます。

① 印刷モード

印刷モードを選択します。OS によって、選択肢が異なります。

	Windows95/98	Windows3.1/NT3.51/NT4.0
ホスト*1	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。	ー
プリンタ	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。	ー
標準	ー	通常は [標準] のまま印刷します。
CRT 優先*2	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に、選択してください。	

*1 ：[ホスト] を選択している場合、フォームオーバーレイ印刷はできません。

*2 ：[CRT 優先] を選択している場合、以下の制限があります。

- [基本設定] ダイアログの [詳細設定] で、[グラフィック] の設定を変更できません。
- 同じ [拡張設定] ダイアログで [TrueType フォント] の設定を変更できません。プリンタフォントを指定している場合は、TrueType フォントに置き換えられます。
- [印刷モード] を [標準] に設定した印刷結果と比べて、階調部分や明暗の印刷結果が異なります。

②TrueTypeフォント

TrueTypeフォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷 ：TrueType フォントをそのまま印刷します。

設定したフォントだけプリンタフォントで印刷 ：TrueType フォントを、［フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。［フォントの置換設定］ダイアログを開くには、フォント設定ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える」51 ページ

ポイント

- **Windows3.1/95/98の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。**
- **WindowsNT3.51/NT4.0の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開き、［フォント置換］タブでフォントの置き換えを指定します。［拡張設定］ダイアログのフォント設定ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。**

③オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置） ：-9mm（上方向）～ 10mm（下方向）

左（水平位置） ：-9mm（左方向）～ 10mm（右方向）

④紙種

用紙の種類を設定します。通常は［普通］を選択してください。

普通 ：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。

厚紙 ：厚紙や OHP シートなど、紙厚が 90 ～ 135g/m^2 の用紙を使用する場合に選択します。

ポイント

使用する用紙に合わせて［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑥用紙サイズのチェックをしない

クリックしてチェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙サイズエラーにはなりません。

⑦ 初期値にする ボタン

［拡張設定］ダイアログの設定を初期値に戻すときにクリックします。

TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える

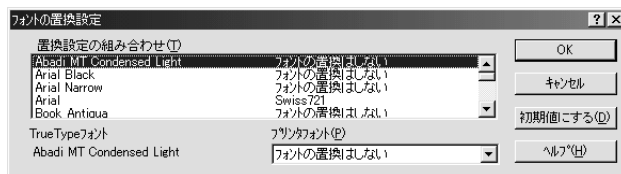
Windows3.1/95/98とWindowsNT3.51/4.0では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってください。

［プリンタ］フォルダ/アイコンからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。

フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。

Windows3.1/95/98 の場合

①［環境設定］タブをクリックして開き、拡張設定ボタンをクリックします。

②［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、フォント設定ボタンをクリックします。

WindowsNT3.51/4.0 の場合

［フォント置換え］タブをクリックします。

3 **［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。**

4 **［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。**

5 **3と4を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、OKボタンをクリックして作業を終了します。**

Win

ユーティリティの起動

EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされていない場合は、［ユーティリティ］ダイアログは使用できません。セットアップ時にEPSON プリンタウィンドウ!3をインストールしていない場合は、以下のページを参照して EPSON プリンタウィンドウ!3 を単独でインストールしてください。
☞セットアップガイド「EPSONプリンタウィンドウ!3のインストール」32ページ

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトの EPSON プリンタウィンドウ!3 に関わる設定を行います。

① プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。

ポイント

- **WindowsNT4.0 で、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。**
- **NetBEUI接続時やEpson Internet Print使用時には［プリンタをモニタする］のチェックを外してください。**

② EPSONプリンタウィンドウ!3

左側のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」53 ページ

③ モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタ設定］ダイアログを開いてモニタの設定をします。
☞本書「モニタの設定」57 ページ

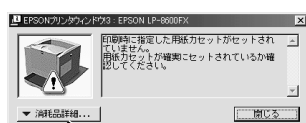
EPSONプリンタウィンドウ!3

Win

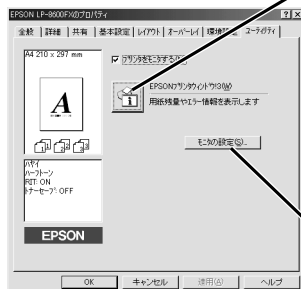
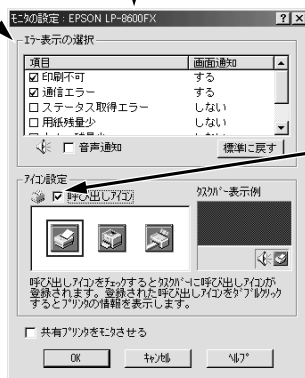
EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるWindows95/98/NT4.0用のユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、[プリンタ詳細] ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティや Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

プリンタのプロパティからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

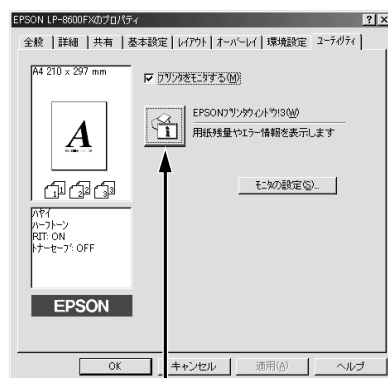
呼び出しアイコン

タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。

ここをチェックすると、タスクバーに呼び出しアイコンが設定され、そこからEPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

[モニタの設定] ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3を設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。
☞「［プリンタ詳細］ウィンドウ」55 ページ

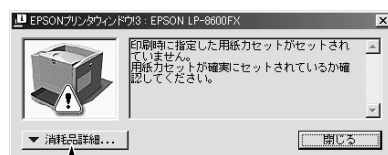
［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。

［方法 2］
［方法1］の画面にある モニタの設定 ボタンから呼び出しアイコンを設定した場合、Windowsのタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。
☞本書「モニタの設定」57 ページ

［方法 3］
アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

Win

[プリンタ詳細]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」56 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

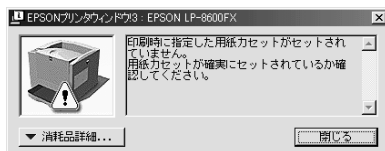
④ 用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ)、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤ トナー残量

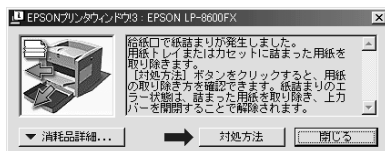
ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」55 ページ

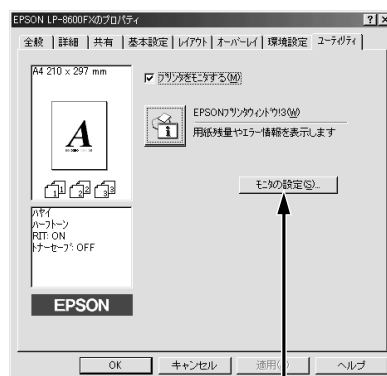
- 閉じる ボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。

モニタの設定

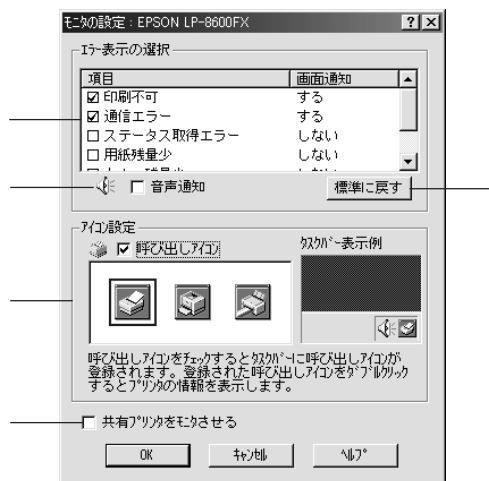
EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の モニタの設定 ボタンをクリックします。

［方法2］

上記［方法1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windowsのタスクバーにある EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

[モニタの設定]ダイアログ

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。クリックしてチェックマークを付けたエラーが発生した場合、ポップアップウィンドウが現われ、対処方法が表示されます。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン] をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

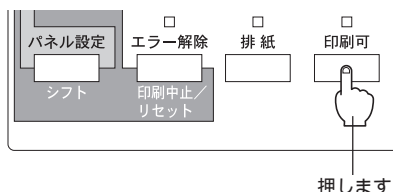
⑤共有プリンタをモニタさせる

クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞本書「プリンタを共有するには（Windows95/98/NT4.0）」61 ページ

印刷の中止方法

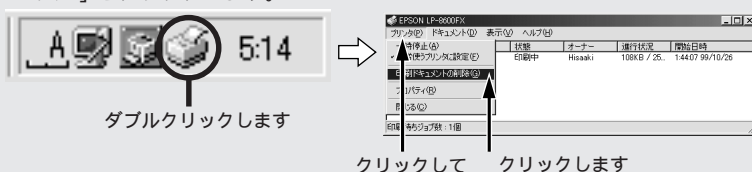
プリンタの 印刷可 スイッチを押します。

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

Win

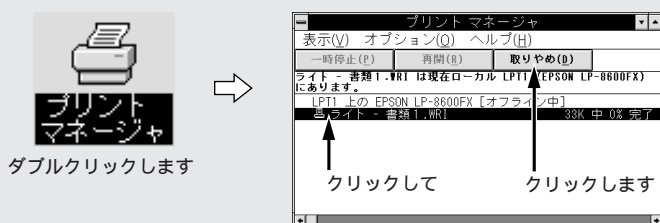
コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

● Windows95/98/NT4.0 の場合

① 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

② ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］または［印刷ジョブのクリア］をクリックします。

● Windows3.1 の場合

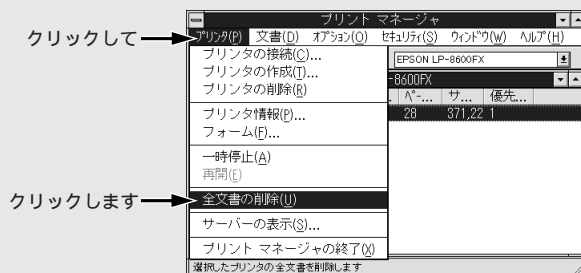
① プリントマネージャアイコンをダブルクリックします。

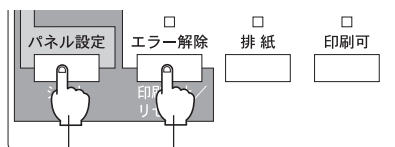
② 削除する印刷データをクリックして［取りやめ］をクリックします。

● WindowsNT3.51 の場合

① メイングループのプリントマネージャアイコンをダブルクリックします。

② お使いのプリンタの機種名のアイコンをダブルクリックします。

③ ［プリンタ］メニューの［全文書の削除］をクリックします。

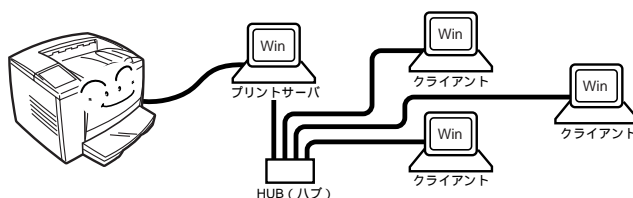
Win

2 **シフト スイッチとエラー解除スイッチを同時に押します（リセット）。**

受信データが消去されます。

シフト（パネル設定）スイッチを押したまま エラー解除スイッチを押します

> ポイント
> **シフト + エラー解除スイッチを5秒以上押すと電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。**
> **☞本書「リセットオール」160 ページ**

プリンタを共有するには(Windows95/98/NT4.0)

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ポイント

- **以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。**
- **画面は Microsoft ネットワークの場合です。**

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

☞ 本書「Windows95/98 の場合」62 ページ
本書「WindowsNT4.0 の場合」65 ページ

ポイント

EPSONプリンタウィンドウ!3をクライアント側で使用するには、サーバ側のEPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークを付ける必要があります。
☞本書「［モニタの設定］ダイアログ」57 ページ

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「Windows でのセットアップ（Windows3.1 を除く）」47 ページ

Windows95/98の場合

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

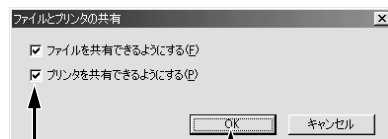
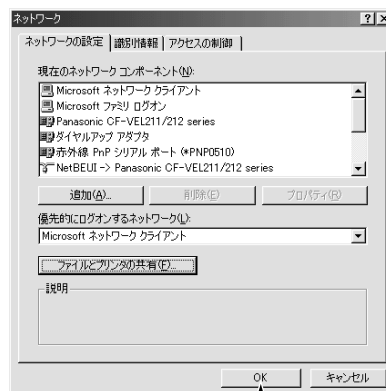
3 **ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。**

クリックします

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、OK ボタンをクリックします。**

①クリックして　②クリックします

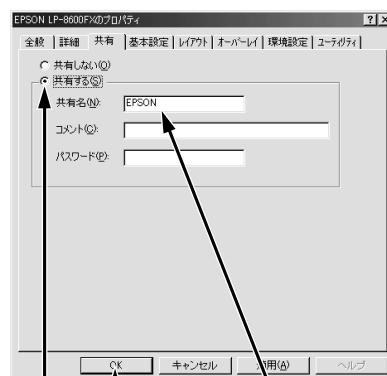
OKボタンをクリックします。

ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、OKボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1でコントロールパネルを開いて6から設定してください。

コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 お使いのプリンタのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

Win

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、OK ボタンをクリックします。**
必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

ポイント
エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

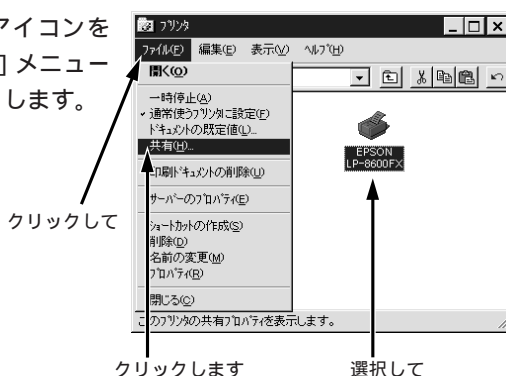
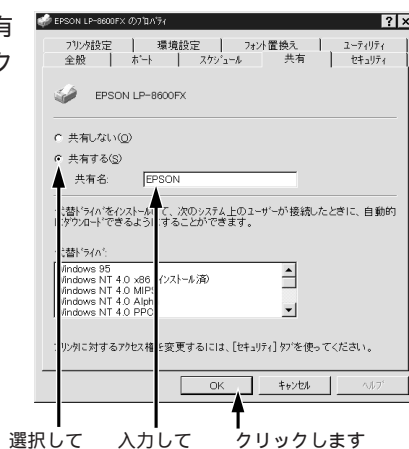
これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞セットアップガイド「Windows でのセットアップ（Windows3.1 を除く）」47 ページ

WindowsNT4.0 の場合

WindowsNT4.0 のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **お使いのプリンタのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。**

3 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**

- **エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。**
- **［代替ドライバ］は選択しないでください。**

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞セットアップガイド「Windows でのセットアップ（Windows3.1 を除く）」47 ページ

プリンタ接続先の設定

Win

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。コンピュータにローカル接続している場合は、組み込んだままの設定で使用できますので変更は不要です。
ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

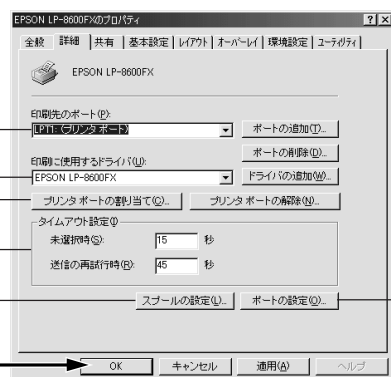
- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。**
- **ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。**

Windows95/98の場合

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **お使いのプリンタのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

3 **［詳細］タブをクリックします。**

4 **接続先などを設定し、OK ボタンをクリックします。**
各項目の詳細な説明は、次ページを参照してください。

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。

ポイント

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、通常は「LPT1」に設定します。

PRN ： EPSON PC シリーズ /NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。この PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。

LPT ： 通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。

FILE ： 印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

ポートの追加 ボタン:

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

ポイント

ネットワークパスを指定してポートを追加することでネットワーク上に接続された本機に接続することができます。参照 ボタンをクリックしてネットワーク構成図からプリンタを選択してください。

ポートの削除 ボタン:

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

②印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

ドライバの追加 ボタン:

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

③プリンタポートの割り当て

ネットワークプリンタと接続している場合に使用できます。

プリンタポートの割り当て ボタン:

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

プリンタポートの解除 ボタン:

ネットワークドライブに割り当てたポートを解除するときにクリックします。

④タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。通常は変更する必要はありません。

未選択時

プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。
ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

ポイント

- **ポートによってタイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

⑤ ポートの設定 ボタン

通常は変更する必要はありません。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール:

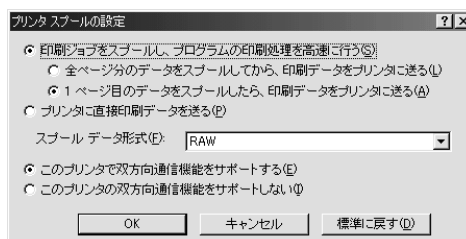
MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック：

印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。

⑥ スプールの設定 ボタン

印刷データのスプール[*1]方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができる。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データをWindowsからプリンタに直接送るため､高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。印刷データスプール方法には、次の 2 つがあります。どちらかをクリックして選択します。

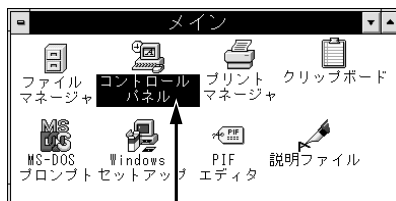
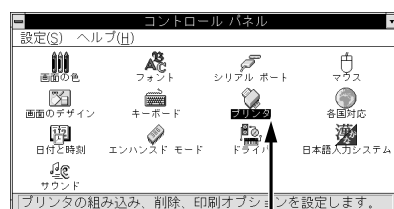
- 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る
- 1 ページめのデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る

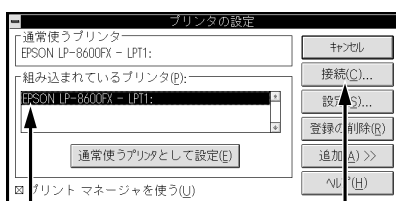
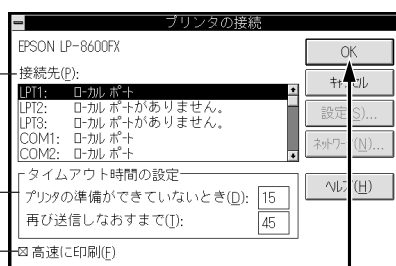
プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。
EPSON プリンタウィンドウ!3 をお使いになる場合は、［サポートする］の○をクリックして●印を付けて選択します。

このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。

Windows3.1の場合

1 **メイングループ内の［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックします。**

2 **コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。**

3 **設定を変更するプリンタをクリックし、接続ボタンをクリックします。**

4 **接続先などを設定し、OKボタンをクリックします。**
各項目の詳細な説明は、
次ページを参照してください。

①接続先

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。各項目の詳細は以下のページをご覧ください。

☞本書「プリンタ接続先の設定 / 印刷先のポート」67 ページ

ポイント

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、［LPT1］を選択してください。

②タイムアウト時間の設定

タイムアウトの時間を設定します。

プリンタの準備ができていないとき

プリンタが印刷可能状態になるまでの時間を設定します。この時間を過ぎても印刷可能状態にならないと、エラーが表示されます。

再び送信しなおすまで

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。この時間を過ぎてもデータを受信できない場合は、エラーが表示されます。

ポイント

- **ポートによってはタイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **タイムアウト時間の設定はプリントマネージャを使用している場合に有効になります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合など、エラーが表示されやすくなります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［再び送信しなおすまで］を長く設定してください。**

③高速に印刷

通常はチェックボックスをチェックしたままにしてください。このボックスをチェックしていると、印刷データを Windows からプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。チェックしないと、DOS を経由して印刷されるので印刷時間が長くなります。

プリンタソフトウェアの削除

Win

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windows95/98/NT4.0の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ/EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除する手順を説明します。

ポイント

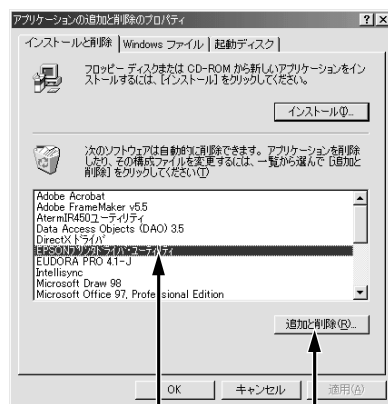
EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

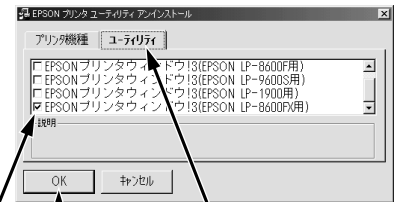
4. **［EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから、追加と削除 ボタンをクリックします。**

①クリックして　②クリックします

プリンタソフトウェアを削除する → 次ページへ進みます

EPSON プリンタウィンドウ!3 のみの削除 → 74 ページの 5 へ進みます

プリンタソフトウェアの削除

［プリンタ機種］タブをクリックし、お使いのプリンタのアイコンを選択します。

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSONプリンタウィンドウ!3（選択した機種専用）にチェックマークが付いていることを確認して OK ボタンをクリックします。**

7 **EPSONプリンタウィンドウ!3の削除確認のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。**

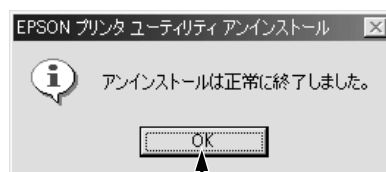
EPSON プリンタウィンドウ!3（選択した機種専用）の削除が始まります。

8 **プリンタドライバの削除確認のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

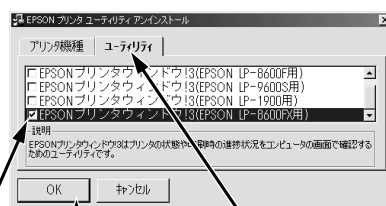
- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックします。

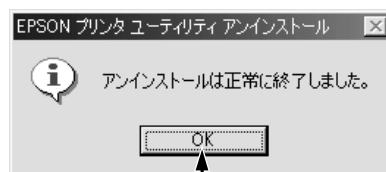
Win

9 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**
これでプリンタソフトウェアの削除（アンインストール）は終了です。

ポイント
プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSONプリンタウィンドウ!3のみの削除

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。**

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSONプリンタウィンドウ!3（選択した機種専用）］を選択して、OKボタンをクリックします。**

7 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**
EPSON プリンタウィンドウ!3（選択した機種専用）の削除が始まります。

8 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**
これでEPSONプリンタウィンドウ!3（選択した機種専用）の削除（アンインストール）は終了です。

ポイント
プリンタドライバやEPSONプリンタウィンドウ!3を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSONバーコードフォント

Win

EPSONバーコードフォントは、本機で印刷できるバーコードフォントです。バーコード印刷する必要がある場合に、Windows95/98/NT3.51/NT4.0にインストールしてご利用ください。

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1]フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。

EPSONバーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成・印刷するためのフォントです。このフォントを使ってデータキャラクタとして必要な文字のみを入力すれば、バーコードに必要なコードやキャラクタは自動的に指定され、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルが簡単に作成・印刷できます。

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSONバーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	ﾁｪｯｸ[*2]ﾃﾞｼﾞｯﾄ	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の、ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の、ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

［基本設定］の［印刷品質］　：きれい（600dpi）
［基本設定］-［詳細設定］の［トナーセーブ］：チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］の［拡大 / 縮小］　：チェックマークなし（OFF）

文字の装飾/配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。（例＜＝＞ ⇨ ⇔ ）

入力時の注意について

- Code39、Code128において、一つの行に2つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間はTABで区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
  バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
  バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7は、バーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞「各バーコードについて」81ページ

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSONバーコードフォントをご利用いただくには、Windows95/98/NT3.51/NT4.0でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

☞ Windows95/98/NT4.0
ユーザーズガイド「システム条件の確認」28ページ
WindowsNT3.51
ユーザーズガイド「システム条件の確認」33ページ

ハードディスク　：　15〜30KByteの空き容量
（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

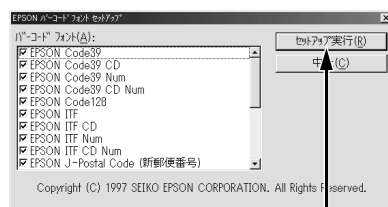
1 コンピュータの電源をオンにし、Windowsを起動します。

2 EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

3 バーコードフォントのインストール を選択して 次へ ボタンをクリックします。

ポイント 上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックして CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 インストールするバーコードフォントをチェックして セットアップ実行 ボタンをクリックします。

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

これでEPSONバーコードフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。EPSONバーコードフォントの詳細、使用方法は、次ページ以降をご覧ください。

バーコードの作成

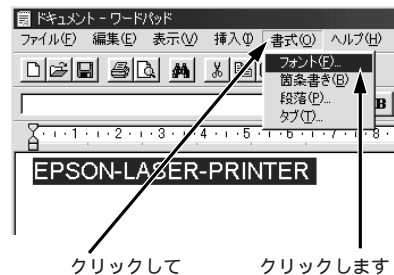
ここではWindows95/98に添付のワードパッドを例に、EPSONバーコードフォントの印刷手順を説明します。

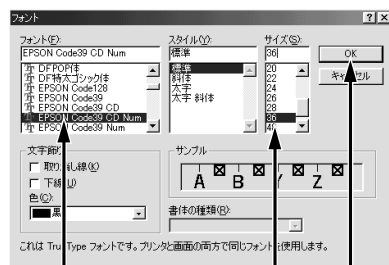
1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**

ポイント
文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**
選択した範囲が反転表示になります。

3 **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**

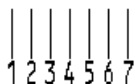
Win

4 **［フォント］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、OKボタンをクリックします。**

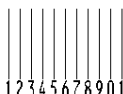
ポイント

WindowsNT4.0 では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 **入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。**

6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細/構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 ～ 130pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー • チェックキャラクタ　• OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 ～ 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー • チェックキャラクタ　• OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

Win

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13は「JIS X 0501」として規格化されたJANの標準バージョン（13桁）です。
• EPSONバーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60～150pt（WindowsNTは96ptまで）
保証サイズは60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0～9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36～90pt。
保証サイズは36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Shortに変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

Win

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）
• Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">11 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックデジット　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">6 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• チェックデジット
• OCR-B　• ナンバーシステム「0」のみ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Code39 ではスペースを “ _ ”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ _ ”（アンダーライン）を入力してください。
• Code39 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字（A 〜 Z、0 〜 9）
記号（−　.　スペース　$　／　＋　%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：26pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt
（WindowsNT は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン　• スタート／ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSONバーコードフォントはコードセットA、B、Cをサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• Code128で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">全てのASCII文字（95文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26～104pt（WindowsNTは96ptまで）
保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。(USS Interleaved 2-of-5)
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはInterleaved 2of5の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5は、キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。(WindowsNT は 96pt まで)
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート／ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート／ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート／ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）、記号（−　$　:　／　.　+）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン　• スタート／ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="5">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ に変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8 ～ 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフン）の削除
• スタート／ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 – 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

第3章

Macintoshからの印刷

Mac

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。

印刷までの流れ

1 プリンタの電源をオンにしてセットします

☞セットアップガイド「電源のオン」18 ページ
☞本書「用紙について」1 ページ

2 必要に応じて操作パネルの設定を行います

用紙トレイに「用紙トレイ紙サイズスイッチ」の設定値にないサイズの用紙をセットした場合や用紙タイプの選択機能を使用する場合は、必ず操作パネルでの設定が必要です。
☞本書「操作パネルでの設定方法」129 ページ

3 セレクタでプリンタの機種名を選択します

☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」40 ページ

4 用紙を設定して印刷データを作成します

アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。
☞本書「用紙設定の手順」91 ページ

5 プリンタドライバで印刷条件を設定します

☞本書「印刷の手順」92 ページ
本書「印刷の設定」98 ページ

操作パネルと重複する項目（用紙トレイサイズ以外）は、プリンタドライバの設定が優先されます。

6 印刷を実行します

☞本書「印刷の手順」92 ページ
本書「EPSON プリントモニタ!3」115 ページ
本書「印刷の中止方法」117 ページ

印刷の手順

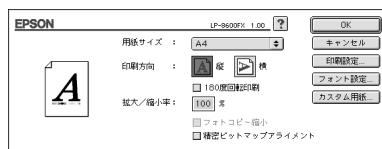
用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

ポイント **用紙設定をする前に、お使いのプリンタ用のプリンタドライバをセレクタで選択してください。**
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」40 ページ

1 **［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。**

2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。**

3 **必要な項目を設定します。**
設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
☞本書「［用紙設定］ダイアログ」93 ページ
本書「フォント設定の手順」95 ページ
本書「カスタム用紙の設定 / 変更」97 ページ

4 **OK ボタンをクリックして終了します。**

この後、印刷データを作成します。

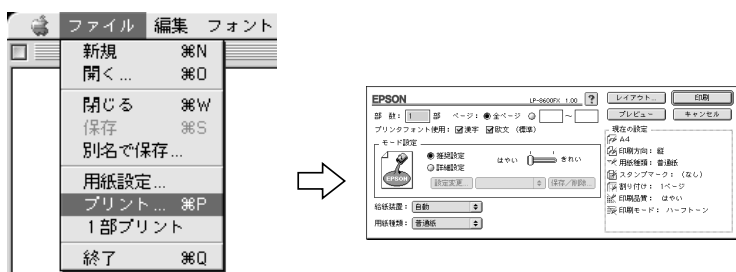
Mac

印刷の手順

Mac

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

印刷に必要な項目を設定します。

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

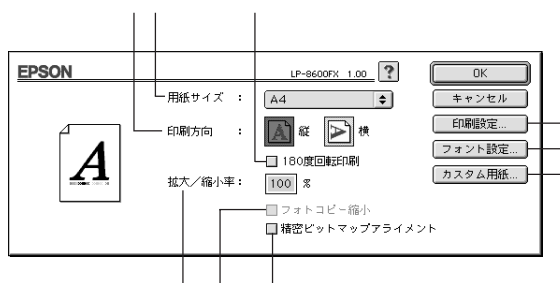
☞本書「［プリント］ダイアログ」98 ページ
本書「［詳細設定］ダイアログ」102 ページ
本書「［レイアウト］ダイアログ」107 ページ

印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。

用紙の設定

[用紙設定]ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

Mac

①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、［縦］、［横］のいずれかをクリックして選択します。

③180度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

④拡大/縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合にクリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、次の［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、［フォトコピー縮小］を選択している場合は、選択できません。

Mac

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」98 ページ

⑧ フォント設定 ボタン

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えるための設定を行います。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」95 ページ

ポイント

［180 度回転印刷］や、印刷モードが［CRT 優先］に設定されている場合、フォントの置き換えはできません。

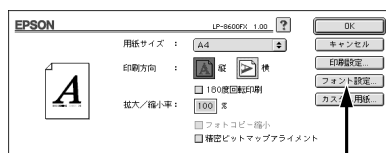
⑨ カスタム用紙 ボタン

クリックすると［カスタム用紙］ダイアログが表示され、用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

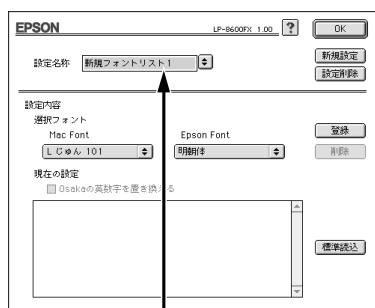
☞本書「カスタム用紙の設定 / 変更」97 ページ

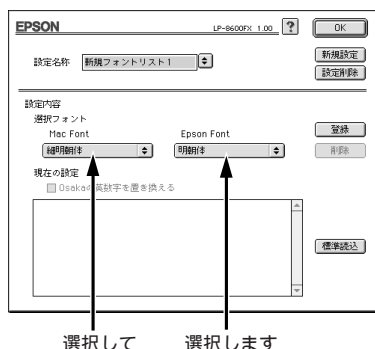
フォント設定の手順

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷するための置き換えフォントの設定を行います。ここで設定した内容は、[プリント] ダイアログや [詳細設定] ダイアログで [プリンタフォント使用] のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。プリンタフォントを使用して印刷すると、印刷速度が速くなります。

[用紙設定] ダイアログで フォント設定 ボタンをクリックします。

新規設定 ボタンをクリックします。

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し 4 へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除するには、設定名称のポップアップメニューから選択し、 設定削除 ボタンをクリックします。

3 **[設定名称] ボックスに、登録名を入力します。**

［Mac Font］リストから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。

標準読込 ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。

ポイント

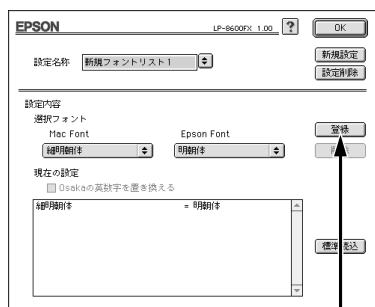
［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。

①［Mac Font］リストから Osaka フォントを選択します。

②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、［Osakaの英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。

③［Epson Font］リストから置き換える英数フォントを選択します。

登録 ボタンをクリックします。

- ［現在の設定］に登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、削除 ボタンをクリックします。

ほかに置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。

OK ボタンをクリックします。

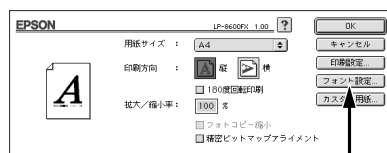
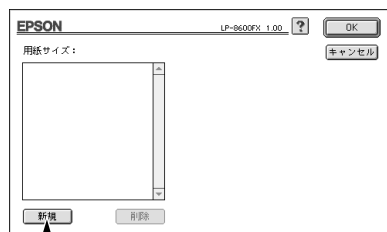
以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。

ポイント

- **保存した置き換え方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。**
- **登録したフォント置き換えの設定は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、［詳細設定］ダイアログからも選択できます。**

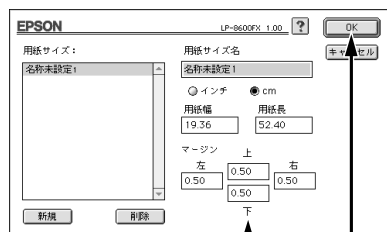
カスタム用紙の設定/変更

不定形の用紙サイズを設定/登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

［用紙設定］ダイアログを開き、カスタム用紙 ボタンをクリックします。

新規 ボタンをクリックします。

- 登録できる用紙サイズの数は、64までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズ名をクリックしてから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。

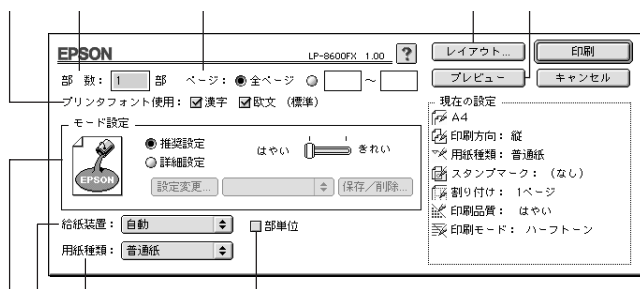
用紙サイズ名、単位（インチまたはcm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、OK ボタンをクリックします。

設定できるサイズの範囲は以下の通りです。

用紙幅　　　　　：9.01～29.70cm（3.55～11.69インチ）
用紙長［はやい］：14.80～90.00cm（5.83～35.43インチ）
　　　［きれい］：14.80～43.18cm（5.83～17.00インチ）

- ［用紙長］の最大値は、［プリント］（または［詳細設定］）ダイアログの［モード設定］（または［印刷品質］）の設定によって異なります。
- 登録したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］リストから選択します。

印刷の設定

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑦の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。
☞本書「フォント設定の手順」95 ページ

漢字	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

④ モード設定

印刷条件として［推奨設定］または［詳細設定］のどちらかを選択できます。

Mac

推奨設定　：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

詳細設定　：［詳細設定］をクリックすると、プリセットメニュー[*1]のリストボックスと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。
設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。
保存 / 削除 ボタンをクリックすると、設定した内容の保存または削除ができます。

印刷解像度を［はやい］または［きれい］どちらかに選択できます。［はやい］は文字文書の高速印刷に適しています。［きれい］は、写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。
［きれい］を選択すると、きめ細かく印刷できますが、印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合や、印刷できない場合は［はやい］に設定してください。

ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下の作業を行ってください。
- **印刷データの容量や色数を減らす。**
- **［印刷品質］を［はやい］に設定する。**
- **メモリを増設する。**
- **アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。**

⑤給紙装置

給紙装置を選択します。

自動　：印刷実行時に、[用紙サイズ]で選択したサイズおよび［用紙種類］で選択した用紙種類の用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ　：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ]を選択します。

ポイント
- **用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。**
- **用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。**

用紙カセット 1　：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット 1］を選択します。

用紙カセット 2～3　：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプション用紙カセットは、装着順に上から 2、3 の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。

LP-8600FX(N)　：3 番まで増設可能
LP-8400FX(N)/8300F　：2 番まで増設可能

- **指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**
- **［自動］を選択して拡大/縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**

⑥用紙種類

［給紙装置］を［自動］に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。[用紙種類]を選択することにより、[用紙サイズ]と[用紙種類］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ操作パネルで各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21 ページ

- **［給紙装置］を［自動］以外に設定した場合は、[用紙種類］は設定できません。**
- **操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、[指定しない]を選択してください。**

⑦部単位

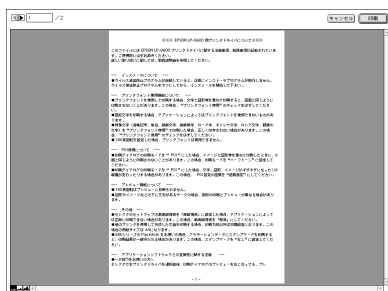
プリンタのメモリを128MB以上に増設した場合に設定できます。クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

⑧ レイアウト ボタン

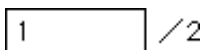
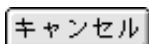
ボタンをクリックすると［レイアウト設定］ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」107 ページ

⑨ プレビュー ボタン

ボタンをクリックすると［プレビュー］ダイアログが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180度回転印刷］を設定しても、ページを180度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。
- ［詳細設定］ダイアログの［印刷モード］で［自動］を選択している場合は、［標準（プリンタ）］/［CRT優先］のどちらで印刷されているかが表示されます。

◀▶ ：表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。

1 ／2 ：表示させるページ番号を直接入力します。

キャンセル ：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。

印刷 ：印刷を開始するボタンです。

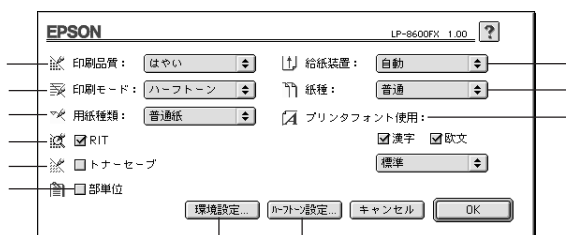
：印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。

：印刷結果と同等のサイズで表示します。

：印刷データを拡大して表示します。

Mac

[詳細設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして 設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

①印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定します（［プリント］ダイアログでの設定に連動しています）。

ポイント

カスタム用紙で印刷する場合、用紙長が43.18cmより長いときは［きれい］は選択できません。

［きれい］を選択すると、きめ細かく印刷できますが、印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合や、印刷できない場合は、［はやい］に設定してください。

ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下の作業を行ってください。

- **印刷データの容量や色数を減らす。**
- **［印刷品質］を［はやい］に設定する。**
- **メモリを増設する。**
- **アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。**

②印刷モード

グラフィックスイメージを処理する以下の印刷モードが選択できます。

白黒　　：モノクロ印刷を行います。グレイスケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン　　：グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷します。イメージと図形などを重ねて印刷して、モニタ表示と同じように印刷されない場合、［ハーフトーン］を選択してください。

*1 PGI：
階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。

PGI　：PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

Mac

ポイント

- **プリンタのメモリが少ないと、PGIで印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、［印刷品質］を［はやい］に設定してください。**
- **アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［ハーフトーン］や［PGI］を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［白黒］に設定して印刷してください。**

③用紙種類

［給紙装置］を［自動］に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。［用紙種類］を選択することにより、［用紙サイズ］と［用紙種類］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ操作パネルで各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21ページ

［給紙装置］を［自動］以外に設定した場合は、［用紙種類］は設定できません。

ポイント

操作パネルで用紙のタイプを設定していない場合は、［指定しない］を選択してください。

④RIT

*2 RIT：
斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*2](Resolution Improvement Technology)機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

ポイント

RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。

⑤トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

⑥部単位

プリンタのメモリを128MB以上に増設した場合に設定できます。クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、［プリント］ダイアログの［部数］で指定します。

⑦給紙装置

給紙装置を選択します。

自動　：印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズおよび［給紙タイプ］で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ　：用紙トレイから給紙する場合は、［用紙トレイ］を選択します。

- **用紙トレイは、セットされた用紙サイズを自動的に検知できないため、トレイ紙サイズスイッチにない用紙サイズは必ず操作パネルで用紙サイズを設定してください。**
- **用紙トレイを選択する場合は、プリンタ本体のトレイ紙サイズスイッチの設定がセットした用紙サイズと一致していることを必ず確認してください。**

用紙カセット1　：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット1］を選択します。

用紙カセット2～3　：オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。オプション用紙カセットは、上から2、3の番号が割り当てられています。増設できる用紙カセットは、機種によって異なります。

LP-8600FX(N)　：3番まで増設可能
LP-8400FX(N)/8300F　：2番まで増設可能

- **指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**
- **［自動］を選択して拡大/縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**

Mac

⑧紙種

用紙の種類を設定します。通常は［普通紙］を選択してください。

普通紙　：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。

厚紙　：厚紙やOHPシートなど、紙厚が90～135g/m^{2}の用紙を使用する場合に選択します。

ポイント

使用する用紙に合わせて［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑨プリンタフォント使用

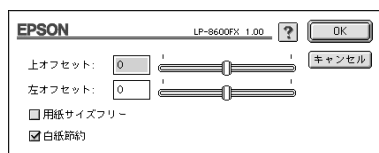
［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。
☞本書「フォント設定の手順」95ページ

漢字　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文　：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

登録してある置き換えフォントの設定は、リストから選択できます。

Mac

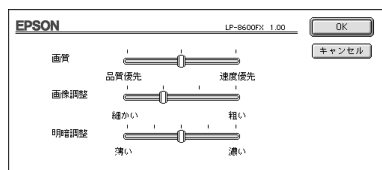
⑩ 環境設定 ボタン

上オフセット　　　：用紙の垂直方向印刷開始位置を 0.5mm 単位で -10mm ～ 10mm の間で設定します。

左オフセット　　　：用紙の水平方向印刷開始位置を 0.5mm 単位で -10mm ～ 10mm の間で設定します。

用紙サイズフリー　：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、プリンタで用紙サイズのチェックを行いません。

白紙節約　　　　　：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しません。

⑪ ハーフトーン設定 / PGI設定 ボタン

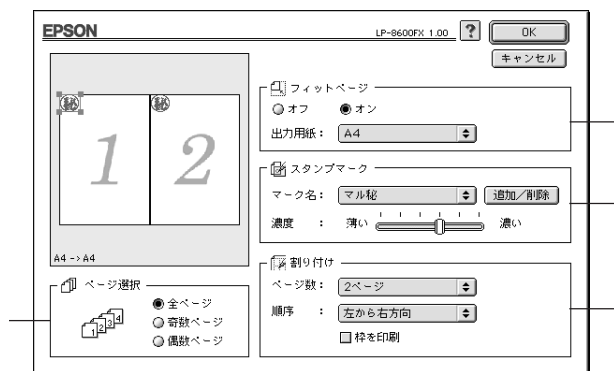
ボタン名は［印刷モード］の設定によって変わります。［印刷モード］を［ハーフトーン］または［PGI］に設定した場合、ハーフトーン設定 または PGI設定 ボタンをクリックしてさらに細かい印刷条件を設定できます。

画質　　　　　　　：［印刷モード］で［PGI］を選択したときのみ、［画質］を 3 段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。

画像調整　　　　　：［印刷モード］で［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の粗密を、［細かい］から［粗い］の間で 4 段階に調整できます。

明暗調整　　　　　：［印刷モード］で［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の明暗を、［薄い］から［濃い］の間で 5 段階に調整できます。

[レイアウト]ダイアログ

[プリント] ダイアログで レイアウト ボタンをクリックすると、[レイアウト] ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定を行います。

Mac

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大/縮小する機能です。フィットページ印刷をするには［オン］を選択し、［出力用紙］ポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します。印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

ポイント
- **拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。**
- **［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。**

③スタンプマーク

印刷データになどのイメージを重ね合わせて印刷します。

プレビュー部　：ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

マーク名　：印刷するスタンプマークをリストから選択します。

濃度　：スタンプマークの印刷濃度を、[濃度] バーで調整します。バーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

追加 / 削除 ボタン　：オリジナルのスタンプマークを追加したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックします。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、PICT[*1]形式で保存しておきます。登録の手順については、以下のページを参照してください。

☞本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」109 ページ

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

④割り付け

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

ページ数　：1 ページに割り付けるページ数を選択します。

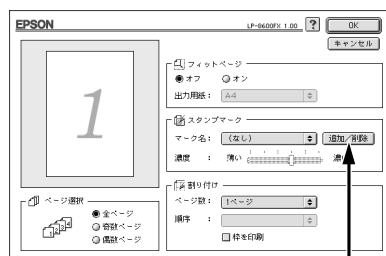
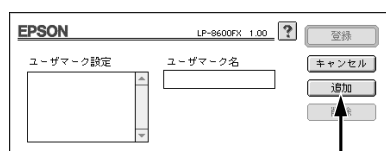
順序　：割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷　：クリックしてチェックマークを付けると割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

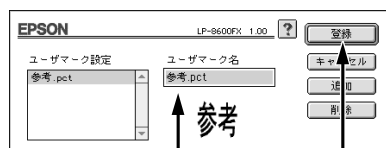
ポイント　**割り付け印刷を行わない場合は、[ページ数] リストから [1ページ] を選択します。**

オリジナルスタンプマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。

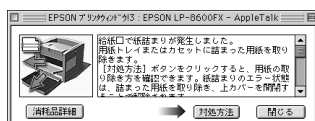
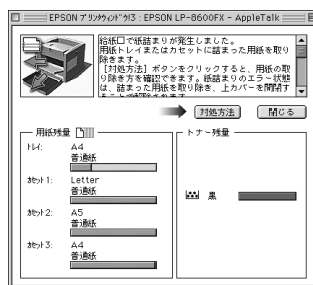
2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、追加/削除 ボタンをクリックします。

3 追加 ボタンをクリックします。

4 保存したPICTファイルを選択し、開く ボタンをクリックします。
作成 ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、登録 ボタンをクリックします。
これでオリジナルスタンプマークがポップアップメニューに追加されました。

EPSONプリンタウィンドウ!3

Mac

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対応方法を知ることができます。
プリンタをモニタするには、[プリンタセットアップ] ダイアログで [プリンタをモニタする] をチェックしてください。
☞セットアップガイド「[プリンタセットアップ] ダイアログの設定」 43ページ

ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。

[プリンタ詳細] ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

[アップル] メニューから [EPSON プリンタウィンドウ!3] を選択して、[プリンタ詳細] ウィンドウを開くこともできます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。
☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」112 ページ

ポイント

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

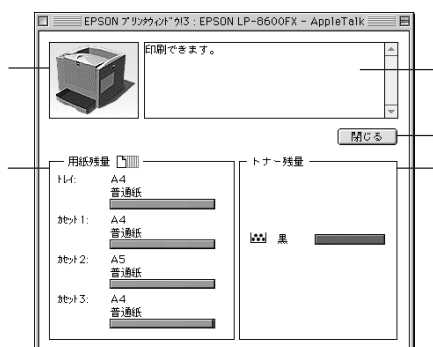
Mac

［方法 1］

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ!3］をクリックします。
EPSON プリンタウィンドウ!3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

［方法 2］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

[プリンタ詳細]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」113 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

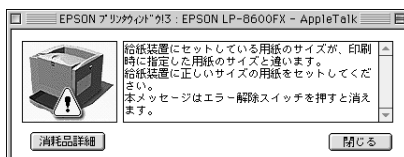
④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

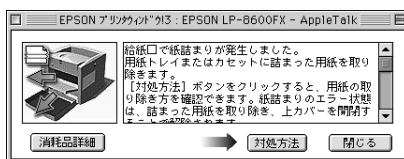
対処が必要な場合は

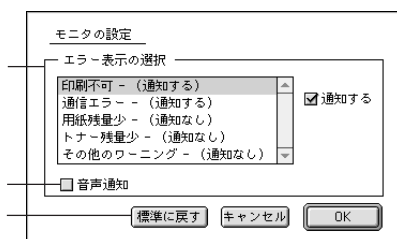
セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。

ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」112 ページ

- 閉じる ボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。

Mac

［環境設定］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［環境設定］ウィンドウが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、通知する ボタンをクリックします。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

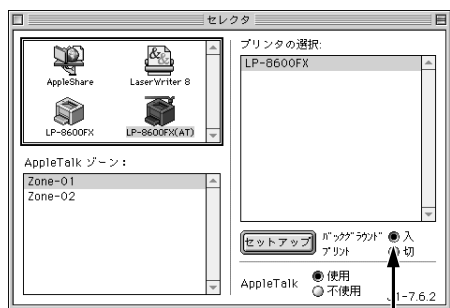
［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

EPSONプリントモニタ!3

EPSONプリントモニタ!3は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

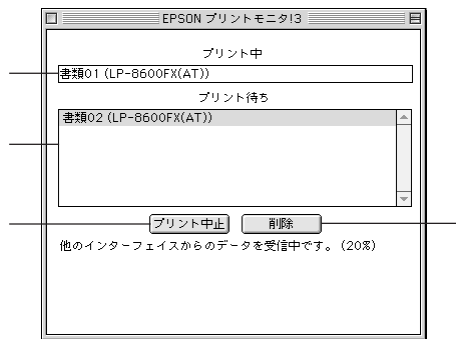
バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。Macintoshツールバー一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もMacintoshで他の作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

Mac

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［オン］にした場合、印刷実行時にEPSON プリントモニタ!3 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!3 は、印刷中にツールバー一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止するときにクリックします。

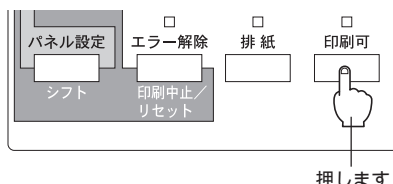
ポイント

印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!3の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

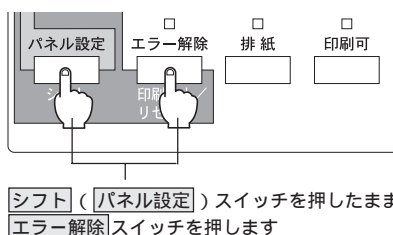
④ 削除 ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、削除 ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

1 **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

Macintosh が印刷処理を続行しているときは、コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（ .）キーを押して、印刷を中止します。

Mac

2 **［シフト］スイッチと［エラー解除］スイッチを同時に押します（リセット）。**
受信データが消去されます。

ポイント

［シフト］スイッチと［エラー解除］スイッチを5秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。
☞本書「リセットオール」160 ページ

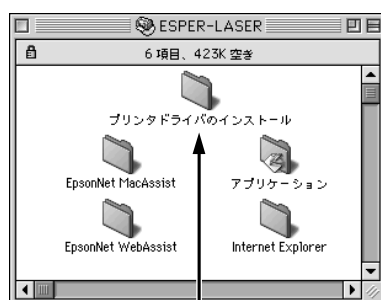
プリンタドライバの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Mac

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintoshを再起動します。**

2 **EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMを Macintoshにセットします。**

3 **［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開き、さらにお使いのプリンタのフォルダをダブルクリックして開きます。**

ダブルクリックします

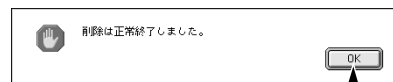
4 **お使いのプリンタのインストーラアイコンをダブルクリックします。**

ダブルクリックします

5 **インストーラの画面左上にあるメニューから［削除］を選択します。**

クリックして選択します

6 **削除 ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの削除が始まります。

クリックします

7 **OK** ボタンをクリックします。

8 **終了** ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。

Mac

第4章

DOSからの印刷

ここでは、DOS からの印刷について説明しています。

DOSアプリケーションソフトでのプリンタ設定

本プリンタをDOSアプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。
DOSアプリケーションソフトの場合、アプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。

ポイント

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本プリンタの機能を100%利用できない場合があります。

設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトによっても異なりますが、多くの場合［プリンタ名の選択・設定］、［プリンタ設定］などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。
詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

ポイント

- **画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pモードにしてください。**
- **１行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。**
- **半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。**
  ☞本書「設定項目の説明」136ページ
- **アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。**

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

DOS アプリケーションソフトを起動します。

DOSアプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。
使用しているDOSアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して実行してください。

お使いのプリンタの機種名を選択します。
お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位でプリンタ機種名を指定します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合

1	LP-8300/8400/8600
2	LP-8200
3	LP-9000
4	LP-1600
5	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
6	LP-8500
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択できない場合

1	ESC/P-24-J84 *1,*2
2	VP-1000/4800/3000 *1,*2
3	ESC/P-24-J83 *1,*2
4	VP-135K/130K *1,*2
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201H などのプリンタを選択します。*1,*3

*1 ： 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。
半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。
*2 ： 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/P にしてください。
*3 ： PC-PR201H を選択した場合、 プリンタモードはESC/PS（購入時設定）でなければ印刷できません。

ポイント

プリンタモードは、基本的にESC/PS（購入時設定のまま）で使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合に限り変更してください。

DOS

DOSアプリケーションソフトでの印刷実行の流れ

レイアウトを指定して、文書を作成します。
文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

印刷の設定をします。
印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションソフトで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!でプリンタの設定を変更します。
☞本書「EPSON Remote!(DOS/NetWare)」125ページ

	設定方法	
	アプリケーションソフト*1	EPSON Remote!
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向	−
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度	トレイ用紙サイズ

*1 ： ソフトウェアで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!で設定します。

印刷を実行します。
アプリケーションソフトから印刷を実行します。

EPSON Remote!（DOS/NetWare）

EPSON Remote!は、プリンタの設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。DOS版、NetWare版の2種類を用意しています。ここではその概略を説明し、インストール方法や設定方法など詳しくは、EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア　CD-ROMに収められているそれぞれのテキストファイルを参照してください。

DOS

テキストファイルの確認方法

EPSON Remote!の取り扱いについてはCD-ROM内の「EPMANUAL.TXT」ファイルに記載されています。CD-ROMをコンピュータにセットしアプリケーションソフトなどでご確認いただくか、以下のコマンド（半角で入力する）を実行してご確認ください。

D:\>TYPE□EPMANUAL.TXT□|MORE
↑　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□はスペースを意味します。）
CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名です。

キーを押すと、次ページに進みます。

ポイント

フロッピーディスクの場合は最終のディスク番号のディスクをコンピュータにセットしてください。

DOS版またはNetWare版EPSON Remote!

DOS環境またはNetWare環境で利用できるEPSON Remote!は、それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。

EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS版、NetWare版のどちらかを選んで使用します。

DOS版（98用、DOS/V用）	DOSアプリケーションソフトを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote!をご利用ください。
NetWare版	NetWare環境下で 印刷する場合に使用します。NetWare版EPSON Remote!には、EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ用のMS-DOS版と、DOS/Vコンピュータ用のDOS/V版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

ポイント

NetWare版EPSON Remote!は、スーパーバイザ（ネットワーク管理者）による設定とクライアントマシン設定が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。

DOS

EPSON Remote!は、設定する内容や目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

DOS版（98用、DOS/V用）	スタートアップユーティティ
	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ
NetWare版	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ

- **スタートアップユーティリティ**
  プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。すべての設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。

- **設定ユーティリティ**
  使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。

スタートアップユーティリティと設定ユーティリティで同じ項目を設定した場合、後から設定した内容が有効になります。

- **簡易設定ユーティリティ**
  設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行することができます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット/電源オフ/プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

第5章

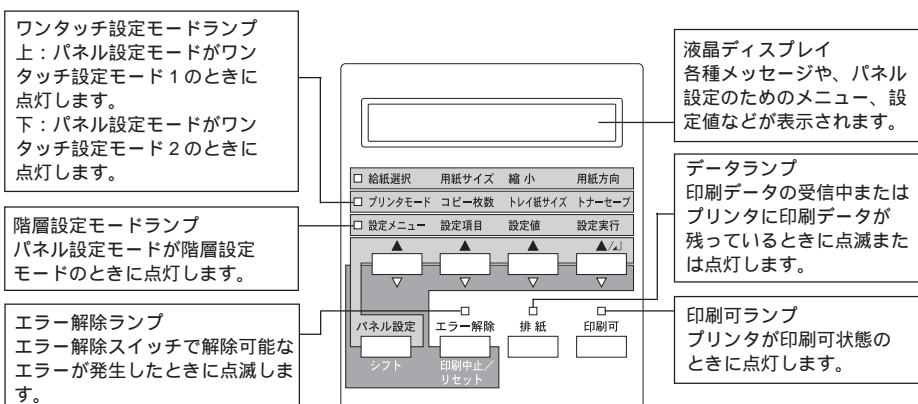
操作パネルでの設定

ここでは、操作パネルの設定について説明しています。

操作パネルについて

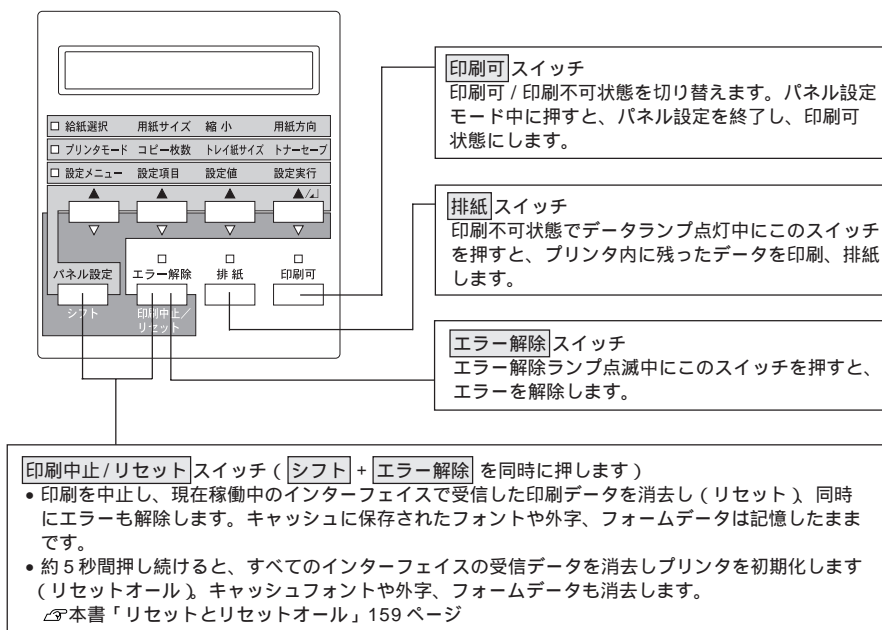
操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

ランプ/ディスプレイ

操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。

スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。

印刷中止 / リセット スイッチ（シフト ＋ エラー解除 を同時に押します）

- 印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去し（リセット）、同時にエラーも解除します。キャッシュに保存されたフォントや外字、フォームデータは記憶したままです。
- 約 5 秒間押し続けると、すべてのインターフェイスの受信データを消去しプリンタを初期化します（リセットオール）。キャッシュフォントや外字、フォームデータも消去します。
☞本書「リセットとリセットオール」159 ページ

操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

操作パネルでの設定について

通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバで実行できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません（ただしDOSは除く）。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目は、プリンタドライバの設定が優先されます。
☞本書「設定項目の説明」136 ページ
設定項目の内容をご覧いただき必要な場合のみ操作パネルで設定してください。
ただし以下の項目については通常の印刷であっても設定が必要です。

- 用紙トレイに［用紙トレイ紙サイズスイッチ］の設定値にないサイズ（A3、A4、B4、B5、Letter、ハガキ、Legal以外のサイズ）の用紙をセットした場合
  →セットした用紙のサイズを設定してください。

ポイント
不定形紙・長尺紙の場合は設定する必要はありません。

- 用紙タイプの選択機能を使用する場合
  →各給紙装置に用紙タイプを設定してください。
  ☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」21 ページ

下記のメニューはプリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
現在のプリンタの状態を 表示する項目	キョウツウメニュー	カセット 1 ヨウシサイズ カセット 2 ヨウシサイズ * カセット 3 ヨウシサイズ *
	キョウツウメニュー 2	トナーザンリョウ ノベインサツマイスウ

＊の付いている設定項目は、オプション装着時のみ表示されます（カセット3はLP-8600FX(N)のみ）。

ポイント
操作パネルでの設定において、一部の項目および設定値は、それに関係するオプションが装着されているときのみ表示されます。

パネル設定モードの種類

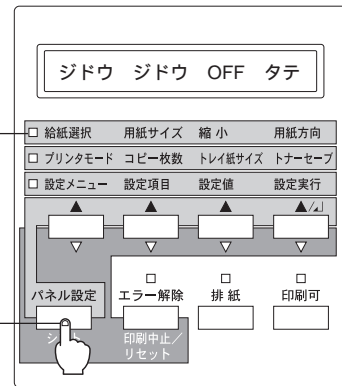
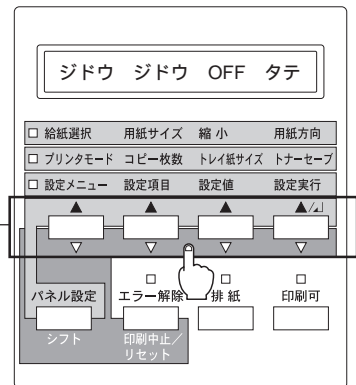
操作パネルでの設定変更には、次の 3 つのモードがあります。
ワンタッチ設定モード1/2は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。
階層設定モードは、すべての項目の設定変更を行うためのモードです。

モード	設定項目
ワンタッチ設定モード 1	①給紙選択②用紙サイズ③縮小④用紙方向
ワンタッチ設定モード 2	①プリンタモード②コピー枚数③トレイ紙サイズ④トナーセーブ
階層設定モード	すべての設定項目 ☞本書「設定項目の説明」136 ページ

ワンタッチ設定モード1での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	• 印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。 • ［ジドウ］に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から、給紙します。
用紙サイズ	• アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。 • ［ジドウ］に設定すると、［給紙選択］で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたことになります。 • ［給紙選択］と［用紙サイズ］の両方を［ジドウ］に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット１にセットされている用紙が給紙されます。
縮小	• 印刷データを約 80% にして印刷します。
用紙方向	• ［用紙方向］は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。

ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **パネル設定 スイッチを１回押します。**

2 **設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。**
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（給紙選択）	ジドウ→トレイ→カセット１→カセット２*→カセット３*
設定項目 スイッチ（用紙サイズ）	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→C5
設定値 スイッチ（縮小）	OFF→80%
設定実行 スイッチ（用紙方向）	タテ→ヨコ

＊の付いている設定項目は、オプション装着時のみ表示されます（カセット3はLP-8600FX(N)のみ）。

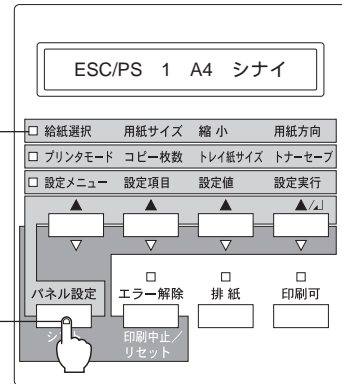
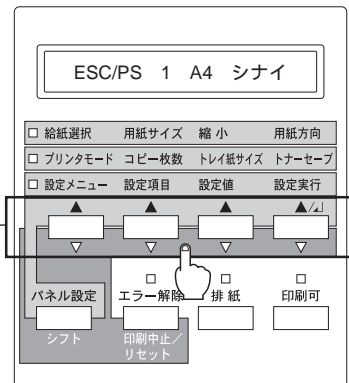
シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 **設定を変更したら、印刷可 スイッチを押します。**
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ワンタッチ設定モード2での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード	• ［プリンタモードメニュー］の［ワンタッチ］で設定したインターフェイスのプリンタモードを選択します。各モードの詳細は以下のページを参照してください。 ☞本書「プリンタモードメニュー」143 ページ • ［プリンタモード］の初期設定は［パラレル］の［ESC/PS］です。コントロールコードがESC/PかPC-PR201Hかを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。 • 変更する必要があるのは次のような場合です。 ESC/P に変更する ： 国内版DOSアプリケーションソフトを使用していて、画面とは違う文字が印刷される場合または、海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合 ESC/Page に変更する ： 自作プログラムを使用する場合等
コピー枚数	• 印刷する枚数（1 ～ 999）を設定します。
トレイ紙サイズ	• 用紙トレイにセットした用紙サイズを［トレイ紙サイズスイッチ］で選択できない場合に設定します。 • 操作パネルで設定する場合、［トレイ紙サイズスイッチ］を［パネルで設定］に合わせてください。［パネルで設定］以外に合わせていると、操作パネルでの設定が有効になりません。 • ［トレイ紙サイズスイッチ］の設定を［パネルで設定］以外に合わせていると、操作パネルの表示と実際の設定が異なって表示される場合があります。
トナーセーブ	• 黒ベタ部分の濃度を落とすことで、トナー消費量を節約します。

ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **パネル設定 スイッチを２回押します。**

2 **設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。**
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
設定メニュー スイッチ（プリンタモード）	ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL*→AUTO
設定項目 スイッチ（コピー枚数）	1～999
設定値 スイッチ（トレイ紙サイズ）	A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→C5
設定実行 スイッチ（トナーセーブ）	シナイ→スル

＊の付いている設定値は、オプションを装着している場合のみ表示されます。

ポイント

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3 **設定の変更が終了したら、印刷可 スイッチを押します。**
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

階層設定モードでの設定方法

ディスプレイに［インサツカノウ］と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **本書136ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。**

2 **パネル設定 スイッチを3回押します。**

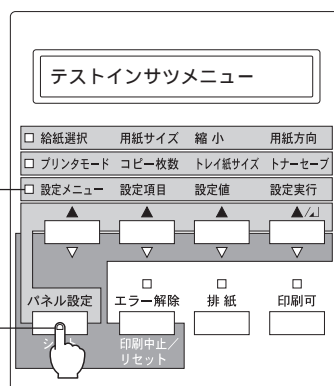
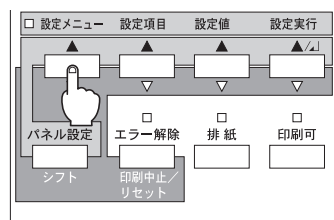
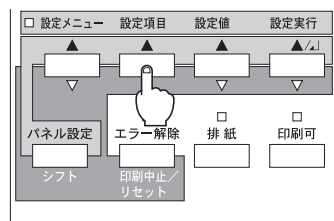
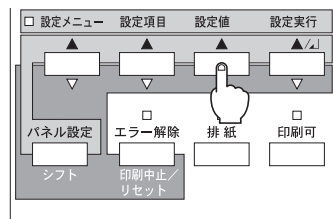
このときディスプレイには［テストインサツメニュー］と表示されます。

テストインサツメニュー

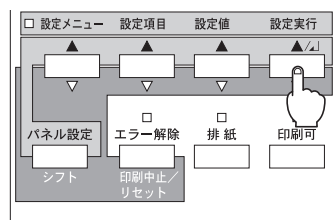
□ 給紙選択　用紙サイズ　縮 小　用紙方向
□ プリンタモード　コピー枚数　トレイ紙サイズ　トナーセーブ
□ 設定メニュー　設定項目　設定値　設定実行

パネル設定　エラー解除　排 紙　印刷可
シフト　印刷中止／リセット

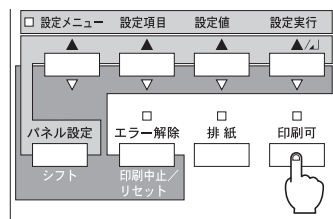
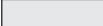
階層設定モードランプが点灯します

3回押します

3 ***1*** **で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

4 ***1*** **で確認した設定項目の名前が表示されるまで、設定項目 スイッチを押します。**

5 **変更したい設定値が表示されるまで、設定値スイッチを押します。**

> **ポイント** **シフトスイッチを押しながら設定値スイッチを押すと、設定値の切り替わる順番が逆になります。**

6 **設定実行スイッチを押します。**

変更した設定値が有効になります。

> **ポイント** **設定実行スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。**

7 **印刷可スイッチを押します。**

ディスプレイの表示が［インサツカノウ］になり、階層設定モードが終了します。

設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と各項目の内容について説明します。

ポイント

- **操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。**
- **機種によって利用できないオプション用の設定は表示されません。**

□で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
テストインサツメニュー	ステータスシート	139
	オプションI/F情報*1	139
	ROM モジュール A 情報*2	139
	ROM モジュール B 情報*2	139
キョウツウメニュー	I/F切り替え	139
	I/Fタイムアウト	140
	節電	140
	トレイ用紙サイズ*3	140
	カセット1用紙サイズ	140
	カセット2用紙サイズ*4	140
	カセット3用紙サイズ*4	140
	トレイタイプ	141
	カセット1タイプ	141
	カセット2タイプ*4	141
	カセット3タイプ*4	141
	表示言語	141
	設定初期化	141
キョウツウメニュー2	トナー残量	142
	トナー残量リセット	142
	のべ印刷枚数	142
	トナー交換エラー表示	142
プリンタモードメニュー	パラレル	143
	シリアル*5	143
	オプション*1	143
	ワンタッチ	143
インサツメニュー	給紙	144
	用紙サイズ	144
	用紙方向	144
	コピー枚数	144
	縮小	144
	解像度	144
	イメージ補正	145
	白紙節約	145
	自動排紙	145

設定メニュー	設定項目	参照ページ
デバイスメニュー	RIT	145
	トナーセーブ	145
	上オフセット	145
	左オフセット	146
	紙種	147
	用紙サイズフリー	147
	自動エラー解除	147
	ページエラー回避	147
パラレル I/F セッテイメニュー	ACK 幅	148
	双方向	148
	受信バッファ	148
シリアル I/F セッテイメニュー*5	データ長	148
	ボーレート	148
	パリティビット	149
	ストップビット	149
	XON/XOFF*6	149
	ENQ/ACK*6	149
	DTR	149
	DSR	149
	受信バッファ	149
オプション I/F セッテイメニュー*1	I/F ボード設定*7	150
	IP アドレス設定*8	150
	IP Byte 1*8	150
	IP Byte 2*8	150
	IP Byte 3*8	150
	IP Byte 4*8	150
	SM Byte 1*8	150
	SM Byte 2*8	150
	SM Byte 3*8	150
	SM Byte 4*8	150
	GW Byte 1*8	150
	GW Byte 2*8	150
	GW Byte 3*8	150
	GW Byte 4*8	150
	NetWare*8	151
	AppleTalk*8	151
	NetBEUI*8	151
	I/F ボード初期化*8	151
	受信バッファ	151
ESC/PS カンキョウメニュー	連続紙	152
	文字コード	152
	給紙位置	152
	各国文字	152
	ゼロ	152
	用紙位置	153
	右マージン	153
	漢字書体	153

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ESC/Page カンキョウメニュー	復帰改行	154
	改ページ	154
	CR	154
	LF	154
	FF	154
	エラーコード	154
	フォントタイプ	154
	フォームオーバーレイ *9	155
	フォーム番号 *9	155

*1 ： LP-8600FXN/8400FXNでは標準で表示されます。LP-8600FX/8400FX/8300Fの場合は、オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

*2 ： オプションの ROM モジュールが装着されていて、ROM モジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォント ROM モジュール、EP-GL モジュール装着時は表示されません（LP-8300F は、ROM モジュール A のみ有効です）。

*3 ： プリンタ本体の［トレイ紙サイズスイッチ］を［パネルで設定］に合わせた場合、本項目で設定した用紙サイズが有効になります。

*4 ： オプションのカセットユニット装着時のみ表示されます。
カセット 3 の設定は、LP-8600FX(N)のみ有効です。

*5 ： LP-8300F にはシリアルインターフェイスはありませんので表示されません。

*6 ： XON/XOFF と ENQ/ACK は連動しており、一方が ON の時は、他方は表示されません。
また、EP-GL モジュール装着時は、ENQ/ACK=OFF になります。

*7 ： 装着しているインターフェイスカードによっては表示され、印刷可能な状態になると設定が変更できなくなります。

*8 ： ［I/Fボード設定］を［スル］に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。
LP-8600FXN/8400FXNでは標準で表示されます。LP-8600FX/8400FX/8300Fの場合は、オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

*9 ： オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	オプション I/F ジョウホウ	• LP-8600FX/8400FX/8300F では、オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。 • LP-8600FXN/8400FXN では常に表示されます。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ ROM モジュール B ジョウホウ	ROMモジュール用ソケットA/Bに装着されているオプションの ROM モジュールに ROM モジュール情報が存在するときだけ表示され、ROM モジュール情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

キョウツウメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F キリカエ	自動切り替えモードか、単一のインターフェイスだけがデータを受信してプリンタを動作させるモードかのどちらかを指定します。単一のインターフェイスだけがプリンタを動作させるモードを選択した場合、他のインターフェイスはデータ受信を一切行いません。
設定値	ジドウ（初期設定値）	インターフェイス自動切り替えモードになります。
	パラレル	パラレルインターフェイスからのデータのみを受信します。
	シリアル	シリアルインターフェイスからのデータのみを受信します（LP-8300F を除く）。
	オプション	• LP-8600FX/8400FX/8300F にオプションインターフェイスを装着した場合、そのデータのみを受信します。 • LP-8600FXN/8400FXN では標準搭載のネットワークインターフェイスからのデータのみを受信します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 〜 600 ビョウ	（10 秒単位で設定可能 / 初期設定 60 ビョウ）

設定項目	セツデン	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（推奨設定 5 分）が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。
設定値	5 フン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 5 分に設定します。
	15 フン	節電状態になるまでの時間を 15 分に設定します。
	30 プン	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。
	60 プン	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	OFF	節電機能を使用しません。

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。操作パネルで設定する場合には、プリンタ本体の［トレイ紙サイズスイッチ］を［パネルで設定］に合わせ、本項目で指定します。
設定値	A4（初期設定）、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT（Letter）、HLT（Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、MON（Monarch）、C10（Commercial 10）、DL、C5	

設定項目	カセット 1 ヨウシサイズ	カセット 1（標準の用紙カセット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 2 ヨウシサイズ	カセット 2（2 段めのオプション増設カセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット 3 ヨウシサイズ	カセット 3（3 段めのオプション増設カセットユニット）にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します（LP-8600FX(N)のみ）。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トレイタイプ	給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙、印刷済、レターヘッド、ボンド紙、再生紙、色付き、OHP フィルム、ラベル	

設定項目	カセット 1 タイプ	給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
設定値	普通紙、印刷済、ボンド紙、再生紙、色付き	

設定項目	カセット 2 タイプ カセット 3 タイプ	オプション増設カセットユニット装着時のみ表示されます。給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、各給紙装置ごと用紙のタイプを設定します。プリンタドライバで指定することにより同サイズの異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。 （カセット 3 の設定は、LP-8600FX(N)のみ有効）
設定値	普通紙、印刷済、ボンド紙、再生紙、色付き	

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定は除く[*1]）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

*1 ：インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、エラー解除 スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにします。

キョウツウメニュー2

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トナーザンリョウ	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。 表示 E＊＊＊＊F ： 100% ≧ トナー残量 ＞ 75% E＊＊＊ F ： 75% ≧ トナー残量 ＞ 50% E＊＊ F ： 50% ≧ トナー残量 ＞ 25% E＊ F ： 25% ≧ トナー残量 ＞ 0% E F ： トナー残量 ＝ 0%
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	トナーザンリョウリセット	トナー残量算出用のカウンタをリセットします。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

ポイント

トナーザンリョウリセットは、ETカートリッジを交換したときにのみ実行してください。それ以外の場合に実行すると［トナーザンリョウ］の表示が誤ったものとなります。

設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	トナーコウカン エラーヒョウジ	ET カートリッジのトナーがなくなったときに、メッセージを表示するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナー交換エラーを表示しません。
	スル	トナー交換エラーを表示します。

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル シリアル オプション	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。LP-8300F では［シリアル］はありません。また、［オプション］はLP-8600FX/8400FX/8300F にオプションのインターフェイスカード装着時と、LP-8600FXN/8400FXN で有効です。
設定値	ESC/PS（初期設定）	ESC/P スーパーモードになります。通常はこの設定で使用してください。 DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）が ESC/P であるか、PC-PR201H であるかを自動判別します。 たいていのDOSアプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-1000）エミュレーションモードになります。 海外版DOSアプリケーションソフトを使用する場合や、国内版DOSアプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Pageモードになります。通常は設定する必要がありません。
	EP-GL	EP-GL モードになります。オプションの EP-GL モジュールが装着されている場合のみ表示され、選択できます。
	ジドウ	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。

設定項目	ワンタッチ	ワンタッチ設定モード 2 の［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスを選択します。
設定値	パラレル（初期設定）	パラレルインターフェイスに設定します。
	シリアル	シリアルインターフェイスに設定します（LP-8300F を除く）。
	オプション	オプションのインターフェイスに設定します。 （LP-8600FX/8400FX/8300Fにオプションのインターフェイスカード装着時と、LP-8600FXN/8400FXN において有効）

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット1	標準の用紙カセット1から給紙します。
	カセット2	オプション増設カセットユニットを装着している場合に表示されます。2段目の用紙カセット2から給紙します。
	カセット3	オプション増設カセットユニットを装着している場合に表示されます。3段目の用紙カセット3から給紙します（LP-8600FX(N)のみ）。

設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT（Letter）、HLT （Half Letter）、LGL（Legal）、GLT（Government Letter）、GLG（Government Legal）、B（Ledger）、EXE（Executive）、F4、MON （Monarch）、C10（Commercial 10）、DL、C5	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。［タテ］のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。［ヨコ］のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ（初期設定）	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。（ポートレート）
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。（ランドスケープ）

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷した後、次のページのデータを印刷します。
設定値	1～999（初期設定：1）	

設定項目	シュクショウ	印刷データを約80%に縮小して印刷します。
設定値	OFF（初期設定）	100%で印刷します。
	80%	80%縮小で印刷します。

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300dpiで印刷します。
	キレイ	600dpiで印刷します。

設定を［キレイ（600dpi）］にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、［ハヤイ（300dpi）］で印刷してください。［キレイ（600dpi）］で印刷するためには、プリンタのメモリ増設が必要です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
設定値	1（初期設定）	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく印刷されないときに設定します。 ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル（初期設定）	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

デバイスメニュー

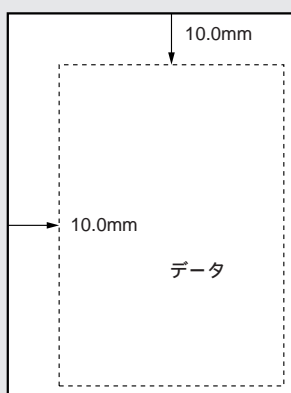
スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT （Resolution Improvement Technology）	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能の ON/OFF を選択します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

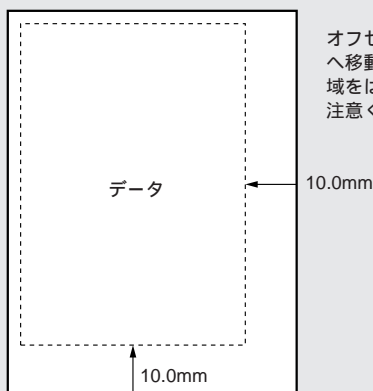
設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナー使用量を約 50%削減します。

設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から 30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 〜 30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から 30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0 ～ 30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

ポイント

例1）ウエオフセット10.0mm、ヒダリオフセット10.0mmに設定の場合

オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

例2）ウエオフセット-10.0mm、ヒダリオフセット-10.0mmに設定の場合

オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	アツガミ	ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊紙や厚紙を使用する場合に選択します。なお、用紙サイズをハガキか封筒サイズにした場合は、自動的にアツガミに切り替ります（表示は変わりません）。

設定項目	ヨウシサイズフリー	［ヨウシコウカン xxxxx yyyy］と［ヨウシサイズエラー］のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	上記2つのエラーを検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	上記2つのエラーを表示しません。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	［ページエラーオーバーラン］、［ヨウシコウカン］、［メモリオーバー　メモリガタリマセン］のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約5秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追い付かないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用ではOFFに設定し、ページエラーが発生するときだけONに設定します。
設定値	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。
	ON	ページエラー回避機能を使用します。

ポイント

ページエラー回避を［ON］にすると、［メモリオーバー メモリガタリマセン］エラーも回避できる場合があります。なお、ONにしても［メモリオーバー メモリガタリマセン］エラーが発生した場合は、メモリを増設してください（受信バッファの設定を［サイショウ］にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります）。

パラレルI/Fセッテイメニュー(パラレルインターフェイスの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
設定値	ミジカイ（初期設定）	約 1 μ S に設定します。
	ヒョウジュン	約 10 μ S に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ECP（初期設定）*	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	ニブル	双方向通信について、ニブルモードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。

* LP-8300F の初期設定はニブル

ポイント

- **［ニブル］［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。**
- **［ECP］で使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。**
- **コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。**

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

ポイント

［パラレル I/F セッテイメニュー］の各項目の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

シリアルI/Fセッテイメニュー(シリアルインターフェイスの設定項目です)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	データチョウ	シリアルインターフェイスの通信データ長を設定します。
設定値	8 ビット（初期設定）	データ長を 8 ビットにします。
	7 ビット	データ長を 7 ビットにします。

設定項目	ボーレート	シリアルインターフェイスのボーレート（通信速度）を設定します。
設定値	9600（初期設定）、19200、38400、57600、76800、115200、300、600、1200、2400、4800bps	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パリティビット	シリアルインターフェイスのパリティチェックを設定します。
設定値	ナシ（初期設定）	パリティビットなし
	EVEN	偶数パリティ
	ODD	奇数パリティ

設定項目	ストップビット	シリアルインターフェイスのストップビットを選択します。
設定値	1 ビット（初期設定）	ストップビットを 1 ビットにします。
	2 ビット	ストップビットを 2 ビットにします。

設定項目	XON/XOFF	シリアルインターフェイスの通信時の XON/XOFF プロトコルを選択します。EP-GL モードで ENQ/ACK 設定が ON の場合は表示されません。
設定値	ON（初期設定）	XON/XOFF プロトコルを有効にします。
	OFF	XON/XOFF プロトコルを無効にします。

設定項目	ENQ/ACK	オプションの EP-GL モジュール装着時のみ表示されます。ENQ/ACK プロトコルを選択します。XON/XOFF 設定が ON の場合は表示されません。
設定値	OFF（初期設定）	ENQ/ACK プロトコルを無効にします。
	ON	ENQ/ACK プロトコルを有効にします。

設定項目	DTR	シリアルインターフェイスの通信時の DTR 信号の動作を選択します。
設定値	ON（初期設定）	DTR プロトコルを有効にします。
	OFF	DTR を常に "HIGH"（READY）に設定します。

設定項目	DSR	シリアルインターフェイスの通信時の DSR 信号の動作を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	DSR 入力を常に "HIGH"（READY）とみなします。
	ON	DSR 入力が "LOW" のときは通信しません。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	サイショウ（初期設定）	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。
	ヒョウジュン	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。

［シリアル I/F セッテイメニュー］の各項目の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

オプションI/Fセッテイメニュー（オプションインターフェイスの設定項目です）

LP-8600FX/8400FX/8300Fにオプションのインターフェイスカードを装着した場合と、LP-8600FXN/8400FXNで設定できる項目です。装着したインターフェイスによって、設定できる項目は異なります（設定する必要のない項目は表示されません）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F ボードセッテイ	装着しているインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP のIP アドレスの設定方法を選択します。［I/F ボードセッテイ］を［スル］に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。取得したIPアドレスは、プリンタのリセットまたは電源のオフの後、起動のたびにネットワークから取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。 取得した値はプリンタのリセットオールまたは電源のオフ / オンを行うと有効になります。

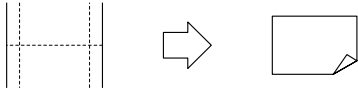
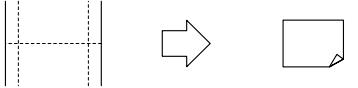
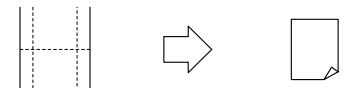
設定項目	IP Byte 1 ～ IP Byte 4	TCP/IP のIP アドレスを、0 ～ 255 の範囲で設定します。設定した値は、電源のオフ / オンまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	（初期設定値：192.168.192.168）

設定項目	SM Byte 1 ～ SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Mask を、0 ～ 255 の範囲で設定します。設定した値は、電源のオフ / オンまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	（初期設定値：255.255.255.0）

設定項目	GW Byte 1 ～ GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0 ～ 255 の範囲で設定します。設定した値は、電源のオフ / オンまたはリセットオールした後から有効となります。
設定値	0 ～ 255	（初期設定値：255.255.255.255）

ポイント

ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスの設定方法については「ネットワーク設定ガイド（LP-8600FXN/8400FXN）」または、オプションのネットワーク I/F カードの取扱説明書をご覧ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	NetWare	インターフェイスカードを装着したプリンタがNetWare 環境で使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。
設定項目	AppleTalk	インターフェイスカードを装着したプリンタがAppleTalkネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。
設定項目	NetBEUI	インターフェイスカードを装着したプリンタがNetBEUI を使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	NetBEUI を使用できます。
	OFF	NetBEUI を使用できません。
設定項目	I/F ボードショキカ	インターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。
設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

［オプション I/F セッテイメニュー］の設定を変更した場合は、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

ESC/PSカンキョウメニュー（ESC/PSまたはESC/Pモードの設定項目です）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15 → B4 ヨコ	381×279.4mm（15×11インチ）の連続紙へのデータを B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 ヨコ	381×279.4mm（15×11インチ）の連続紙へのデータを A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 タテ	254×279.4mm（10×11インチ）の連続紙へのデータを A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	モジコード	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。コード表については、別売のリファレンスマニュアルを参照してください。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシイチ	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	8.5mm にします。
	22mm	22mm にします。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カッコクモジ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	ø	「ø」を選択します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ *	正階書体を選択します。
	マルゴシック *	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ *	教科書体を選択します。
	ギョウショ *	行書体を選択します。

* オプションのフォント ROM モジュールを装着した場合に表示されます。

ESC/Pageカンキョウメニュー（ESC/Pageモードの設定項目です）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR（復帰）動作も行います
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

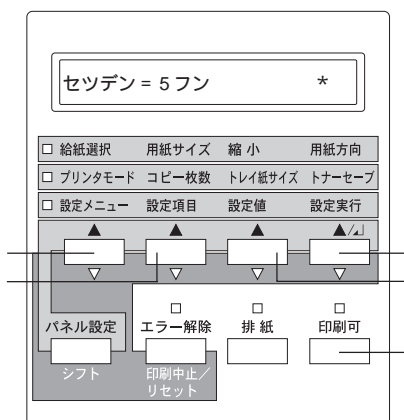
スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ *	フォームオーバーレイを実行する/しないを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行されます。

設定項目	フォームバンゴウ *	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
設定値	1 ～ 512	フォームオーバーレイ ROM モジュールを ROM モジュール用ソケット A/B 両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケットA→ソケットBの順番で設定されます。（初期設定：1）

* フォームデータの作成 / 使用方法や、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!3以上）」、「フォームオーバーレイ ROM モジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。

節電の設定方法

節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。
設定の手順は次の通りです。

- **初期設定値は、節電状態に入るまでの時間が5分に設定されています。**
- **変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。**
- **節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始まで数秒かかります。**

1 **設定メニュー スイッチを数回押して、ディスプレイに［キョウツウメニュー］を表示させます。**

2 **設定項目 スイッチを数回押して、ディスプレイに［セツデン＝5フン］を表示させます。**

3 **設定値 スイッチを押し、設定を変更します。**
設定値 スイッチを押すたびに、値が切り替わります。

→5フン→15フン→30プン→60プン→OFF

4 **設定実行 スイッチを押して設定値を確定します。**
設定を確定（実行）すると、＊（アスタリスクマーク）が表示されます。

5 **印刷可 スイッチを押します。**
印刷可 ランプが点灯し、印刷可状態になります。

ステータスシートの印刷

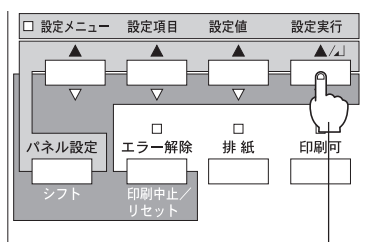
ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報が得られます。ステータスシートはプリンタドライバからも印刷できます。

Windows　本書「[環境設定]ダイアログ」45 ページ
Macintosh　セットアップガイド「[プリンタセットアップ]ダイアログの設定」43 ページ

ポイント

ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。
- **プリンタの動作に異常がないかを確認する場合。**
- **プリンタの現在の設定状態を確認したい場合。**
- **プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます）。**

プリンタに用紙をセットして、電源をオン(｜)にし、印刷可状態にします。
印刷可ランプが点灯します。

2 **設定実行 スイッチを押します。**
ディスプレイに［ステータスシート］と表示されます。

もう一度 設定実行 スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。
- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を開始するまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。

ポイント

ステータスシートがうまく印刷されないときは、本書「困ったときは」を参照してください。

本書「困ったときは」201 ページ

16進ダンプ印刷

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

ポイント

- **この機能は、ネットワーク接続時には使用できません。**
- **EPSONプリンタウィンドウ!3を使用している場合は、［プリンタをモニタする］のチェックを外してください。**
  ☞本書「［ユーティリティ］ダイアログ」52ページ

プリンタに用紙をセットして、電源がオフ(○)であることを確めます。

排紙スイッチを押しながら、電源をオン(｜)にします。

ディスプレイに［ヘキサダンプ］と表示されるまで排紙スイッチを押し続けます。

スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

コンピュータからプリンタへデータを送ります。

プリンタは送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。

ポイント

印刷中は電源をオフ(○)にしないでください。用紙詰まりの原因になります。

印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。

データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は印刷可スイッチを押して印刷不可状態にした後、排紙スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

16進ダンプの印刷が終了したら、16進ダンプモードを解除します。

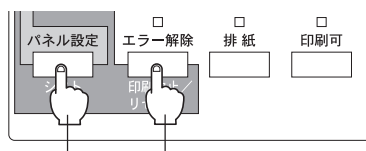
電源をオフ(○)にする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。

リセットとリセットオール

リセット

リセットは、ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときや、印刷を中止するときに行います。
現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。

リセットの仕方

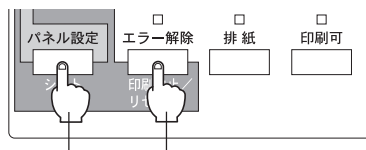
[シフト]スイッチ（[パネル設定]スイッチ兼用）を押したまま[エラー解除]スイッチを押します。**スイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので、注意してください。**

ポイント

プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部のDOSアプリケーションソフトで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、[リセットシテクダサイ] と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、プリンタは印刷の中止を行います。
プリンタは電源をオン(｜)にした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。

リセットオールの仕方

シフト スイッチ（パネル設定 スイッチ兼用）を押したまま、ディスプレイに［リセットオール］と表示されるまで（約５秒間）エラー解除 スイッチを押したままにします。

シフト（パネル設定）スイッチを押したまま、ディスプレイに［リセットオール］と表示されるまで（5秒間）エラー解除 スイッチを押したままにします

第6章

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品について説明しています。

オプションと消耗品の紹介

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	ー
	IBM、富士通 東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1*2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2
	NEC	PC-9821 シリーズ （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ （14 ピン）	#8238	*1*2*3
		PC-9801 シリーズ NOTE （ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2*3

＊１：拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。

＊２：Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。

＊３：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。

- **NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC製の専用ケーブルを使用してください。**
- **富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合、PRCB4N をご使用ください。**

シリアルインターフェイスケーブル（LP-8300F除く）

パラレルインターフェイスケーブルに他の周辺機器などを接続している場合には、シリアルインターフェイスケーブルで接続することができます（LP-8300Fを除く）。シリアルインターフェイスでの接続には、クロスケーブル（リバースケーブル）が必要になります。

ポイント
クロスケーブルとはケーブルの両端で送信用/受信用の端子が入れ替わっているケーブルです。2台のコンピュータのシリアルインターフェイス同士を接続してデータのやりとりを行う場合などに使用します。

メーカー	コンピュータ	接続ケーブル
EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ （98 互換）25 ピン -25 ピン	PRCB7 （RS-232C クロスケーブル）

上記以外のコンピュータについては、各コンピュータの取扱説明書を参照の上、お買い求めください。

ポイント
シリアルインターフェイスで接続した場合、コンピュータ側とプリンタ側のシリアルインターフェイスに関する設定を合わせる必要があります。
プリンタ側では、操作パネルで設定変更を行います。
☞本書「操作パネルでの設定方法」129 ページ
コンピュータ側でのシリアルインターフェイスの設定については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Ethernet接続ケーブル（LP-8600FXN/8400FXN）

LP-8600FXN/8400FXNに標準搭載のネットワークインターフェイスに接続する場合は、以下のケーブルをお使いください。

● Ethernet シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）

インターフェイスカード（LP-8600FX/8400FX/8300F）

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。
設定などについてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

<table>
<tr><th>型番</th><th>名称</th><th>解説</th></tr>
<tr><td>PRIF4</td><td>シリアル I/F カード
（バッファ：32KB）</td><td>本機をシリアルで接続するためのオプションです。</td></tr>
<tr><td>PRIF5E</td><td>IEEE1284 双方向
パラレル I/F カード</td><td>本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。</td></tr>
<tr><td>PRIFNW1S</td><td>10Base-T/2
マルチプロトコル
Ethernet I/F カード</td><td rowspan="2">IPX/SPX （NetWare，Windows95/98/NT4.0/NT3.51）、TCP/IP（Windows95/98/NT4.0/NT3.51）、AppleTalk（Macintosh）、NetBEUI（Windows95/98/NT4.0/NT3.51、OS/2 Warp）に対応しています。
本機をEthernet接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。
PRIFNW1S:
Ethernet 10BASE2: THIN（シン）同軸ケーブル
Ethernet 10BASE-T: ツイストペアケーブル
PRIFNW2S:
Ethernet シールドツイストペアケーブル（カテゴリー5）</td></tr>
<tr><td>PRIFNW2S</td><td>100Base-TX/
10Base-T
マルチプロトコル
Ethernet I/F カード</td></tr>
</table>

EPSON Link3

プリンタのパラレルインターフェイスコネクタと Macintosh のシリアルインターフェイスコネクタを接続するオプションです。取り付け方については EPSON Link3 の取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
ELINK3	EPSON Link3	シリアル / パラレル変換アダプタ

用紙カセットユニット

オプションの用紙カセットユニットをプリンタ下部に装着できます。機種によって装着できるオプションが異なります。

LP-8600FX(N)　：ユニバーサルカセットユニットを2段装着するか、ユニバーサルカセットユニットと大容量カセットユニットを2段に重ねて装着できます。

LP-8400FX(N)/8300F：下記オプションどちらかを最大1段装着できます。

型番	商品名	備考
LPUC1	ユニバーサルカセットユニット（標準で付いているカセットユニットと同じ型です）	使用できる用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、A5、Letter（LT）、Legal（LGL） 用紙カセット容量：最大250枚（普通紙64g/m²）
LPDC6	大容量カセットユニット	使用できる用紙サイズ：A4のみ 用紙カセット容量：最大500枚（普通紙64g/m²）

* LP-8600FX(N)に2段分の用紙カセットを装着するには、LPUC1を2段重ねするか、LPDC6の上にLPUC1をセットし、その上にプリンタ本体を載せます。

型番	商品名	備考
LPSC1	ユニバーサルショートカセット（標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC1/LPDC6）の用紙カセットと差し替えて使用します）	使用できる用紙サイズ：A4、A5、B5、Letter（LT） 用紙カセット容量：最大250枚（普通紙64g/m²）

EP-GLモジュール

EP-GLモジュールは、本来はプロッタ（図表出力装置）で出力するデータをプリンタで出力できるようにするための ROM モジュールです。
EP-GL モジュールを装着すると、プロッタ言語の EP-GL モードをエミュレートします。これにより本プリンタを Hewlett-Packard 社の HP-7550A プロッタの代わりに使用することができます。
EP-GL モジュールは、本製品の ROM モジュール用ソケット A/B* のどちらかに装着します。

* LP-8300F はソケット A のみ

型番	商品名
LPEPGL3	EP-GL モジュール

増設メモリ

*1 DIMM：Dual In-line Memory Module の略。複数個のメモリチップを搭載した基板。SIMM よりも高速にメモリにアクセスできる。

本プリンタは、市販のDIMM[*1] を使用することにより、内部メモリ（標準搭載メモリ容量：16MB*）を増設することができます。使用できるメモリの詳細については、FAX インフォメーションをご利用いただくかインフォメーションセンターまでお問い合わせください。お問い合わせ先は、巻末をご覧ください。

* LP-8300F のみ 8MB

メモリの仕様	最大メモリ容量
DIMM • DRAM タイプ： SDRAM（シンクロナス DRAM） • 容量： 32MB、64MB、128MB、256MB • 形状： 168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ） • データバス幅： 64bit • SPD[*2]：あり	256MB

*2 SPD（Serial Presence Detect）：メモリの持つパフォーマンスやメモリのタイプ容量などの情報をメモリ内に格納しておく機能。BIOS によってはこの情報に従ってパラメータを自動設定することができる。

メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを印刷処理から早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。128MB以上のメモリを増設すると、部単位印刷ができるようになります。

ポイント

- **標準搭載のメモリ（LP-8300F は 8MB、それ以外の機種は 16MB）と増設メモリの合計が最大メモリ容量（256MB）より大きい場合、最大メモリ容量を超えた分のメモリは使用されません。また、ステータスシートや操作パネルにも表示されません。**
- **標準搭載のメモリを取り外すことはできません。**

フォントROMモジュール

オプションのフォントROMモジュールです。機種によって装着できる枚数が異なります。
LP-8600FX(N)/8400FX(N)　：2枚装着できます。
LP-8300F　：1枚装着できます。

型番	商品名
LPFR1	正楷書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFROCB	OCR フォント / バーコード ROM モジュール

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。
フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷は Windows プリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows95/98/NT4.0 上で使用可能）

フォームオーバーレイROMモジュール

オプションのフォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!3以上）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するための ROM モジュールです。
フォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームデータは、Windows プリンタドライバ上および DOS アプリケーションソフト上で呼び出して使用できます。
フォームオーバーレイ ROM モジュールからフォームデータを呼び出す場合、ROM モジュールソケット A/B* どちらに装着してもかまいません。
フォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームデータを登録する場合は、ROM モジュール用ソケット A に装着したフォームオーバーレイ ROM モジュールに対してのみ可能です。

* LP-8300F はソケット A のみ

型番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイ ROM モジュール（1MB）
LPFOLR4M	フォームオーバーレイ ROM モジュール（4MB）

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル
ESC/P リファレンスマニュアル

エプソン日本語ページプリンタ用「EPSON Remote モード」についての説明書です。EPSON Remote モード（P）コマンドを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
EPSON Remote モード（P）リファレンスマニュアル

ポイント

上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。巻末のFAX注文書にてご注文していただきますようお願い申しあげます。

ETカートリッジ

印刷用トナーとドラムが一体になったカートリッジです。ET カートリッジの寿命は約 6,000 枚（A4 画占率 5%）です。

☞本書「ET カートリッジの交換」186 ページ

型番	商品名
LPA3ETC4	ET カートリッジ
LPA3ETC4P	ET カートリッジ（2 個パック）

専用キャビネット

消耗品や用紙の保管に最適な専用キャビネット（キャスタ付き）です。

型番	商品名	備考
LPCBN1	専用キャビネット	サイズ： 580mm（W）× 650mm（D）× 520mm（H） キャスタ付き

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

巻末の「消耗品FAX注文書」をコピーし、必要事項をご記入のうえFAXにてご注文ください。また、お電話・インターネットでのご注文もお受けしております。

エプソンOAサプライ株式会社

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-5-12 タカラビル2F

ファックス番号	： 0120-55-7765（フリーダイヤルFAX）
	：03-3258-7690
ご注文電話番号	： 0120-25-1528（フリーダイヤル）
	：03-3255-1528
インターネットURLアドレス	：http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home

※ 電話番号のおまちがいにご注意ください。また、消耗品、オプション、マニュアル以外のお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

お届け方法

宅配便の代金引き換えにてお届けしております。

※商品がお手元に配達された時、その配達員にお代金を現金にてお支払いいただくシステムです。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）でお願いいたします。

※一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

料金システム

- 商品合計金額が5000円未満の場合………商品代金＋消費税＋送料
- 商品合計金額が5000円以上の場合………商品代金＋消費税のみ

※送料は消費税を含み、全国一律525円です。
※配送は国内に限らせていただきます。

なお、ご注文いただいた商品の在庫がない場合は、メーカーよりの取り寄せとなり、納品までにお時間がかかる場合がございます。
また、メーカーにて完売となりました商品につきましては、お取り寄せができませんので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

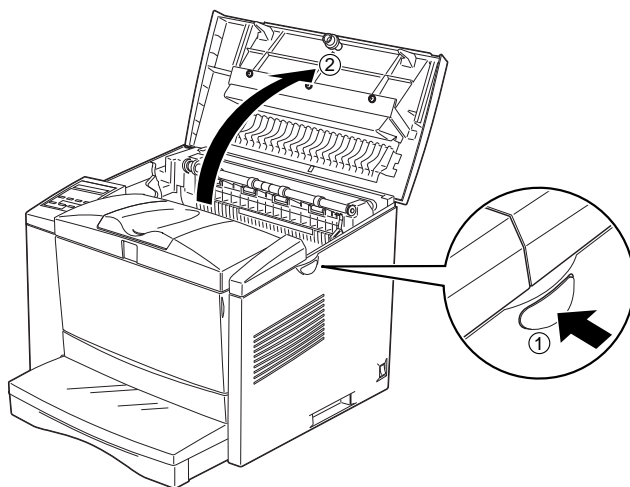
増設メモリ/ROMモジュールの取り付け

ここでは、増設メモリ /ROM モジュールの取り付け方法について説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

増設メモリ/ROM モジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

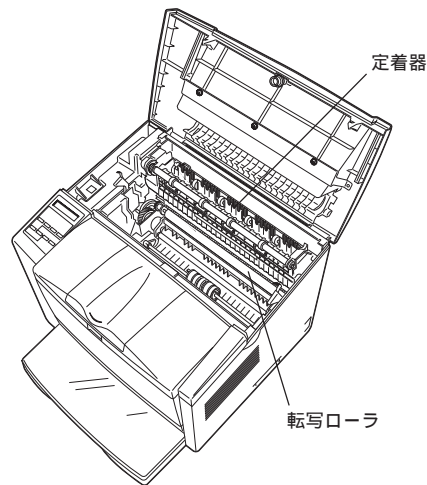
プリンタの電源をオフ(○)にします。
電源ケーブルとインターフェイスケーブルが接続されている場合は取り外します。

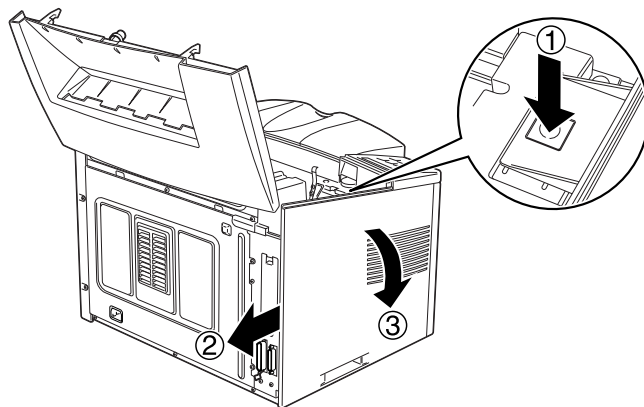
⚠ 注意

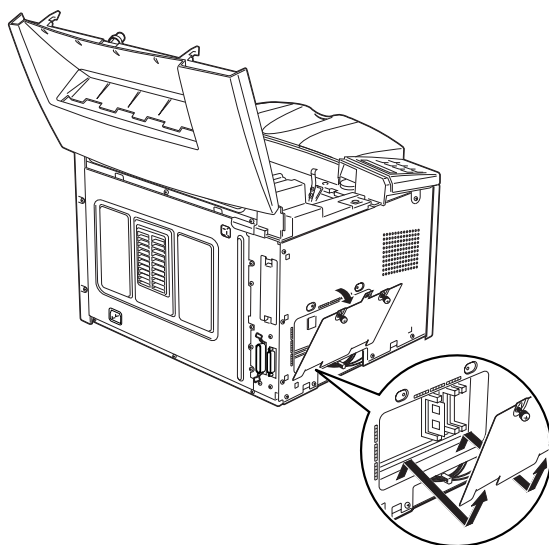
- **作業の際には、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを必ずプリンタから取り外してください。**
- **インターフェイスケーブルをプリンタから取り外す際には、必ずコンピュータの電源もオフにしてから取り外してください。**

ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意

カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

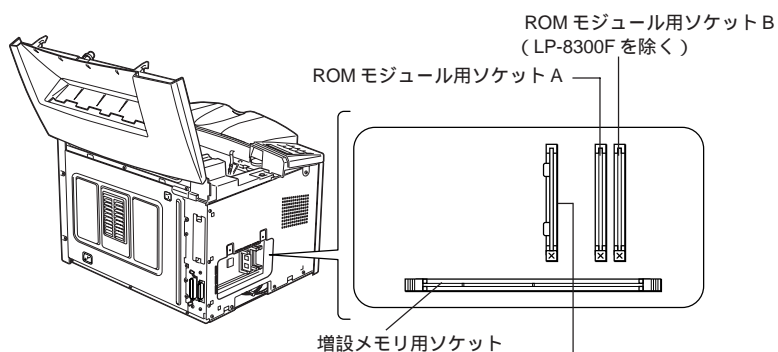
- **定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）**
- **転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）**

プリンタ正面から見て左側のカバーを外します。

①のボタンを押すと、左カバーの上部が外れます。
②の方向にスライドさせます。
③の方向に倒すとカバーが外れます。

金属のカバーを取り外します。

プラスドライバを使用して、止めネジ（2 本）をゆるめます。カバーの上側にあるつまみを持ち、手前に外します。

金属のカバーの止めネジを、プリンタ本体の中へ落としたり紛失しないようにしてください。

増設メモリ用ソケットと、ROM モジュール用ソケット A/B は次の場所にあります。

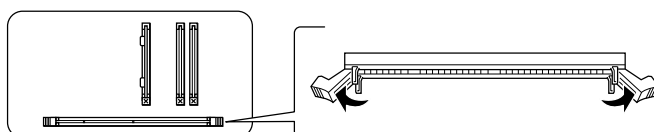
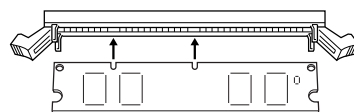
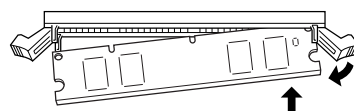
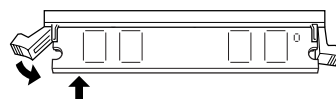
増設メモリの取り付けの場合は 6 へ進んでください。

ROM モジュールの取り付けの場合は 7 へ進んでください。

増設メモリは次の手順で取り付けます。

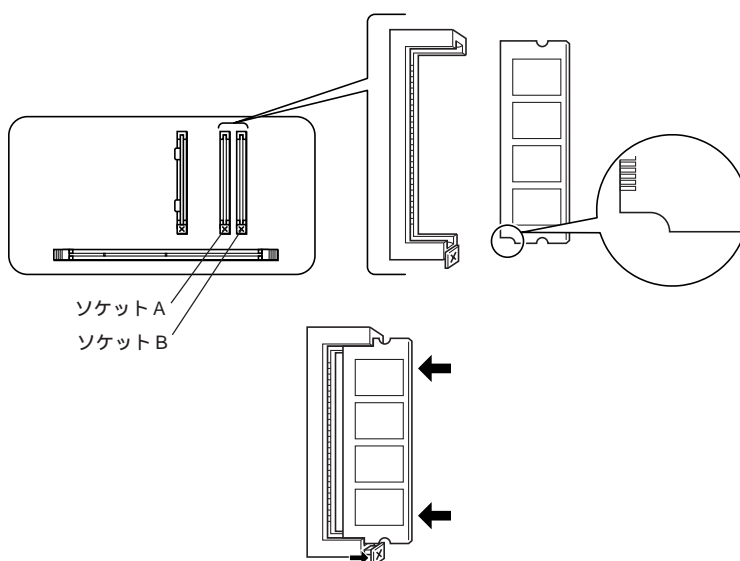
- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

装着できる増設メモリの仕様については、以下のページを参照してください。
☞本書「増設メモリ」166 ページ

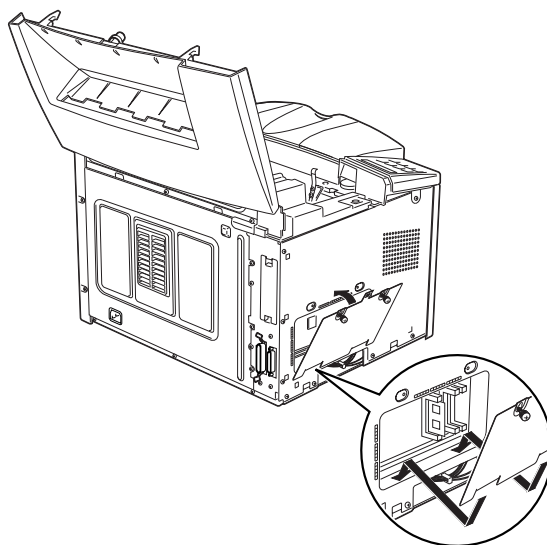
増設メモリは、1 枚取り付けられます。

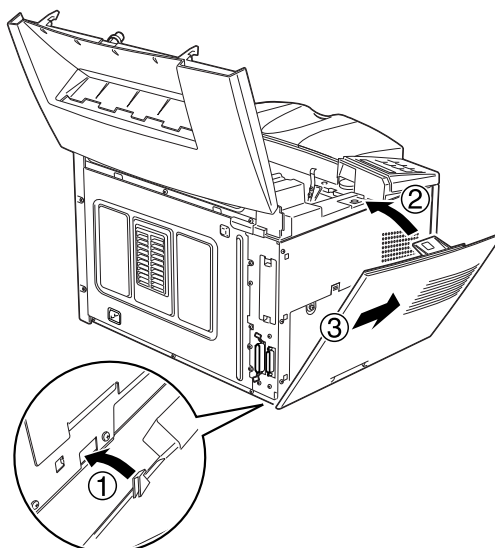
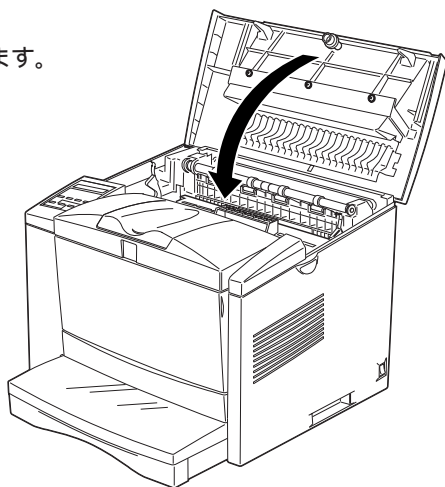
①増設メモリ用ソケット両側のクリップを外側に開きます。

②増設メモリ底部の 2 つのくぼみが、ソケット内側の凸部分に合うように、取り付け位置を決めます。

③増設メモリの片方をソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。

④増設メモリのもう一方を差し込み、クリップを持ち上げて固定します。

ROM モジュールは次の手順で取り付けます。

- ROM モジュールを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- ROM モジュールは、逆差ししないように注意してください。

- フォームオーバーレイROMモジュールにフォームデータを登録する場合はソケットAに取り付けます。それ以外の場合は、ソケットAまたはBのどちらに取り付けてもかまいません（LP-8300Fの場合は、ソケットBはありません）。
- ROMモジュールをソケットにまっすぐ差し込み、図のボタンが上がるまで両端をゆっくりと均等に押し付けます。

ROMモジュール用ソケットの隣にある基板は、絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが正常に動作しなくなるおそれがあります。

8 **金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。**

カバー下側のツメを本体部分に引っかけてから､カバーを取り付けます。
2 本のネジでカバーを固定します。

9 **プリンタ左側のカバーを取り付けます。**

①左カバー下側のツメを、図のように穴に差し込みます。
②左カバーをプリンタ本体に添えます。
③左カバーを図の方向にスライドさせ､左カバー上側の四角い穴に本体のボタンをはめ込むと同時に､左カバーを前面カバーに差し込みます。

上カバーを閉じます。
カチッと音がするまで押し込みます。

11 インターフェイスケーブルと電源ケーブルをプリンタに取り付け、コンセントに電源プラグを差し込みます。

12 増設メモリを取り付けた場合、プリンタが増設メモリを正しく認識しているかを次の手順で確認します。

①プリンタの電源をオン(Ｉ)にします。

②プリンタの起動時に、液晶ディスプレイに［RAM CHECK XX.XMB］と表示されます。この［XX.XMB］の値が、［標準装備のメモリ容量*1＋増設メモリの容量*2］であることを確認します。

*1 ： 標準装備のメモリ容量は16MB（LP-8300Fのみ8MB）です。

*2 ： 256MBの増設メモリを装着した場合は、「256MB」と表示されます（「272MB」あるいは「264MB」ではありません）。

RAM CHECK ××．×MB OK

ポイント

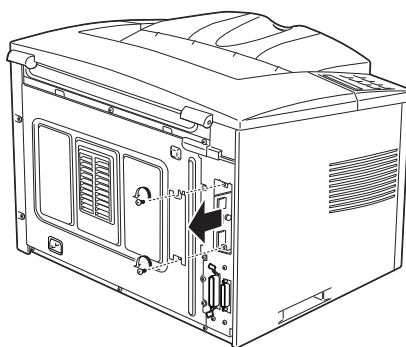
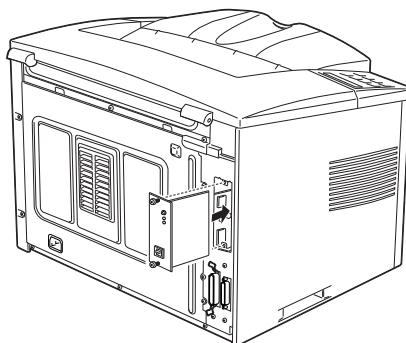
- オプションのメモリを装置した場合は、オプションの設定をする必要があります。ステータスシートを印刷し実装メモリの数値を確認して、オプション装置の設定をしてください。
   Windows95/98/NT4.0
  本書「オプション装着時の設定/Windows95/98/NT4.0での設定」180ページ
  Windows3.1/NT3.51
  本書「オプション装着時の設定/Windows3.1/NT3.51での設定」183ページ
- 本プリンタは、メモリが効率的に使用されるような設定をプリンタのコントローラが自動的に行っていますので、キャッシュバッファや受信バッファの容量の設定は基本的に不要です。

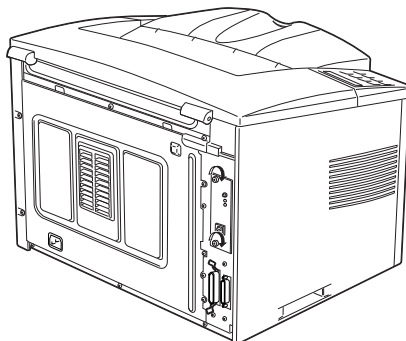
インターフェイスカードの取り付け

ここでは、LP-8600FX/8400FX/8300Fにインターフェイスカードを取り付ける方法について説明します。
プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。
LP-8600FXN/8400FXNには、標準でネットワークインターフェイスが搭載されています。

インターフェイスカードによっては、本プリンタへの取り付けの前に、カード上のディップスイッチや、ジャンパースイッチの設定をする場合があります。インターフェイスカード付属の取扱説明書をよくお読みの上、それぞれの設定をしてください。本書では、設定を終えたインターフェイスカードを取り付ける手順について説明しています。

1. **プリンタの電源をオフ(○)にします。**
   電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

2. **本体背面のコネクタカバーを取り外します。**

3. **インターフェイスカードを取り付けます。**
   インターフェイスカードの左右両側をプリンタ内部のみぞに合わせて差し込みます。インターフェイスカードのコネクタと、プリンタ本体のコネクタがきちんと合うまで差し込んでください。

付属のネジで固定します。

カード両側のネジでインターフェイスカードを固定します。

ケーブル類を取り付け、電源をオン(|)にします。

ステータスシートを印刷して正しく取り付けられたか確認します。

正しく取り付けられているときは、例のように［インターフェイス］に［オプション］と印刷されます。

<例>

ハードウェア環境			
実装メモリ容量	XXXXKB		
インタフェース	パラレル	シリアル	オプション
給紙装置	用紙トレイ	カセット１	オプション

☞本書「ステータスシートの印刷」157 ページ

ポイント

インターフェイスカードを使用するためには、インターフェイスカードの設定が必要です。詳細はインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

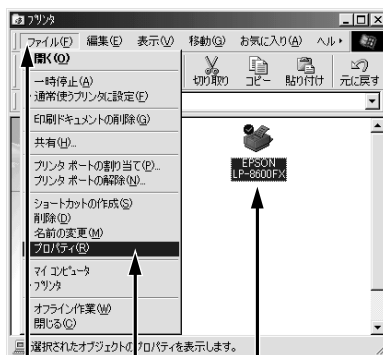
オプション装着時の設定

メモリや給紙装置などのオプションを装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。オプションを装着していない場合や Macintosh でお使いの場合は、設定の必要はありません。

Windows95/98/NT4.0 での設定

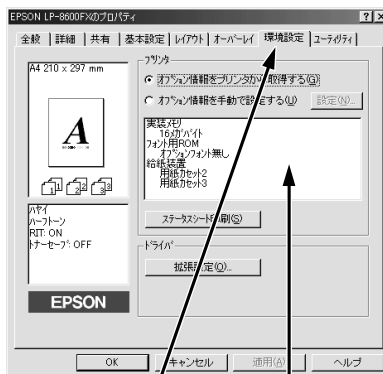
ポイント
- **WindowsNT4.0 の場合、管理者権限（Administrator）のあるユーザでログオンする必要があります。**
- **ここでは、Windows98 のプロパティ画面（LP-8600FX）を掲載しますが、手順は同じです。**

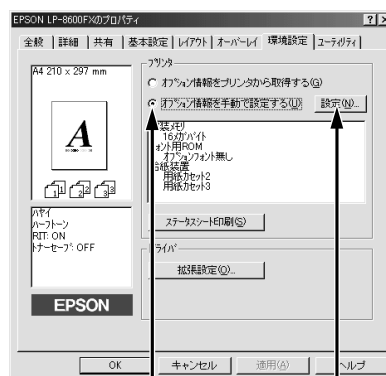
1 **Windows の** **ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。**

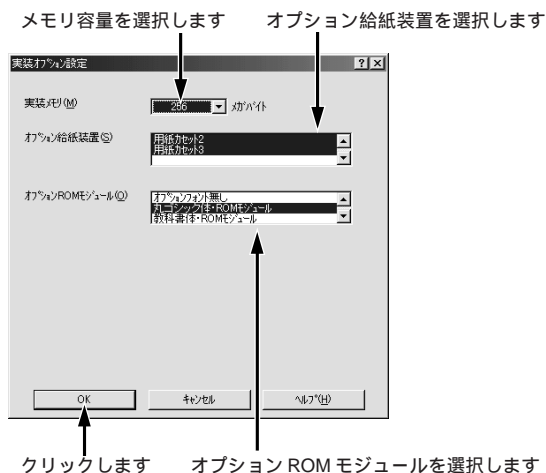
2 **お使いの機種のアイコンを選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。**
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。

②クリックして　③クリックします　①選択して

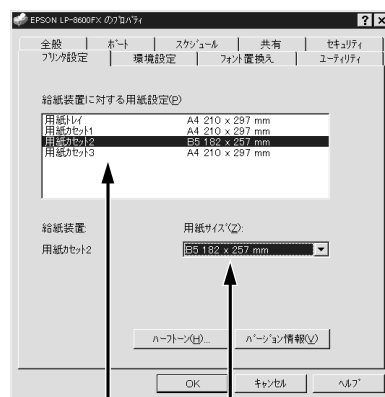
ポイント
通信エラーが発生した場合は、OK ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 **[環境設定] タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。**
- [オプション情報をプリンタから取得する] が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。**6** または **7** へ進みます。
- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。**4** へ進みます。

①クリックして　②確認します

[オプション情報を手動で設定する]をクリックして、設定 ボタンをクリックします。

[実装オプション設定]ダイアログが開きます。

装着したオプションを選択して、OK ボタンをクリックします。

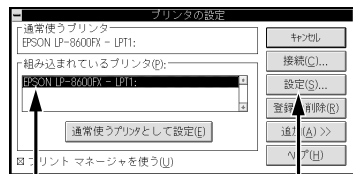
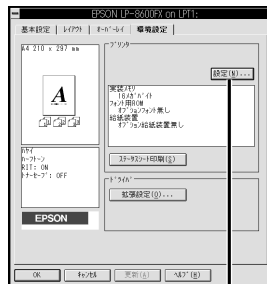
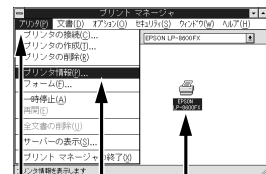
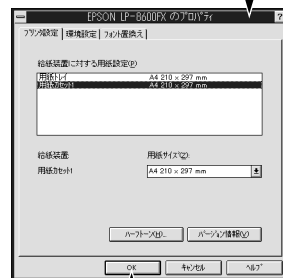
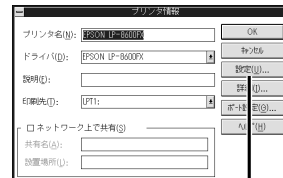
- [実装メモリ]リストから、増設したメモリの容量を含めてプリンタの総メモリ容量を選択します。
- [オプション給紙装置]リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- [オプション ROM モジュール]リストで、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。

6 **WindowsNT4.0の場合は、［プリンタ設定］タブをクリックし、給紙装置の用紙サイズを設定します。**（Windows95/98の場合、この設定は必要ありません）

［給紙装置に対する用紙設定］リストで給紙装置を選択し、［用紙サイズ］リストからサイズを選択します。

7 **ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。
ステータスシートを印刷すると、オプションが正しく装着されているか確認できます。
☞本書「ステータスシートの印刷」157 ページ

Windows3.1/NT3.51 での設定

メイングループのコントロールパネル内にある［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

	Windows3.1の場合	WindowsNT3.51の場合
2	**お使いのプリンタの機種名を選択し、設定 ボタンをクリックします。** 	**お使いのプリンタの機種名アイコンをクリックし、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。**
3	**［環境設定］タブをクリックして、設定 ボタンをクリックします。各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。** 各項目の詳細については、本書「［環境設定］ダイアログ」45ページを参照して設定してください。	**設定 ボタンをクリックします。［プリンタ設定］タブと［環境設定］タブをクリックして、各項目を設定し OK ボタンをクリックします。** 各項目の詳細については、本書「［環境設定］ダイアログ」（45ページ）、「［プリンタ設定］ダイアログ」（44ページ）を参照して設定してください。

第7章

メンテナンスの仕方

ここでは、メンテナンス方法について説明しています。

ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジの交換時期

- 1つのETカートリッジで約6,000枚（A4、画占率5%）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。
- EPSONプリンタウィンドウ!3では、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しいETカートリッジと交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しいETカートリッジと交換してください。

☞Windows　本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」53 ページ
Macintosh 本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」110 ページ

- 液晶ディスプレイに[トナーガ　ノコリスクナクナリマシタ]と表示された場合は、まだ印刷が可能です。ET カートリッジ交換の必要はありません。ただし、トナー残量は目安ですので、印刷がかすれたり薄くなった場合は、交換してください。
- 液晶ディスプレイに［トナーカートリッジコウカン］と表示された場合も、印刷は可能ですが、印刷結果から判断して交換してください。ただし［トナーコウカンエラーヒョウジ］を［スル］に設定している場合、1枚印刷するごとにエラーが発生します。

ETカートリッジ交換の注意

本プリンタで使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

●型番： LPA3ETC4
LPA3ETC4P（2個パック）

- 上記以外の ET カートリッジを本プリンタで使用しないでください。
- 交換後、必ずトナー残量カウンタをリセットしてください。トナー残量カウンタをリセットしない場合、正確なトナー残量の検出ができないため、エラーが発生する場合があります。
- 液晶ディスプレイに[トナーカートリッジコウカン]と表示されて交換する場合は、操作パネルをそのままの状態（エラー状態）で交換してください。交換後、エラー解除 スイッチを押すと自動的にトナー残量カウンタがリセットされます。

- **トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。**
- **寒い場所から暖かい場所に ET カートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため1時間以上待ってから作業を行ってください。**

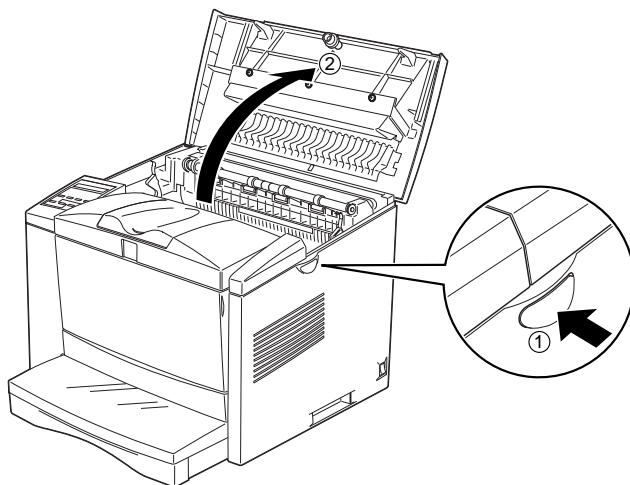
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

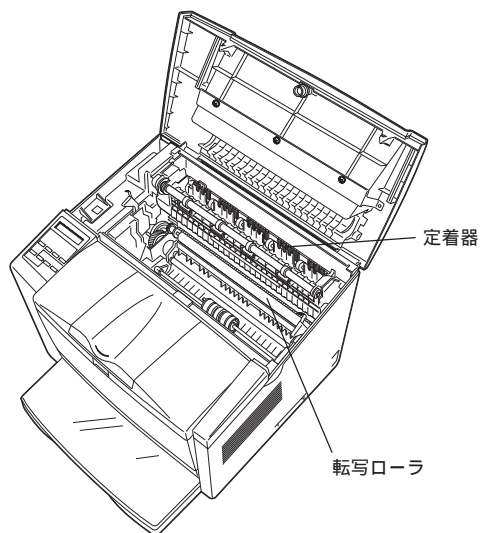
⚠ 注意

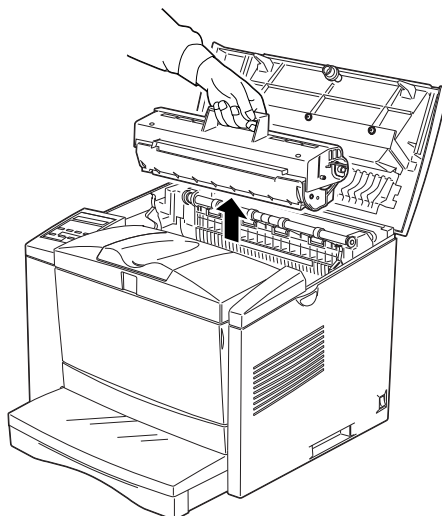
使用済みのETカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

ETカートリッジの交換方法

ラッチを押して、上カバーを開けます。

⚠注意

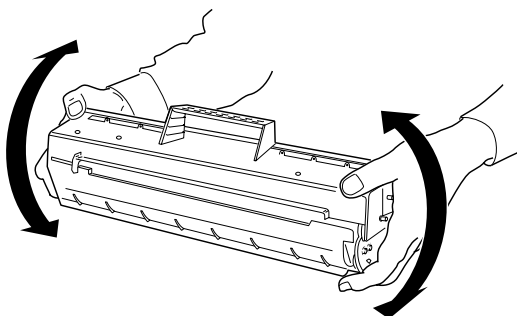
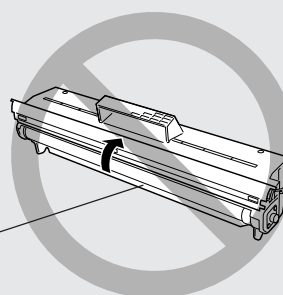
カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

使用済みの ET カートリッジを取り出します。

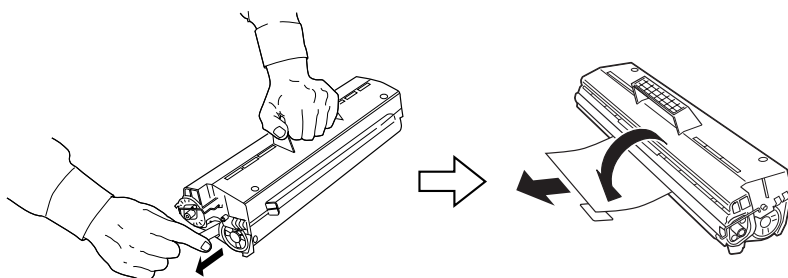
取っ手を持ち、使用済みの ET カートリッジを引き上げます。

⚠ 注意

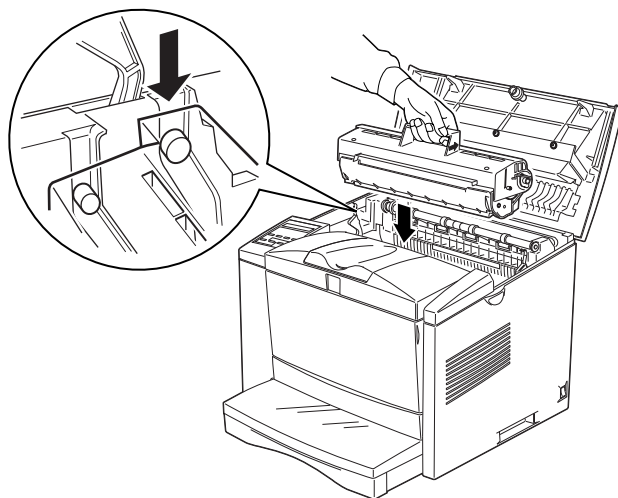
使用済みの ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

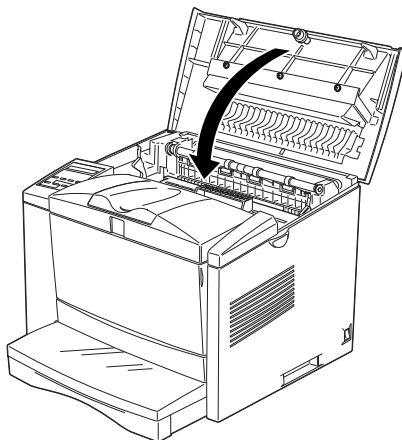
新しい ET カートリッジをよく振ります。

ET カートリッジの箱を開け、梱包袋から取り出します。
取り出したカートリッジを内部のトナーが均一な状態になるように図の向きに 7 〜 8 回振ります。

感光体保護シャッタを絶対に開けないでください。また、内部の感光体（青色の部分）には絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下します。

ETカートリッジの入っていた梱包袋は、プリンタの移動や輸送の際、または使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包袋は、次回 ET カートリッジを交換するときまで大切に保管してください。

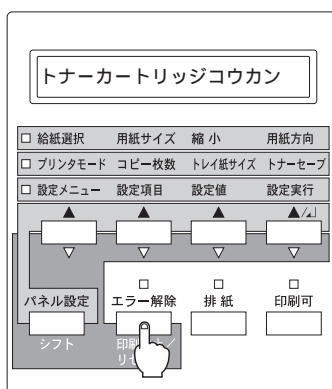
保護材を取り外します。

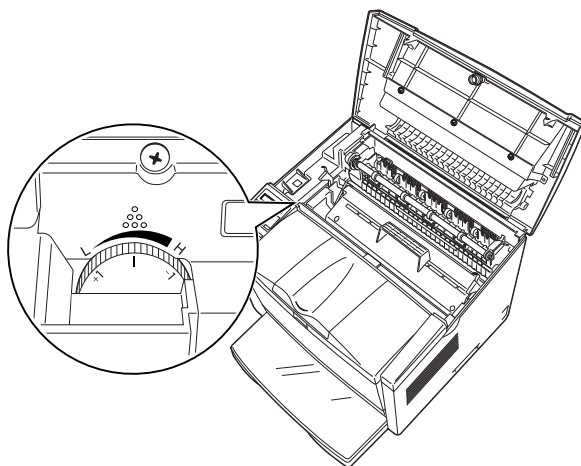
①ETカートリッジを平らな場所に置き、シールドテープを引き抜きます。
②テープをはがし、保護シートを引き抜きます。

ETカートリッジに表示されている矢印をプリンタの上カバー側に向けてETカートリッジをセットします。

両側のガイドを合わせながら底に突き当たるまで確実にセットします。このとき、プリンタ内部のローラやギアなどには手を触れないでください。

上カバーを閉じます。

上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

ETカートリッジを取り付けたまま、プリンタを運搬しないでください。トナーがプリンタ内部にこぼれ、印刷品質に影響を与えたり、故障の原因となります。

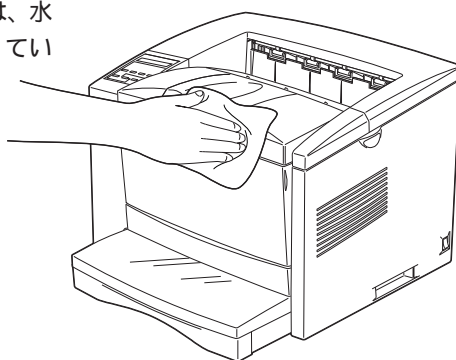
7 **トナー残量カウンタをリセットします。**

- ［トナーカートリッジ　コウカン］メッセージが表示されたままの状態で交換した場合は、エラー解除スイッチを押すとトナー残量カウンタがリセットされます。
- 上記以外の場合は一度電源をオフ(○)にします。30秒以上経過してから印刷可スイッチと排紙スイッチを同時に押したまま電源をオン(｜)にします。
  液晶ディスプレイに［トナーザンリョウリセット］と表示されたら、スイッチから指を離します。

印刷濃度の調整

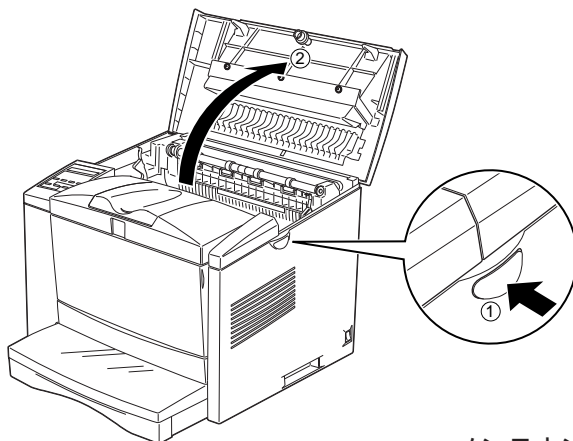
ET カートリッジを交換すると、印刷濃度が変化する場合があります。必要に応じて印刷濃度調整ボリュームで調整してください。
H 側に回すと濃くなり、L 側に回すと薄くなります。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

- **プリンタの清掃は、電源をオフ(○)にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で、行ってください。**
- **ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。**
- **プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。**
- **固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。**

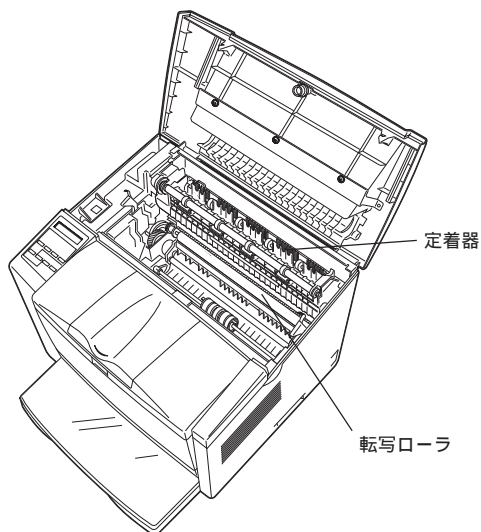
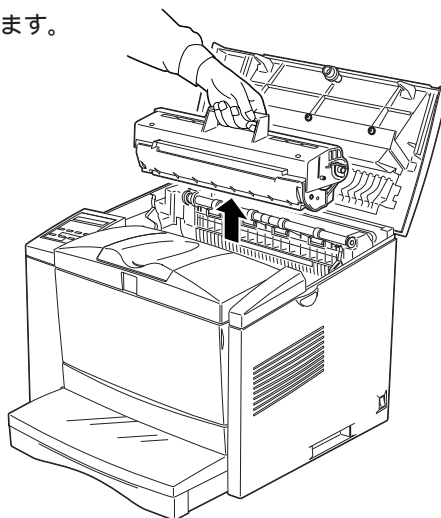
プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

用紙トレイ給紙ローラのクリーニング

用紙トレイから給紙する場合、絵入りハガキなどに使用されている絵柄裏移り防止用の粉が、給紙ローラに付着し給紙できなくなることがあります。用紙トレイから給紙できなくなったときは、以下の手順に従って給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭いてください。

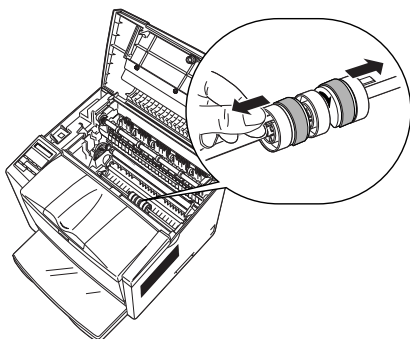
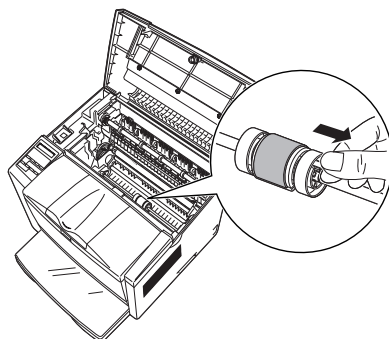
LP-8600FX(N)　　　　：給紙ローラは2個あります。
LP-8400FX(N)/8300F：給紙ローラは1個あります。

ラッチを押して、上カバーを開けます。

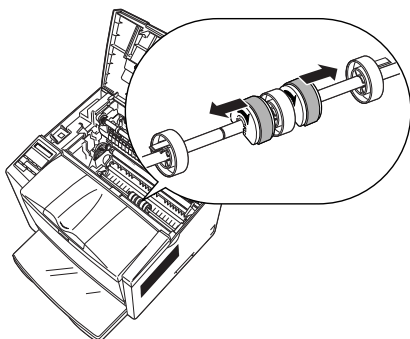
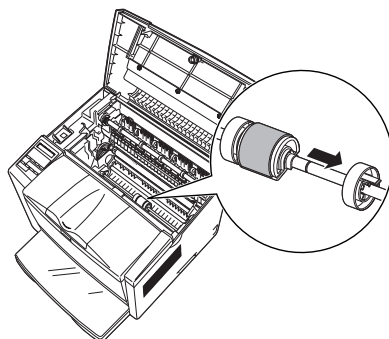
⚠注意

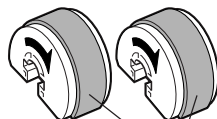
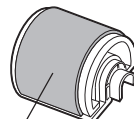
カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- **定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります。）**
- **転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります。）**

ETカートリッジを取り出します。

取り出したETカートリッジは、トナーがこぼれないように、水平に置いてください。

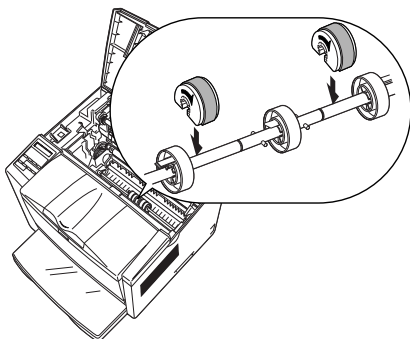
ガイドをずらします。

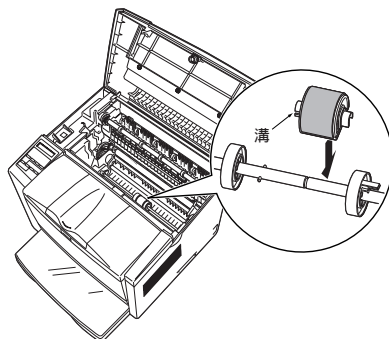
LP-8600FX(N):
突起部をつまんで、左右2つのガイドを外側へずらします。

LP-8400FX(N)/8300F:
右側の突起部をつまんで、右側へずらします。

給紙ローラを取り外します。

LP-8600FX(N):
左右 2 つの給紙ローラを外側にずらして、取り外します。

LP-8400FX(N)/8300F:
給紙ローラを右側へずらして取り外します。

給紙ローラを固く絞った布でていねいに拭きます。

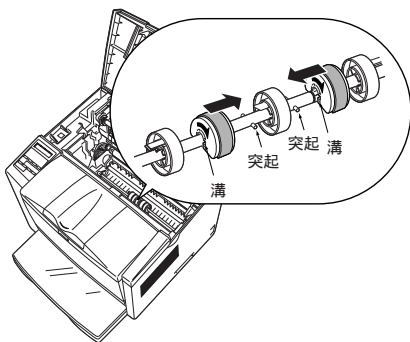
LP-8600FX(N):
給紙ローラは 2 個あります。

LP-8400FX(N)/8300F:
給紙ローラは 1 個です。

6 **給紙ローラを取り付けます。**

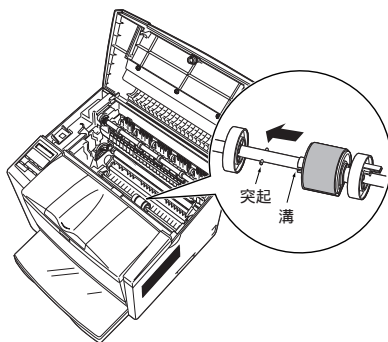
LP-8600FX(N):

矢印の刻印のある面を左側にして、左右2つの給紙ローラを軸に取り付けます。

LP-8400FX(N)/8300F:

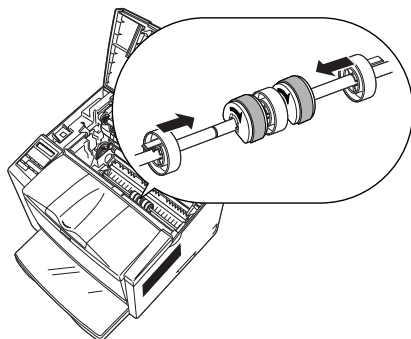
給紙ローラの図の部分に溝がある側を左側にして、軸に取り付けます。

7 **給紙ローラを軸に固定します。**

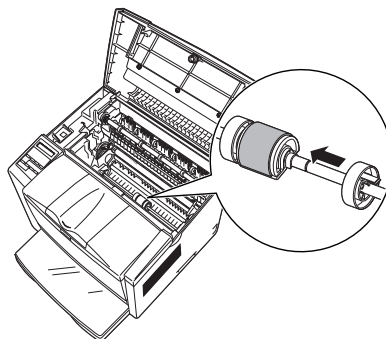
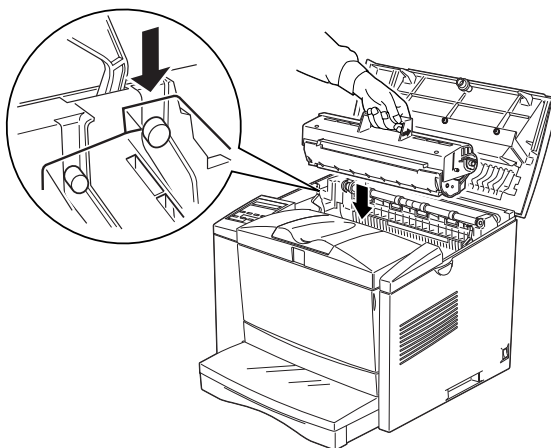
LP-8600FX(N):

左右 2 つの給紙ローラを内側へずらして、軸上の突起を給紙ローラの溝にはめ込みます。

LP-8400FX(N)/8300F:

軸上の突起と給紙ローラの溝を合わせるように、給紙ローラを左へずらします。

ガイドをずらして給紙ローラを固定します。

LP-8600FX(N):

左右のガイドを内側へずらして、左右 2 つの給紙ローラを固定します。

LP-8400FX(N)/8300F:

右側のガイドを、固定される位置まで左へずらします。

ET カートリッジを取り付けます。

上カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じます。

プリンタの運搬

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

近くへ移動するときは

プリンタを設置していた台を代えたり、隣の部屋に移動する場合は、付属品をすべて取り外す必要はありません。
以下の部品のみを取り外して、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

●電源ケーブル
●インターフェイスケーブル
● 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
● 用紙カセット
●オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

遠くへ運搬するときは

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などをすべて外し、もう一度梱包してください。
以下のものが取り付けられている場合は、取り外してください。

●電源ケーブル
●インターフェイスケーブル
● 用紙トレイ内の用紙（用紙トレイは閉じてください）
● 用紙カセット
● ET カートリッジ
●オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）

輸送上の注意

プリンタ本体に梱包材を付けて、梱包箱に入れます。ページプリンタは精密機械ですので、梱包方法によっては輸送中に思わぬ破損を招くことも考えられます。下記の注意に従って、確実に梱包してください。

- 使用中 / 使用済みの ET カートリッジは、常に水平を保ちながら取り扱ってください。トナーがこぼれることがあります。
- ET カートリッジは斜めや逆さまにして置かないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 製品購入時に使用されていた梱包材を使用して購入時の状態で梱包してください。

- **必ずプリンタから ET カートリッジを取り出してください。取り出したカートリッジは、製品購入時に梱包されていた箱かビニール袋などにいれて輸送してください。**
- **必ず、製品購入時に取り付けられていた輸送用の保護具を取り付けて輸送してください。**

第8章

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、それぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータスシートを印刷します。
パネル設定のテストインサツメニューから以下の項目を印刷します。
ローカル接続で使用　　：ステータスシート
ネットワーク接続で使用：オプションI/F情報

印刷できる → **プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？（DOSを除く）**

- **できる** → **エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は巻末に記載されています。**
- **できない** → **ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。**

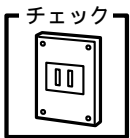
印刷できない → **プリンタ本体のトラブルです。保守契約をされていますか？**

- **している** → **保守契約店にご相談ください。**
- **していない** → **「保守サービスのご案内」をご覧ください。**
  ☞本書「保守サービスのご案内」237ページ
  ご相談先は巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

電源が入らない

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか?
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか?
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

以上の 3 点を確認の上で電源スイッチをオン(I)にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合)、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンフィールドセンターへご相談ください。フィールドセンターへのご相談先は巻末に記載されています。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」21 ページ

インターフェイス切り替え設定が「自動」以外になっていませんか？

操作パネルの共通メニューの「I/F キリカエ」の設定を「ジドウ」以外にしてある場合は、設定された単一のインターフェイスからのデータしか受け付けません。

☞本書「キョウツウメニュー」139 ページ

プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。

液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、以下のページを参照し、対処して、印刷可 スイッチを押します。

☞本書「エラーメッセージ」226 ページ

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータのCPUやメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

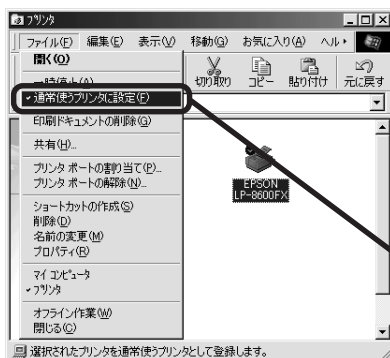
ネットワーク上の設定は正しいですか？

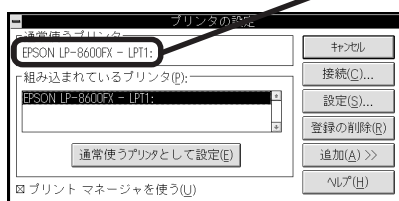
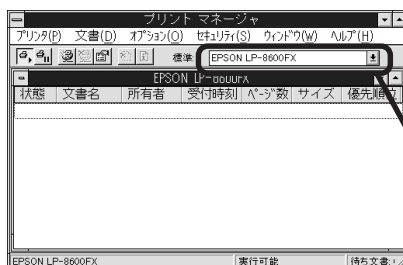
ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

チェック

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

お使いの機種のプリンタドライバが、コントロールパネルのプリンタフォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

画面は Windows98 の場合です

(Windows95/98/NT4.0)
確認方法
① スタート ボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタ名を選択し［ファイル］メニューを確認します。

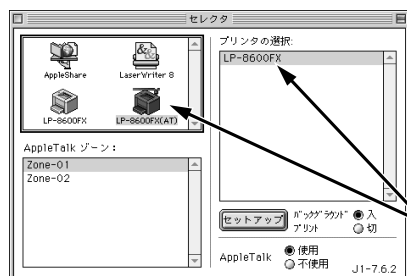
［通常使うプリンタ］の設定になっているか確認します。

(Windows3.1)
確認方法
① コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
②［プリンタの設定］ダイアログを確認します。

(WindowsNT3.51)
確認方法
① コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
②［標準］のプリンタを確認します。

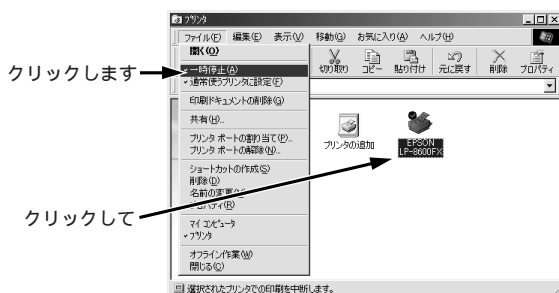
使用するプリンタ名が選択されているか確認します。

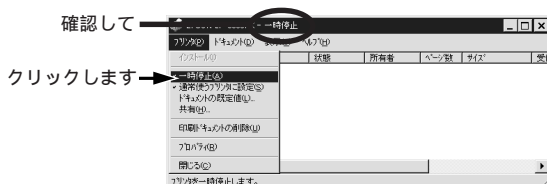
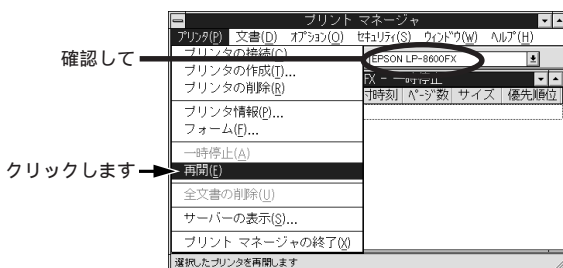
お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか?

お使いの機種のアイコンがセレクタ上に表示されているかを確認してください。QuickDraw GX を使用していると、プリンタのアイコンは表示されません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞セットアップガイド「システム条件の確認」36 ページ

AppleTalk 接続の場合は［AppleTalk］の［使用］を選択して、印刷するプリンタが［プリンタの選択］リストに表示されているか確認してください。

印刷しない（Windows）

プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows95/98 の場合
① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Windows3.1 の場合
①［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックします。
② 一時停止になっている場合は、使用するプリンタ名をクリックして 再開 ボタンをクリックします。

WindowsNT4.0 の場合
① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

WindowsNT3.51 の場合
①［メイン］グループの［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックし、使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックします。
② プリンタが［一時停止］の状態になっている場合は、［プリンタ］メニューの［再開］をクリックします。

プリンタドライバの[接続ポート]の設定が合っていません。
プリンタドライバの[接続ポート]の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞本書「プリンタ接続先の設定」 Windows98/95 66 ページ
Windows3.1 70 ページ

「LPT1に書き込みができませんでした」エラーが発生する

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECPモードでご利用の場合、ECPモード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータのBIOS設定を「ECP」（ECPがない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECPプリンタポート（LPT1）」に設定して印刷を行ってみてください。
  BIOS設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

印刷しない（Macintosh）

正しいプリンタドライバが選択されていません。
本プリンタのプリンタドライバを選択してください。
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」40 ページ

正しいゾーン、プリンタが選択されていません。
プリンタが接続されているゾーンを確認して、印刷するプリンタを選択してください。

ご利用の環境に合ったプリンタドライバを選択しましたか?
Macintoshのプリンタドライバは、ご利用の環境別に2種類あります。ご利用の環境に合ったプリンタドライバを選択してください。
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」40 ページ

セレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？
本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。漢字 Talk7.5 以降をお使いの場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」36 ページ

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。
プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

プリンタ名を変更していませんか？
ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

エラーが発生する

漢字 Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降を使用していますか？
プリンタドライバの動作可能環境は、漢字 Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降です。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」36 ページ

印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が［きれい］になっていませんか？
プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を［はやい］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？
Macintoshのプリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

用紙に関するトラブル

用紙が詰まる/給排紙されない

紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照して、まず詰まった用紙を取り除いてください。
☞「用紙が詰まったときは」230 ページ

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
☞本書「用紙について」2 ページ

用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙カセットに用紙をセットする場合は、用紙カセットの用紙ガイドクリップをセットした用紙サイズの位置に必ず合わせてください。セット位置がずれていると用紙サイズを正しく検知できないことがあります。用紙トレイに用紙をセットする場合は、セットされた用紙サイズを自動検知することができないため、トレイ紙サイズスイッチをセットした用紙サイズに合わせて設定してください。「パネルで設定」に合わせた場合は、操作パネルでの設定が必要です。
☞本書「用紙のセット」6 ページ

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。
☞本書「用紙カセットへの用紙のセット」6 ページ

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？
ステータスシートまたは操作パネルで、用紙トレイまたは用紙カセットの用紙サイズを確認してください。
☞本書「ステータスシートの印刷」157 ページ
本書「設定項目の説明」136 ページ
用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？
プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。
☞ Windows「[基本設定］ダイアログ」31 ページ
Macintosh「[プリント］ダイアログ」98 ページ

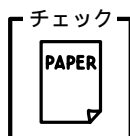
アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？
給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。
アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？
アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。印刷可 スイッチを押して印刷可ランプを消してから 排紙 スイッチを押してください。

給紙ローラが汚れていませんか？
用紙トレイから給紙されない場合は､給紙ローラを拭いてください。
☞本書「用紙トレイ給紙ローラのクリーニング」193 ページ

用紙カセットから給紙されない

用紙は正しくセットされていますか？
用紙カセットのガイドクリップの位置がセットした用紙サイズの位置になっているかを確認してください。用紙カセットにセットされた用紙サイズは、ガイドクリップの位置で検知されます。
セット位置がずれていると用紙サイズが正しく検知できない場合があります。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1枚ずつセットしてください。

チェック

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
上カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンフィールドセンターの連絡先は巻末に記載されています。

その他の症状

印刷の途中で用紙が排紙されてしまう

I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定で I/F タイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」139 ページ

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を替えて印刷してみてください。

印刷結果が画面と異なる

画面と異なるフォント/文字/グラフィックスで印刷される

チェック

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows　本書「印刷の中止方法」59 ページ
Macintosh　本書「印刷の中止方法」117 ページ

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- **使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。**
- お使いのコンピュータは本機の使用に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

チェック

ドライバ

TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

- Windows
  [拡張設定] ダイアログの [TrueTypeフォント] 設定 [TrueType フォントでそのまま印刷] をクリックします。
  ☞本書「[拡張設定] ダイアログ」48 ページ
- Macintosh
  [プリント] ダイアログまたは [詳細設定] ダイアログにある [プリンタフォント使用] の [漢字] / [欧文] をクリックしてチェックを外します。
  ☞本書「印刷の設定」98 ページ

プリンタモードの設定がまちがっていませんか？

通常は［ESC/PS］モードに設定してください。

☞本書「プリンタモードメニュー」143 ページ

DOSアプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

文字コード表を確認して、正しい文字コードを選択してください。

画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。

プログラムを組む際に、コントロールコードがまちがっていませんか？

ESC/PまたはESC/Pageのコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に［ESC@］のコードを入れてください。

ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

☞本書「インサツメニュー / イメージホセイ」145 ページ

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows　　本書「［基本設定］ダイアログ」31 ページ
Macintosh　　本書「用紙設定の手順」91 ページ

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバまたは操作パネルで［オフセット］の調整をしてください。

☞ Windows　　本書「［拡張設定］ダイアログ」48 ページ
操作パネル　　本書「デバイスメニュー」145 ページ

罫線が切れたり、文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

　エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
　NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。
パネル設定で［ESC/PSカンキョウメニュー］の［右マージン］設定を修正してください。
☞本書「ESC/PS カンキョウメニュー」152 ページ

ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？
パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。
☞本書「インサツメニュー / イメージホセイ」145 ページ

設定と異なる印刷をする

パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？
印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

その他の症状

ハーフトーンの印刷が画面と異なる

［PGI］機能を使用していませんか？
アプリケーションが独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。［PGI］機能を使用しないで印刷してください。
☞Windows　本書「［詳細設定］ダイアログ」35 ページ
Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」102 ページ

楕円のような模様が印刷される

トナー残量が残り少ない可能性があります。
トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない

I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定で I/F タイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」139 ページ

印刷品質に関するトラブル

きれいに印刷できない

［RIT］機能を使用して印刷していますか？
文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

☞Windows　本書「［詳細設定］ダイアログ」35 ページ
Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」102 ページ

解像度が［はやい］（300dpi）に設定されていませんか？
解像度を［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

☞Windows　本書「［基本設定］ダイアログ」31 ページ
Macintosh　本書「［プリント］ダイアログ」98 ページ

文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？
文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを［CRT 優先］に設定して印刷してください。

☞Windows　本書「［拡張設定］ダイアログ」48 ページ

［PGI］の設定が速度優先に設定されていませんか？
［PGI］の設定を品質優先に設定します。

☞Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」102 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。

印刷の濃淡が思うように印刷できない

チェック

トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

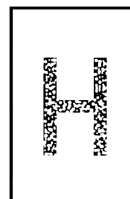
☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」35 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ

プリンタドライバの［明暗］の設定を確認してください。
Windowsの場合は、[グラフィック]の[明暗]設定を、Macintoshの場合は、［PGI］/［ハーフトーン］の明暗設定を調整してください。

☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」35 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ

印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してみてください。

☞本書「印刷濃度の調整」192 ページ

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定が正しくありません。
印刷濃度調節ボリュームで印刷濃度を調整してください。

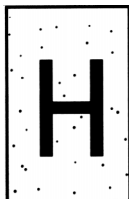
☞本書「印刷濃度の調整」192 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能を解除してください。

☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」35 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」102 ページ

黒点が印刷される

使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジに交換してください。

周期的に汚れがある

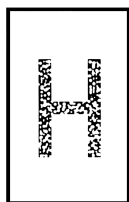
プリンタ内の用紙経路が汚れているます。
用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジに交換してください。

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

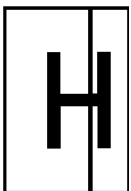
黒い部分に白点がある

使用中の用紙が適切ではありません。
本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

用紙全体が黒く印刷されてしまう

ET カートリッジが正しくセットされていません。
ET カートリッジを正しくセットし直してください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。

黒線が印刷される

ET カートリッジが損傷または劣化している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。

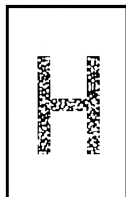
何も印刷されない

ET カートリッジのシールドテープが引き抜かれていません。
ET カートリッジを取り出し、シールドテープを引き抜いてください。

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。

白抜けがおこる

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」2 ページ

印刷濃度の設定が正しくありません。
印刷濃度調整ボリュームで適正な濃度に調整してください。
☞本書「印刷濃度の調整」192 ページ

裏面が汚れる

用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル(Windows)

CD-ROM内のプリンタドライバのReadmeファイルに、EPSONプリンタウィンドウ!3についての注意事項や制限事項などが記述されています。必ず一読してください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか?
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン(Ｉ)にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか?
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。
(予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。)

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか?(ローカル接続時)
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
☞本書「パラレルインターフェイスケーブル」162ページ

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか?(ローカル接続時)
Windows95/98の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。
☞本書「プリンタ接続先の設定」66ページ

I/Fカードがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか?(LP-8600FX/8400FX/8300F)
NetWare共有プリンタを監視するには、監視するプリンタにインターフェイスカード(PRIFNW1S/PRIFNW2S)を装着する必要があります。

お使いのネットワーク環境(NetBEUI接続時やEpson Internet Print使用時など)によっては、EPSONプリンタウィンドウ!3がネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。このような場合には、[ユーティリティ]タブ内の[プリンタをモニタする]のチェックを外してお使いください。
☞本書「[ユーティリティ]ダイアログ」52ページ

その他のトラブル

漏洩電流について
本機は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。しかし、多数の周辺機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このようなときには、本機または本機を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本機からアースを取る場合には、インフォメーションセンターまたはエプソンの修理窓口までお問い合わせください。エプソンの修理窓口に関する詳細は「保守サービスのご案内」の項を参照してください。

印刷に時間がかかる

チェック

TrueTypeフォントを使用して印刷していませんか？
TrueTypeフォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

☞Windows　本書「［拡張設定］ダイアログ」48ページ
Macintosh　本書「印刷の設定」98ページ

チェック

アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？
アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

チェック

バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？
ご利用のMacintoshによっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞本書「EPSONプリントモニタ!3」115ページ

「トナーカートリッジコウカン」のメッセージが解除されない

チェック

トナー残量リセットを行いましたか？
新しいETカートリッジに交換した場合は、トナー残量のリセットを実行してください。
トナー残量リセットを実行することにより、プリンタは新しいETカートリッジに交換されたことを認識し、上記メッセージを解除します。

☞本書「ETカートリッジの交換」186ページ

プログラムリスト、ハードコピーがとれない

チェック

エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？
各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

エプソンPCシリーズ→24ピン系を選択します。
NECPC-9800シリーズ→16ピン系を選択します。

操作パネルのメッセージについて

ステータスメッセージ

プリンタの現在の状態を示すステータスメッセージは次の通りです。

表示	説明
ROMモジュールA　カキコミチュウ	ソケットAのROMモジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
オフライン	印刷可 スイッチが押されていません。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理を中止しました。
セツデン	節電状態です。データを受信したとき、またはリセットしたときなどに解除されます。
トナーガ　ノコリスクナクナリマシタ	トナー残量が少なくなりました。 エラー解除 スイッチを押すと、メッセージを消去します（メッセージを消去しなくても、使用上問題ありません）。
ヨウシハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、排紙 スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット（オール）	リセット（オール）処理中です。
リセットシテクダサイ	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) リセットまたはリセットオールを行います。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 (2) 印刷可 スイッチを押します。印刷実行後に変更が反映されます。
レイキャクチュウ	印刷品質を保つために定着器を冷却しています。しばらくすると印刷を再開します。

エラーメッセージ

操作パネル上の液晶ディスプレイにメッセージが表示されたときは、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

表示・説明	処置
ROM モジュール A カキコミエラー 書き込み不可のカードに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケット A に ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフ（○）にした後、ROM モジュールを取り外します。
ROMモジュールx フォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットの ROM モジュールがスロットxに装着されています。	初めて書き込むROMモジュールであれば問題ありません。エラー解除スイッチを押して表示を消してください。書き込み終了後のROMモジュールの場合は、以下の操作を行ってください。 ① エラー解除スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。 ② 再度このメッセージが表示された場合は、ROM モジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフ（○）にした後、ROM モジュールを取り外します。
ROM モジュール x リードエラー 本プリンタでは利用できない ROM モジュールが装着されています。	プリンタの電源をオフ（○）にした後、ROM モジュールを取り外します。 本プリンタで使用可能なROMモジュールかどうか型番などで確認してください。
ServiceReq　xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフ（○）にし、数分後にオン（Ⅰ）にします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、保守契約店あるいは販売店またはフィールドセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
ウエカバーガ アイテイマス 上カバーが開いています。	上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。
オプション I/F カードエラー 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフ（○）にした後、インターフェイスカードを抜きます。

表示・説明	処置
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、エラー解除スイッチを押します。 再度印刷するときは［はやい］（300dpi）で印刷してください。［きれい］（600dpi）で印刷するには、メモリの増設が必要です。
キュウシミスデ ヨウシガツマリマシタ 給紙口で紙詰まりが発生し、正常に給紙が行われませんでした。	給紙口の紙詰まりを取り除きます。カセットで給紙する場合は、カセットを正しくセットします。上カバーを開けて、用紙の有無を確認してから、カバーを閉じます。ウォーミングアップ終了後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。このエラーが発生したときは、必ず上カバーを一度開けてください。 ☞本書「用紙が詰まったときは」230 ページ
トナーカートリッジ　コウカン ETカートリッジのトナーがなくなりました。	ET カートリッジを交換してください。 このメッセージは、エラー解除スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、一枚印刷するごとに再度メッセージが表示されます。 ☞本書「ET カートリッジの交換」186 ページ
トナーカートリッジヲ イレテクダサイ ETカートリッジがセットされていません。	ET カートリッジをセットし、上カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。
ハイシブデ ヨウシガツマリマシタ プリンタ内部の定着器付近で紙詰まりが発生しました。 **ヨウシガツマリマシタ** プリンタ内部（給紙口以外）で紙詰まりが発生しました。	上カバーを開けて用紙を取り除き、上カバーを閉じます。エラー状態が自動的に解除されます。ウォーミングアップを行った後、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。 ☞本書「用紙が詰まったときは」230 ページ
ブスウシテイ　デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、１部だけ印刷します。	プリンタドライバで解像度を［はやい］（300dpi）に設定することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。

表示・説明	処置
ページエラー オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。	[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]に設定されている場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 [デバイスメニュー]の[ページエラーカイヒ]を[オン]にすると、このエラーは発生しません。[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間(5秒)後に、自動的にエラー状態を解除します。
メモリオーバー メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	[デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]が[シナイ]の場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を[はやい](300dpi)に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 [デバイスメニュー]の[ジドウエラーカイジョ]を[スル]にしておくと、一定時間(5秒)後に、自動的にエラー状態を解除します。
メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 印刷後に表示を消すには、エラー解除 スイッチを押します。再度印刷するときは、[はやい](300dpi)で印刷してください。[きれい](600dpi)で印刷するためには、メモリの増設が必要です。
ヨウシカクニン xxxx yyyy ESC/Pageコマンドでマニュアルフィードモードが指定されたとき、印刷を開始する前に選択された給紙装置xxxxと用紙サイズyyyyを表示します。	給紙装置xxxxにサイズyyyyの用紙をセットします。用紙カセットの場合、用紙ガイドが正しく用紙サイズ位置にセットされていることを確認してください。用紙トレイの場合、トレイ紙サイズスイッチがセットした用紙サイズと一致していることを確認してください。 エラー解除 スイッチまたは 印刷可 スイッチを押すと、印刷を開始します。
ヨウシカセットヲセットシテクダサイ 用紙カセットがセットされていません。	用紙カセットをセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。

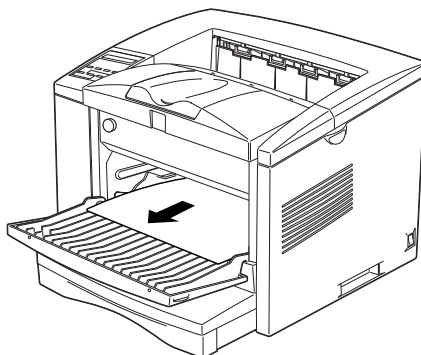
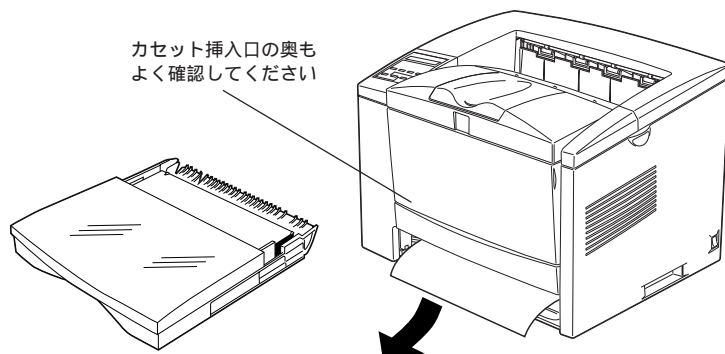
表示・説明	処置
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙を行おうとした給紙装置 xxxxx にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ yyyy が異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください（［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 (1) 給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットします。エラー解除スイッチを押して印刷します。 (2) 用紙を交換しないでエラー解除スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) リセットまたはリセットオールを行います。
ヨウシコウカン トレイ yyyy ［トレイ紙サイズスイッチ］の設定が、セットされている用紙サイズと異なっています。	［トレイ紙サイズスイッチ］の確認、または変更をしてください。
ヨウシサイズエラー 給紙した用紙と設定されている用紙サイズが異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、エラー解除スイッチを押します。 ［デバイスメニュー］の［ヨウシサイズフリー］を［ON］に設定しておくことにより、［ヨウシサイズエラー］のメッセージは表示されなくなります。
ヨウシタイプ　エラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージはエラー解除スイッチを押すと消えます。操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置 xxxxx に、用紙がセットされていません。 (2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1) の場合 給紙装置 xxxxx にサイズ yyyy の用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 (2) の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。

用紙が詰まったときは

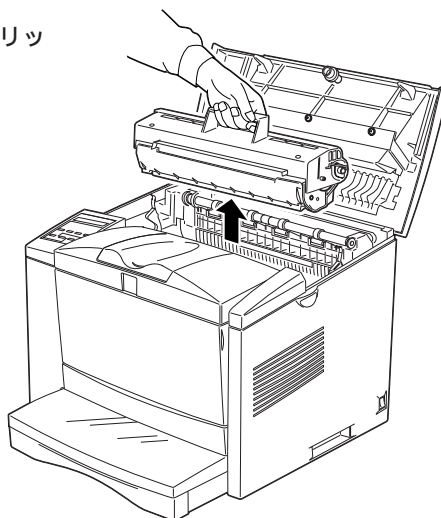
紙詰まりが発生したときは、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。このときは、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

用紙を取り除く際に、用紙を破かないよう注意してください。
用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。

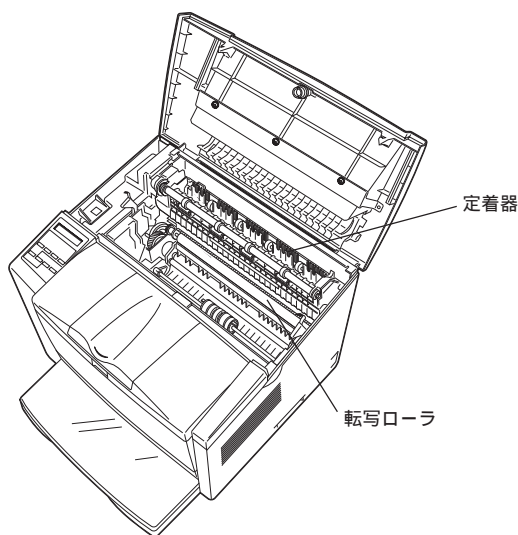
給紙部で用紙が詰まったときは

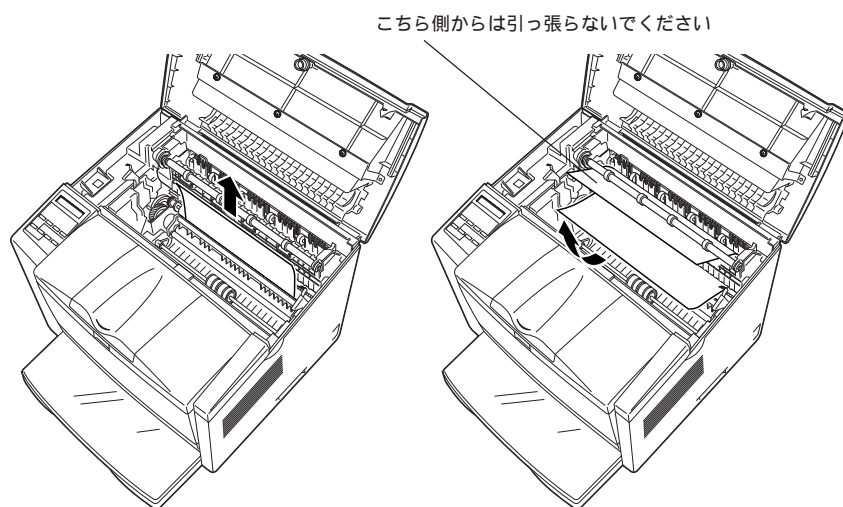
1 用紙トレイの用紙を取り除き、詰まった用紙があるか確認します。
用紙トレイの給紙口で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。

2 用紙カセットを引き抜き、詰まった用紙があるか確認します。
カセットユニット内やプリンタ底部で用紙が詰まっているときは、図のように用紙を引き抜きます。残りの用紙がカセットのツメの下に正しくセットされていることを確認し、用紙カセットをセットします。

3 プリンタの上カバーを一度開閉します。

プリンタ内部で用紙が詰まったときは

上カバーを開け、ETカートリッジを取り出します。

⚠注意

カバーを開けたとき、次の部分に手を触れないようご注意ください。

- 定着器部分（内部は高温のため火傷の原因になります）
- 転写ローラ部分（印刷品質劣化の原因になります）

ETカートリッジを取り出してから､詰まった用紙を取り除いてください。ETカートリッジを取り出さずに詰まった用紙を無理に引き出すと､印字不良等の原因になります。

詰まっている用紙を引き抜きます。

ETカートリッジを取り付け、上カバーを閉じます。

ディスプレイの表示が［ウォームアップ］→［インサツカノウ］へと戻ることを確認します。正常に印刷排紙できなかったページは自動的に再度印刷されます。

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、順に確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- OHP シートの場合、セットする前によくさばいていない
- 用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていない
- 用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- 吸湿して波うちしている用紙を使用している

ポイント

- 用紙トレイや用紙カセットの給紙口から詰まった用紙を引き抜いた場合、用紙を引き抜いた後も液晶ディスプレイに［ヨウシガツマリマシタ］と表示されていることがあります。これは、プリンタの上カバーを開閉しないと紙詰まりのエラーが解除されないためです。
  液晶ディスプレイに［ヨウシガツマリマシタ］と表示された場合、プリンタ内部に詰まった紙がなくても、上カバーの開閉を１回行ってください。
- 詰まった紙を取り除く際に、用紙の一部がちぎれて手の届かないところに残ってしまった場合などは、無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンター、または保守契約をされている場合は契約店にご連絡ください。
  エプソンフィールドセンターの連絡先は巻末に記載されています。

付録

フロッピーディスクをご希望のお客様へ

本機に同梱のEPSONプリンタドライバのメディアはCD-ROMです。3.5インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて対応させていただきますので、お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

申込手順

1. **エプソンFAXインフォメーションで、LPシリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。**
   エプソンFAXインフォメーションのお問い合わせ先は、巻末を参照してください。

2. **郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。**
   （お振り込みの際の振込手数料は、別途お客様ご負担でお願いいたします）

3. **1 の資料の中にある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにFAXまたは郵送にて送付してください。**
   （払込受領証の原本はお客様にて保管してください）

申込用紙をご送付いただきましてから、約1週間でお客様のお手元に、郵送にてお届けいたします。

領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これにかえさせていただきます。

エプソンディスクサービス

郵便口座番号　：00170-2-971687
加入者名　：エプソン販売株式会社
ファックス申込の場合　：03-5778-6320
郵送申込の場合　：〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-16-1
日石渋谷ビル8F
エプソンディスクサービス係

フロッピーディスクについてのご入金（お振込）・発送のお問合せ
エプソンディスクサービス　TEL. 03-5469-7350
【受付時間】9:00～12:00、13:00～17:00（土日祝祭日を除く）

技術的なお問い合わせ

プリンタ、ドライバに関する技術的なお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。

エプソンディスクサービス係では、技術的な質問にはお答えできかねますので、あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。

エプソンインフォメーションセンターのお問い合わせ先は、巻末を参照してください。

ご注意

- 提供するメディアは、3.5 インチのみとなりますのでご了承ください。
- 提供するソフトウェアは、エプソン製品と共に使用する場合に限って複製、頒布を許可します。
- 内容を変更すること、利益を得るために再販することは、禁止いたします。
- その他、使用契約については、本機に添付されている使用約款に準じます。
- 一度申し込まれた代金の返金につきましては、場合によっては応じかねますのでご了承ください。
- お申し込みは必ず郵便振込をご利用ください。それ以外の送金はご遠慮ください。

お知らせ

エプソンディスクサービスにて提供しておりますソフトウェアは、下記のパソコン通信サービスでも入手することができます。（ただし、一部のソフトを除く）

- @nifty パソコン通信サービス *
  EPSON Information Forum
  コマンド：GO□FEPSONI（□は半角スペース）
  *@nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能。
- インターネット　エプソン販売ホームページ
  http://www.i-love-epson.co.jp

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号　：☞本書巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容　：製品情報（カタログ、機能概要）
　　　　　　技術情報（Q&A など）
　　　　　　パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましては本書巻末の一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXE を実行してインストールしてください。

■インターネット　エプソン販売 WWW SERVER
　http://www.i-love-epson.co.jp
　（ソフトウェアダウンロードサービス）
■パソコン通信名　@nifty パソコン通信サービス *
　EPSON information Forum（コマンド：GO␣FEPSONI）
　␣は、半角スペースです。
　*@nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。
所在地およびオープン時間などにつきましては、本書巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書巻末の一覧をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定にまちがいがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

■お買い求めいただいた販売店
■エプソンサービス認定店
■エプソンフィールドセンター/エプソンサービスセンターまたはエプソン修理センター

電話番号 ： ☞本書巻末の一覧表をご覧ください。
受付時間 ： 午前 9:00 〜午後 5:30
月曜日〜金曜日（祝日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊消耗品（トナー、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に添付していただきます。 ＊消耗品（トナー、用紙等）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	機種によっては出張費用がかかります	出張料＋ 技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込/送付修理		• 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。 • お持ち込みまたは送付の際には、必ず巻末の【修理依頼票】を製品に添付してください。 • 【修理依頼票】は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。	無償	基本料＋ 技術料＋部品代 修理完了品をお渡ししたときにお支払いください
ドアtoドアサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りに伺うサービスです。 • 保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償 （ドアtoドアサービス料金のみ）	有償 （ドアtoドアサービス料金＋修理代のみ）

* 詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンフィールドセンター / エプソンサービスセンター、またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

* 一部大型機種製品につきましては、一般輸送が不可能なものもありますので出張修理をお勧めいたします。

持込/送付修理をされる方へ

持込 / 送付修理をされる場合は、巻末の「修理依頼票」をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

コントロールコードについて

コントロールコードの詳細は、別売のリファレンスマニュアルをご覧ください。
なお、以下のマニュアルにつきましては、エプソンOAサプライ（株）にてお取り扱いをしています。
エプソンOAサプライ（株）のお問い合わせ先は巻末に記載されています。または巻末のFAX注文書にてご注文していただきますようお願い申しあげます。

ESC/Pageコントロールコード

ESC/Pageコントロールコードについては、別売の「ESC/Pageリファレンスマニュアル－第4版」をご覧ください。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル－第4版－

機種固有情報について

リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。LP-8600FX(N)/8400FX(N)/8300Fの機種固有情報につきましては、リファレンスマニュアル内の「LP-9200」の項目をご覧ください。

ESC/Pコントロールコード

ESC/Pコントロールコードについては、別売の「ESC/Pリファレンスマニュアル－第2版」をご覧ください。

商品名
ESC/P リファレンスマニュアル－第2版－

機種固有情報について

LP-8600FX(N)/8400FX(N)/8300FはESC/P J84に分類されます。

プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分磁性トナー電子写真方式
解像度	300dpiまたは600dpi ［dpi：25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数 （Dot Per Inch）］
プリント速度 （用紙カセット）	LP-8600FX(N)　：20.6ppm（A4横送り）、12.7ppm（B4）、10.9ppm（A3） LP-8400FX(N)　：16.2ppm（A4横送り）、10.1ppm（B4）、8.6ppm（A3） LP-8300F　：12.4ppm（A4横送り）、7.6ppm（B4）、6.5ppm（A3） （ppm＝枚/分）
ウォームアップ時間	20秒以内*（23°C定格電圧にて）　*節電モードから8秒以内
ファーストプリント	LP-8600FX(N)　：用紙トレイ　11.5秒（A4）、13.3秒（B4）、14.0秒（A3） 標準カセット　11.5秒（A4）、13.3秒（B4）、14.0秒（A3） * LP-8600FX(N)にオプションカセットユニットを2段増設した場合、最下段からの値は上記の値に0.8秒足したものになります。 LP-8400FX(N)/8300F：用紙トレイ　13.5秒（A4）、15.7秒（B4）、16.5秒（A3） 標準カセット　13.6秒（A4）、15.8秒（B4）、16.6秒（A3） オプションカセット　14.8秒（A4）、17.0秒（B4）、17.8秒（A3）
稼働音	待機時　：約32dB（A） 稼働時　：LP-8600FX(N)　50dB（A） LP-8400FX(N)/8300F 49dB（A）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows対応TrueType互換14書体 • DutchTM 801 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • SwissTM 721 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Courier （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Symbol • WingBats 和文 明朝、ゴシック

用紙関係

	給紙装置	使用できる用紙	容量	用紙サイズ （ ）内は、操作パネルの液晶表示上での表記です。
標準	用紙トレイ*1	普通紙	200枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Legal（LGL）*4、GovernmentLegal（GLG）、GovernmentLetter（GLT）、GovernmentLetter（GLT）、Ledger（B）、F4、不定形紙
		厚紙/ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ	10枚*3	
		ラベル紙	75枚	
		OHPシート		
		封筒*5	10枚	Monarch（MON）、Commercial-10（C10）、DL、C5
		長尺紙	1枚	297mm×432mm～900mm
		官製ハガキ*6	75枚	100mm×148mm（往復はがき200mm×148mm）
	用紙カセット	普通紙	250枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
		ラベル紙	20枚	
		OHPシート		
オプション	ユニバーサルカセットユニット（LPUC1）	普通紙	250枚*2	A3、A4、A5、B4、B5、Letter（LT）、Legal（LGL）
		ラベル紙	20枚	
		OHPシート		
	大容量カセットユニット（LPDC6）	普通紙	500枚*2	A4
	ユニバーサルショートカセット*7（LPSC1）	普通紙	250枚*2	A4、A5、B5、Letter（LT）

*1 ： 用紙トレイにセットできる用紙の高さは16mm以下です。
*2 ： 64g/m² の場合です。
*3 ： 135g/m² の場合です。
*4 ： トレイ紙サイズスイッチでは［LG14"］に設定します。
*5 ： 定形サイズ以外の封筒を使用する場合はユーザー定義サイズで使用する封筒のサイズを設定して使用してください。和封筒はご使用いただけません。
*6 ： 190g/m² の場合です。
*7 ： 標準の用紙カセットまたはオプション（LPUC1/LPDC6）の用紙カセットと差し替えて使用します。

排紙容量	最大250枚（普通紙64g/m²）
用紙の種類	（用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字品質チェックをしてください。） 普通紙 • 60～90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙、ボンド紙、色付き、印刷済 特殊紙 • ラベル紙、官製ハガキ*1、封筒*1、OHPシート、厚紙（90～135g/m²）*1、レターヘッド*1、不定形紙*1、長尺紙*1

*1 ： 用紙トレイからのみ給紙できます。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			用紙トレイ	ユニバーサルカセット*1	大容量カセット*2	ユニバーサルショートカセット
A3		297mm × 420mm	○	○	−	−
A4		210mm × 297mm	○*3	○*3	○*3	○*3
A5		148mm × 210mm	○*3	○*3	−	○*3
B4		257mm × 364mm	○	○	−	−
B5		182mm × 257mm	○*3	○*3	−	○*3
Letter（LT）		215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 279.4mm{11ｲﾝﾁ}	○*3	○*3	−	○*3
Half-Letter（HLT）		139.7mm{5.5ｲﾝﾁ}× 215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}	○*3	−	−	−
Legal（LGL）		215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 355.6mm{14ｲﾝﾁ}	○	○	−	−
Executive（EXE）		184.15mm{7.25ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○*3	−	−	−
Government Legal（GLG）		215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 330.2mm{13ｲﾝﾁ}	○	−	−	−
Government Letter（GLT）		203.2mm{8ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○*3	−	−	−
Ledger（B）		279.4mm{11ｲﾝﾁ}× 432mm{17ｲﾝﾁ}	○	−	−	−
F4		210mm × 330mm	○	−	−	−
不定形紙		用紙幅 90.1mm 〜 297mm 用紙長 148mm 〜 431.8mm	○*4	−	−	−
長尺紙		用紙幅 297mm 用紙長 432mm 〜 900mm	○*4	−	−	−
官製ハガキ		100mm × 148mm	○	−	−	−
封筒	Monarch（MON）	98.43mm{3 7/8ｲﾝﾁ}× 190.5mm{7 1/2ｲﾝﾁ}	○	−	−	−
封筒	Commercial-10（C10）	104.78mm{4 1/8ｲﾝﾁ}× 241.3mm{9 1/2ｲﾝﾁ}	○	−	−	−
封筒	DL	110mm × 220mm	○	−	−	−
封筒	C5	162mm × 229mm	○	−	−	−

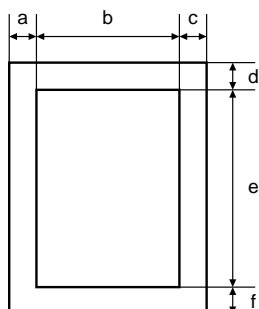
*1 ： 標準装備のカセット 1 およびオプションのユニバーサルカセットユニット（LPUC1）です。

*2 ： オプションの大容量給紙ユニット（LPDC6）です。

*3 ： 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。

*4 ： アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称		a	b	c	d	e	f
A3		120	6776	120	120	9680	120
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B4		120	5832	120	120	8360	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）		120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）		120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）		120	6360	120	120	9960	120
F4		120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch（MON）	120	2084	120	120	4260	120
	Commercial-10（C10）	120	2234	120	120	5460	120
	DL	120	2358	120	120	4956	120
	C5	120	3586	120	120	5168	120

不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	6776	120	120	21020	120

ポイント

- **図と表は、ESC/Pageモードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙および長尺紙への印刷はできません。**

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	8.0A
周波数	50/60Hz ± 3Hz（国内向）
消費電力	LP-8600FX(N): 最大 780W 以下、連続プリント時 370W 以下、節電時 20W 以下（ヒーターオフ時） LP-8400FX(N): 最大 780W 以下、連続プリント時 320W 以下、節電時 20W 以下（ヒーターオフ時） LP-8300F　: 最大 780W 以下、連続プリント時 300W 以下、節電時 20W 以下（ヒーターオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	：10 ～ 32°C
	湿度	：20 ～ 80%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：740 hPa 以上（2500m 以下）
	水平度	：傾き 2°以下
	照度	：3000lx 以下
	周囲スペース	：左側方 200mm、右側方 200mm、後方 200mm、 上方 400mm、前方 700mm
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35°C
	湿度	：15 ～ 80%

コントローラ基本仕様

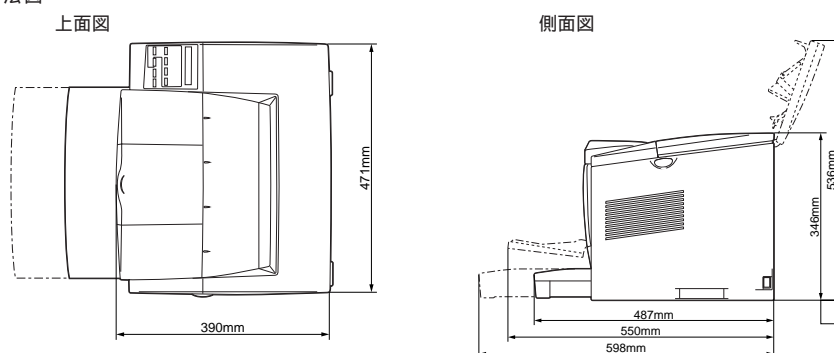
CPU	LP-8600FX(N) LP-8400FX(N)/8300F	：R4310（167MHz） ：R4310（133MHz）
RAM	標準 オプション増設時	：LP-8600FX(N)/8400FX(N)　16MB LP-8300F　8MB ：最大 256MB
インターフェイス	標準 Ethernet オプション	：パラレル　IEEE1284 準拠双方向 コンパチブル、ニブルモード、ECP モード ：シリアル　RS-232C（LP-8300F を除く） ：LP-8600FXN/8400FXN　標準 ：LP-8600FX/8400FX/8300F　Type B I/F（1 スロット）
オプション ROM モジュールソケット	A スロット B スロット * ：EP-GL モジュール、フォント ROM モジュール、 オーバーレイモジュール用 * LP-8300F は 1 スロットのみ	
プリンタ設定	パネル設定およびパネル設定ユーティリティにて保存 記憶素子　E²PROM（シリアルタイプ、16Kbit）	
内蔵モード	標準 オプション その他	：ESC/Page モード（双方向機能） ：ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ESC/PS モード（PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別） ：EP-GL モード ：EJL モード（双方向機能）

外観仕様

外形寸法	幅471mm ×奥行き487*mm ×高さ346mm * 用紙カセットを最大に伸ばすと、598mmになります。
重量	約20.5kg （消耗品、オプション類は含まない）

寸法図

上面図

側面図

オプション装着時

- 本体＋ LPUC1
  471（W）× 487（D）× 422（H）mm
- 本体＋ LPDC6
  471（W）× 487（D）× 459（H）mm
- 本体＋ LPUC1 2段（LP-8600FX(N)のみ）
  471（W）× 487（D）× 500（H）mm
- 本体＋ LPUC1 ＋ LPDC6（LP-8600FX(N)のみ）
  471（W）× 487（D）× 538（H）mm

パラレルインターフェイス仕様

転送形式　　　：8 ビットパラレル（IEEE1284 準拠）
同期方法　　　：外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク　：ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル　：TTL レベルと同等
適合コネクタ　　：57-30360 AMPHENOLE相当

信号説明：

ピン番号	信号名	I/O
1	$\overline{\text{STROBE}}$	I
2	DATA1	I/O
3	DATA2	I/O
4	DATA3	I/O
5	DATA4	I/O
6	DATA5	I/O
7	DATA6	I/O
8	DATA7	I/O
9	DATA8	I/O
10	$\overline{\text{ACKNLG}}$	O
11	BUSY	O
12	PE	O
13	SLCTOUT	O
14	$\overline{\text{AUTOFEED}}$	I
15	NC	―
16	GND*1	―
17	CHASSIS-GND*1	―
18	Peripheral Logic High*2	O
19～30	GND	―
31	$\overline{\text{INIT}}$	I
32	$\overline{\text{ERROR}}$	O
33	GND	―
34	NC	―
35	＋5V*3	―
36	$\overline{\text{SLCTIN}}$	I

I＝入力信号、O＝出力信号、NC＝未使用
LOW アクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

*1　：　CHASSIS- GND と GND はプリンタ内でつながっています。
*2　：　プリンタに電源が入っていることをホストに知らせる＋ 5V の出力信号です。
*3　：　電源ではありません。

シリアルインターフェイス仕様（LP-8300F を除く）

転送形式　　　：RS-232C
電送形式　　　：全二重通信モード
同期方式　　　：調歩同期式
　　　　　　　　スタートビット　　1 ビット
　　　　　　　　ストップビット　　1 または 2 ビット
　　　　　　　　データ長　　　　　7 または 8 ビット
　　　　　　　　パリティ　奇数、偶数、またはパリティなし
プロトコル　　：XON/XOFF（DTR コントロールと併用可能）
　　　　　　　　DTR/DSR コントロール（XON/XOFF と併用可能）
転送速度　　　：300 ～ 115200bps
（ただし、38400bps 以上の通信速度で使用する場合には、コンピュータケーブル等の使用条件が限定されます。また、プロトコルについては、XON/XOFF を無効にして、DTR/DSR コントロールを使用してください。）

適合コネクタ　：207463-1　AMP 25 ピン　D-sub

RS-232C 信号説明

ピン番号	信号名	I/O
1	CHASSIS-GND*	—
2	TXD	O
3	RXD	I
4	RTS	O
5	NC	—
6	DSR	I
7	SIGNAL-GND*	—
8 ～ 19	NC	—
20	DTR	O
21 ～ 25	NC	—

I ＝入力信号、O ＝出力信号、NC ＝未使用

* CHASSIS- GND と SIGNAL-GND はプリンタ内でつながっています。

プロトコル	シリアルインターフェイスには次の２種類のプロトコルがあり、それぞれをパネル設定により指定することができます（プロトコルは、コンピュータ側の設定と合わせてください）。
DTR/DSR コントロールプロトコル	パネル設定により DTR/DSR コントロール・プロトコルを実行することができます。 DTR 信号は、プリンタが受信可能のとき、"HIGH" 状態になります。ただし、パネル設定の DTR コントロールがオフのとき、DTR は常に "HIGH" のままです。プリンタは、DSR 信号が "HIGH" 状態のときだけ TXD を送出します（ただし、 DSR コントロール がオフの場合は、DSR 信号を常に "HIGH" 状態とみなします)。 XON/XOFF の送出は DSR に関係しません。
XON/XOFF（DC1/DC3）コントロールプロトコル	パネル設定により XON/XOFF コントロールプロトコルを実行することができます。XOFF（DC3）コードは、受信バッファの残りが 256byte 以下になったときに送出され、128 文字以内にデータの送出を停止するようにコンピュータに警告します。 XOFF（DC3）の送出後もさらに送られてくるコンピュータの送信データに対しては、それ以上 XOFF コードは送出されません。 XOFF 送出後の XON（DC1）コードは、受信バッファの残りが 512byte 以上になったときに送出されます。 電源投入時は XON コードが送出されます。 パネル設定により XON/XOFF を送出しないように設定することができます。なお、コンピュータから XON/XOFF を受信しても、プリンタは受信データとして処理します。 38400bps 以上の通信速度で使用する場合は、XON/XOFF コントロールを無効にし、DTR/DSR コントロール・プロトコルを使用してください。XON/XOFF の送出間隔が短い場合、コンピュータ側が処理できない場合があります。

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A

ACKNLG（アクノレッジ）
データを正しく受け取ったことを知らせる信号。

B

Byte（バイト） コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。

C

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝の横幅に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

CPU（Central Processing Unit/シーピーユー）
プログラムを解読し、演算を行う中枢部のことです。

CR（Carriage Return/キャリッジリターン）
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コードです。ASCIIまたはJISコードの0DH（10進数の13）です。

D

dpi（Dots Per Inch/ディーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

E

E²PROM（Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム）
電気的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。

ESC/P®（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Page®
（EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ）
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/P エミュレーションモード
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ESC/P スーパーモード
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社のPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ETカートリッジ トナーとドラムユニットを一体化したもの。

EP-GL HP-GLを参照。

F

FF（Form Feed/フォームフィード）
改ページを行う制御コードで、ASCIIまたはJISコードの0CH（10進数の12）です。

H

HP-GL® 米国Hewlett-Packard社が開発した、プロッタ用グラフィック言語。オプションのEP-GLモジュールをプリンタに取りつけることにより、本プリンタをEP-GLモードで使用できます。

Ⓘ IEEE インターフェイス（IEEE-488）
IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB（General Purpose Interface Bus）やHP-IB（Hewlett-Packard Interface Bus）などがあります。

Ⓙ JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称です。

Ⓚ KB（kilobyte/キロバイト）
データ量やメモリ容量の単位です。1KBは1024バイトになります。

Ⓛ LF（Line Feed/ラインフィード）
改行を行う制御コードで、ASCIIまたはJISコードの0AH（10進数では10）です。

Ⓜ MB（megabyte/メガバイト）
データ量やメモリ容量の単位です。1MBは1024×1024バイト（＝1024KB）になります。

Ⓞ OCR 人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。

OCR-B 光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。

OHPシート オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

Ⓟ ppm（Pages Per Minute/ピーピーエム）
1分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM（Programmable ROM/ピーロム）
プログラムなどを書き込むことができるROMのこと。ROMを参照。

Ⓡ RAM（Random Access Memory/ラム）
データなどを読み書きできるメモリです。

ROM（Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリです。

RS-232C コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイスです。

数字

2進法（binary：バイナリ）
0と1の2つの数字だけを使用して、数値を数える体系です。基数（数を表現するために使う記号の数）は2になります。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理されます。バイナリの数字はビットと呼びます。0～255までの任意の数字は、8ビットの2進数で表現されます（0～11111111）。

10進法（decimal：デシマル）
数字の0、1、2、3、4、5、6、7、8および9を使用して、数値を数える体系です。基数は10になります。ごく一般的に使用される、数値の数え方です。

16進法（Hexadecimal：ヘキサデシマル、Hexと略される）
10進法の0～9までは10進法と同じ数字を使い、10～15をA～Fのアルファベット文字で表現して、数値を数える体系です。基数は16になります。ふつう16進数の数の表記では、数字の末尾にHまたはhを付けます（例：0AHは、10進数の10に相当します）。プログラムなどで主に使用される数え方で、0～255の数は2桁の16進数で表現できます（0H～FFH）。

アイウエオ

ア **アウトラインフォント**
数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。

アプリケーションソフト
コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフトウェア。通常の印刷は、アプリケーションソフトを使用して行います。

イ **インターフェイス** コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード（8ビット）ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。

インターフェイスケーブル
コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

エ **液晶ディスプレイ** 液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されています。

エラーメッセージ 液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのこと。

オ **オプション** 利用者が自由に選択して購入できる部品のこと。

オフセット 印字位置を上下左右に移動させる量。

キ **キャッシュ** フォントキャッシュを参照してください。

給紙 用紙をプリンタに供給すること。

シ **初期設定** プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。

書体 明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。

シリアルインターフェイス
データを 1 ビットずつ転送するインターフェイス。

ス **ステータスシート** プリンタの状態や設定値を印刷した用紙です。

セ **全二重通信** 2 つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うこと。

チ **長尺紙** 長辺が 432mm 以上の用紙。

調歩同調式 データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。

チェックデジット 読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

ツ **坪量** 用紙の厚さを表す単位です（1 平方メートル / グラム）。

テ **定形紙** JIS などの規格で定められた大きさの用紙（A4、B5 など）。

定着器 用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。

ト **トナー** 印刷のために用紙に定着させる炭素粉末。

トランケーション （truncation= 先を切ること）
印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。

ハ

排紙 用紙をプリンタから排出すること。

排紙トレイ プリンタから排出された用紙を受けるところ。

バーコード 太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。

バイナリ 2進法を参照してください。

バッファ 一時的にデータを記憶させておくメモリ。

パネル設定 操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。

パラレルインターフェイス コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式。

パリティチェック データ転送の際に起きるエラーのチェック。

ハンドシェイク 送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。

ヒ

ビット 1バイナリディジット（0または1）。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のこと。

ビットマップフォント ドット（点）の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。

フ

フォント 書体のこと。

フォントROMモジュール 各種フォントが内蔵されたROMモジュール。

フォントキャッシュ プリンタで内部的に生成した文字（フォント）をプリンタのメモリに記憶する機能。

プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。

プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。

ヘ

ページプリンタ ページ単位で印刷する方式のプリンタ。

ホ

ホストコンピュータ ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。

ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使用します。

メ

メモリ 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり（この情報の変更はできません）、コンピュータからプリンタに送られるデータ（例えばダウンロードフォントやグラフィックス）を一時的に保存するために使用されます。
E^2PROM、RAMおよびROM参照。

リ

リセット 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となります。
キャッシュに保存されたフォントは記憶しています。

リセットオール 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
すべてのインターフェイスに対して有効となります。

索引

参照ページがSxxとなっているものは、「セットアップガイド」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

数字

アルファベット

アイウエオ

お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

* 印については次のページを参照してください。

項目	内容
プリンタ機種名	□ LP-8600FX(N)　□ LP-8400FX(N)　□ LP-8300F
コンピュータメーカー名	
コンピュータ OS	□ Windows3.1　Ver.
	□ Windows95[*1]　Ver.
	□ WindowsNT3.51　Ver.
	□ Windows98[*1]　Ver.
	□ WindowsNT4.0　Ver.
	□漢字 Talk/MacOS[*2]　Ver.
	□その他　Ver.
接続ケーブル	EPSON 製　□ PRCB4N　□ PRCB5N　□ EPSON Link3
	その他　□メーカー名　型番
	バッファ、切替機など　□有り　□無し
ステータスシート印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン[*3]　Ver.
	CD-ROM（または FD）のリビジョン[*4]　Rev.
	TestPage の印刷（Windows95/98/NT4.0 のみ） □正常　□正常でない
	プリンタドライバの再インストール □行った　□行っていない
アプリケーションソフト	メーカー名
	ソフト名
	バージョン　Ver.
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 ＿＿＿＿＿＿＿＿ □正常に印刷できる　□正常に印刷できない
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	□以前からあった　□以前はなかった
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	□毎回必ず発生する　□ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり
お客様 ID コード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号[*5]

お問い合せ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン（Ver.）の確認方法

スタート から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］（［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk（Mac OS）バージョン（Ver.）の確認方法

［アップルメニュー］から［この Macintosh について］（Mac OS の場合は［このコンピュータについて］）を選択します。開いたウィンドウの［システムソフトウェア］の記載部分が該当します。
（Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。）

*3 プリンタドライバのバージョン（Ver.）の確認方法

Windows95/98/NT4.0 の場合

プリンタドライバのプロパティのウィンドウで「基本設定」タブを選択し、右下の バージョン情報 ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

［印刷ダイアログ］や［用紙設定ダイアログ］の上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン（Rev.）の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROM（もしくはフロッピーディスク）に記載の「Rev.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

FAX注文書

この FAX 注文書は、代引き専用です。コピーしてお使いください。

エプソンOAサプライ株式会社 行

ファックス番号： 0120-55-7765（フリーダイヤル FAX）
： 03-3258-7690

発注日　　　年　　月　　日

* 空欄にご希望の商品名、金額など必要事項をご記入ください。お客様の電話番号は、弊社管理上の必要項目となっておりますので、必ずご記入ください。

電話番号　　（　　　）
会社名／お名前
住所　〒　　ー

品名・型番	数量	単価	金額
	商品金額合計		

送料	
消費税	
お支払い金額合計	

修理依頼票

コピーしてお使いください。

機 種 名	製造番号
お買上店名	お買上日　　年　　月　　日
修理品への添付	□ 保証書　□ケーブル（種類：　　　　　　　　　　） □（　　　　　　　　　　）□（　　　　　　　　　　）

発生の日時／頻度について、ご記入ください	
初めて故障した日時	年　　月　　日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後　　分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間/　日に　回）・まれ（　週間に　回）
自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください	
動作確認結果	良好　・　異常（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください	
お願い：　印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。	
お客様のコンピュータについて、ご記入ください	
コンピュータ	メーカー名　　　　　　　　　　　　機種
メモリ	標準　　MByte＋増設　　MByte（メーカー　　　型番　　　）＝合計　　MByte
インターフェイス	パラレル・双方向パラレル・SCSI・シリアル・その他（　　　　　　　）
接続ケーブル	メーカー名：
故障発生時のソフトウェアをご記入ください	
OS	□Windows 3.1　（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □Windows 95　（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □Windows 98　（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □Windows NT4.0（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □Windows NT3.51（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □Mac OS（漢字Talk）（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □ネットワーク　（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　） □その他　（メーカー.　　　　　Ver.　　　　　）
ドライバ	メーカー　　　　　　ドライバ名　　　　　　Ver.
アプリケーション	メーカー　　　　　　Ver. メーカー　　　　　　Ver.
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数	時間／　　　枚（用紙サイズ　　）

フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所　〒　　ー	お客様IDコード（取得済みの方のみ）

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

パネル設定一覧表

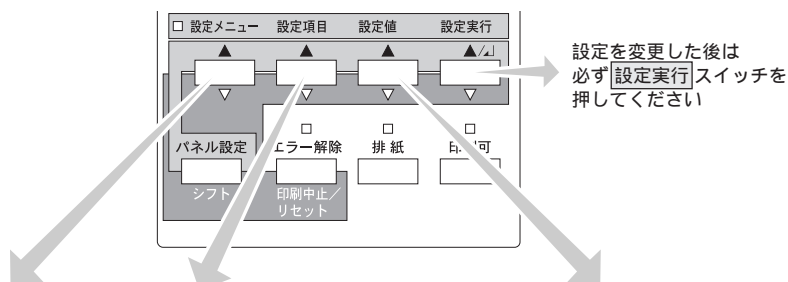
部分はオプション装着時に表示されます。機種によって利用できないオプション用の設定は表示されません。

ワンタッチ設定モード1

給紙選択	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ→トレイ→ カセット 1 → カセット2 → カセット3	ジドウ→ A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5	OFF ←→ 80%	タテ←→ヨコ

ワンタッチ設定モード2

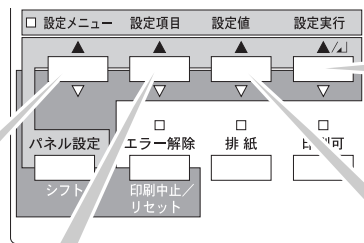
プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	トナーセーブ
ESC/PS ↓ ESC/P ↓ ESC/Page ↓ EP-GL ↓ AUTO	1 〜 999	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5	シナイ←→スル

階層設定モード

設定メニュー	設定項目	設定値
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	オプション I/F ジョウホウ	
	ROM モジュール A ジョウホウ	
	ROM モジュール B ジョウホウ[*1]	
キョウツウメニュー	I/F キリカエ	ジドウ→パラレル→シリアル[*1]→ オプション
	I/F タイムアウト	20 〜 600 ビョウ
	セツデン	5 フン→ 15 フン→ 30 プン→ 60 プン→ OFF
	トレイヨウシサイズ	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5
	カセット 1 ヨウシサイズ	
	カセット 2 ヨウシサイズ	
	カセット 3 ヨウシサイズ[*2]	
	トレイタイプ	フツウシ→インサツズミ→レターヘッド→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ→ OHP フィルム→ラベル
	カセット 1 タイプ	フツウシ→インサツズミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	カセット 2 タイプ	フツウシ→インサツズミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	カセット 3 タイプ[*2]	フツウシ→インサツズミ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ←→ ENGLISH
	ショキカセッテイ	

キョウツウメニュー 2

*1 ： LP-8300F を除く

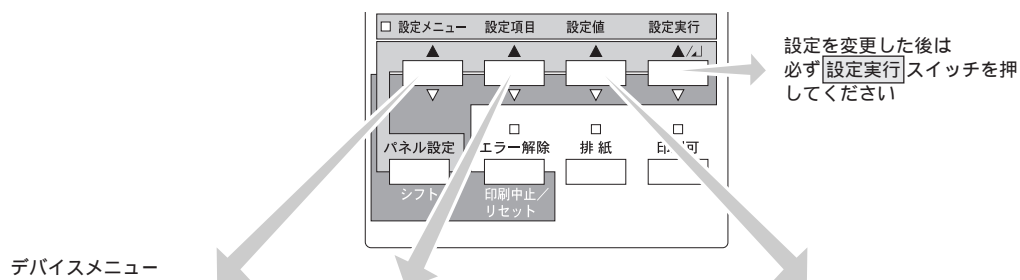
*2 ： LP-8600FX(N)のみ

パネル設定一覧表

キョウツウメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
キョウツウメニュー2	トナーザンリョウ	
	トナーザンリョウリセット	
	ノベインサツマイスウ	
	トナーコウカンエラーヒョウジ	シナイ←→スル
プリンタモードメニュー	パラレル	ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL→ジドウ
	シリアル*1	ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL→ジドウ
	オプション	ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL→ジドウ
	ワンタッチ	パラレル→シリアル*1→オプション
インサツメニュー	キュウシ	ジドウ→トレイ→カセット1→カセット2→カセット3
	ヨウシサイズ	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→ LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→C5
	ヨウシホウコウ	タテ←→ヨコ
	コピーマイスウ	1～999
	シュクショウ	OFF←→80%
	カイゾウド	ハヤイ←→キレイ
	イメージホセイ	1←→2
	ハクシセツヤク	スル←→シナイ
	ジドウハイシ	スル←→シナイ
デバイスメニュー	RIT	ON←→OFF
	トナーセーブ	シナイ←→スル
	ウエオフセット	-30.0mm～30.0mm
	ヒダリオフセット	-30.0mm～30.0mm
	カミシュ	フツウ←→アツガミ
	ヨウシサイズフリー	OFF←→ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ←→スル
	ページエラーカイヒ	OFF←→ON

*1 ： LP-8300Fを除く

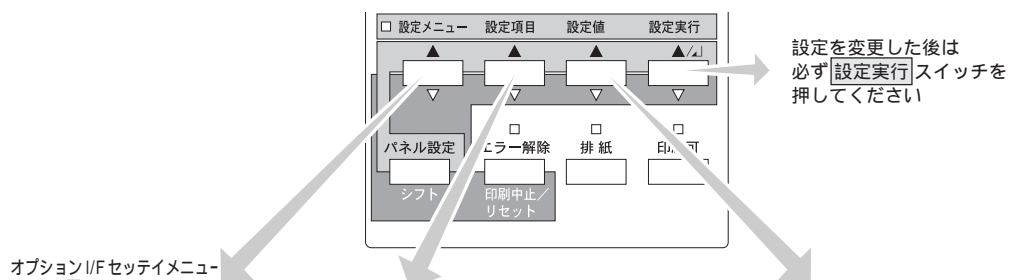
パラレルI/Fセッテイメニュー

デバイスメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
パラレルI/Fセッテイメニュー	ACKハバ	ミジカイ←→ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル→ECP→OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ
シリアルI/Fセッテイメニュー[*1]	データチョウ	8ビット←→7ビット
	ボーレート	9600→19200→38400→57600→76800→
		115200→300→600→1200→2400→4800
	バリティビット	ナシ→EVEN→ODD
	ストップビット	1ビット←→2ビット
	XON/XOFF	ON←→OFF
	ENQ/ACK	OFF←→ON
	DTR	ON←→OFF
	DSR	OFF←→ON
	ジュシンバッファ	サイショウ→ヒョウジュン→サイダイ
オプションI/Fセッテイメニュー[*2]	I/Fボードセッテイ	シナイ→スル
	IPアドレスセッテイ	パネル→ジドウ→PING
	IP Byte 1	0～255
	IP Byte 2	0～255
	IP Byte 3	0～255
	IP Byte 4	0～255
	SM Byte 1	0～255
	SM Byte 2	0～255
	SM Byte 3	0～255
	SM Byte 4	0～255
	GW Byte 1	0～255
	GW Byte 2	0～255
	GW Byte 3	0～255
	GW Byte 4	0～255
	NetWare	ON←→OFF
	AppleTalk	ON←→OFF
	I/Fボードショキカ	
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ

*1 ： LP-8300Fを除く

*2 ： LP-8600FXN/8400FXNでは標準

ESC/PSカンキョウメニュー

オプションI/Fセッテイメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PSｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	レンゾクシ	OFF→［F15→B4 ヨコ］→［F15→A4 ヨコ］→［F10→A4 タテ］
	モジコード	カタカナ←→グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm←→22mm
	カッコクモジ	ニホン→アメリカ→イギリス→ドイツ→スウェーデン
	ゼロ	0←→ø
	ヨウシイチ	ヒダリ→チュウオウ→チュウオウ -5→チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ←→136 ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→セイカイショ→マルゴシック→キョウカショ→ギョウショ
ESC/Pageｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	フッキカイギョウ	スル←→シナイ
	カイページ	スル←→シナイ
	CR	CR ノミ←→CR+LF
	LF	CR+LF←→LF ノミ
	FF	CR+FF←→FF ノミ
	エラーコード	OFF←→ON
	フォントタイプ	1→2→3
	フォームオーバーレイ	OFF←→ON
	フォームバンゴウ	1～512

●オプションの EP-GL モジュール装着時に表示される項目です。

設定メニュー	設定項目	設定値
EP-GLｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	コマンドモード	エンハンスト←→スタンダード
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→ セイカイショ → マルゴシック → キョウカショ → ギョウショ →ナシ
	ゲンテンイチ	ヨウシスミ←→チュウオウ
	カイテンカク	0 ド→ 90 ド→ 180 ド→ 270 ド
	ミラー	OFF → ON
	ジドウスケーリング	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → A4 → B1 → B2 → B3 → B4 → IP
	ニンイスケーリング	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → A4 → B1 → B2 → B3 → B4
	ニンイバイリツ	25 ～ 200%
	ヨコホセイ	-1.00 ～ 1.00%
	タテホセイ	-1.00 ～ 1.00%
	ペンモード	コテイ 1 →コテイ 2 →ホセイ
	ペン 1 ハバ～ペン 8 ハバ	0.00 ～ 5.00mm
	ペン 1 ノウド～ペン 8 ノウド	0 ～ 100%
	センシュウタン	ナシ→シカク→サンカク→マル
	センセツゴウ	ナシ→マイター→マイターベベル→ベベル→マル→サンカク
	マイターチョウ	1 ～ 5
	オーバーレイ	OFF ←→ ON
	SP ハイシ	ON ←→ OFF
	カルーゼルバンゴウ	1 ～ 5
	ブンカツインサツ	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → B1 → B2 → B3
	ブンカツジクリップ	ハシ→キントウ→シュクショウ

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）運用した結果の影響については、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。